

クボタケミックス



建築設備配管用タフカラーパイプ

雨水立てとい

排水・通気

高温排水



ダークグレー

耐候性向上仕様

グレー

耐候性向上仕様

シルバーグレー

耐候性向上仕様

ココアブラウン

耐候性向上仕様

アイボリー

耐候性向上仕様

ミルクホワイト

耐候性向上仕様



タフカラー継手

豊富なバリエーションで多彩なニーズに対応。 豊かで快適な生活をサポートします。

集合住宅の暮らしが高度化・多様化していくにしたがって、排水等の高機能化が求められています。例えば、近年意匠性のある集合住宅が増加し、建物のカラーに合わせた配管材やエコキュートの普及に伴って高温排水が処理できる配管材が必要になってきています。

クボタケミックスは、長年培ってきたプラスチックパイプの特性を活かし、これら時代のニーズに合わせた配管材を多数取り揃えております。雨水、汚水雑排水、通気の各用途に是非お役立てください。



ネットショッピングの普及に伴い増加する大型物流施設や、工場・商業施設などでは大型雨といが採用されています。また、ゲリラ豪雨の多発による降雨強度の見直しで、雨とい配管のサイズアップも進んでいます。

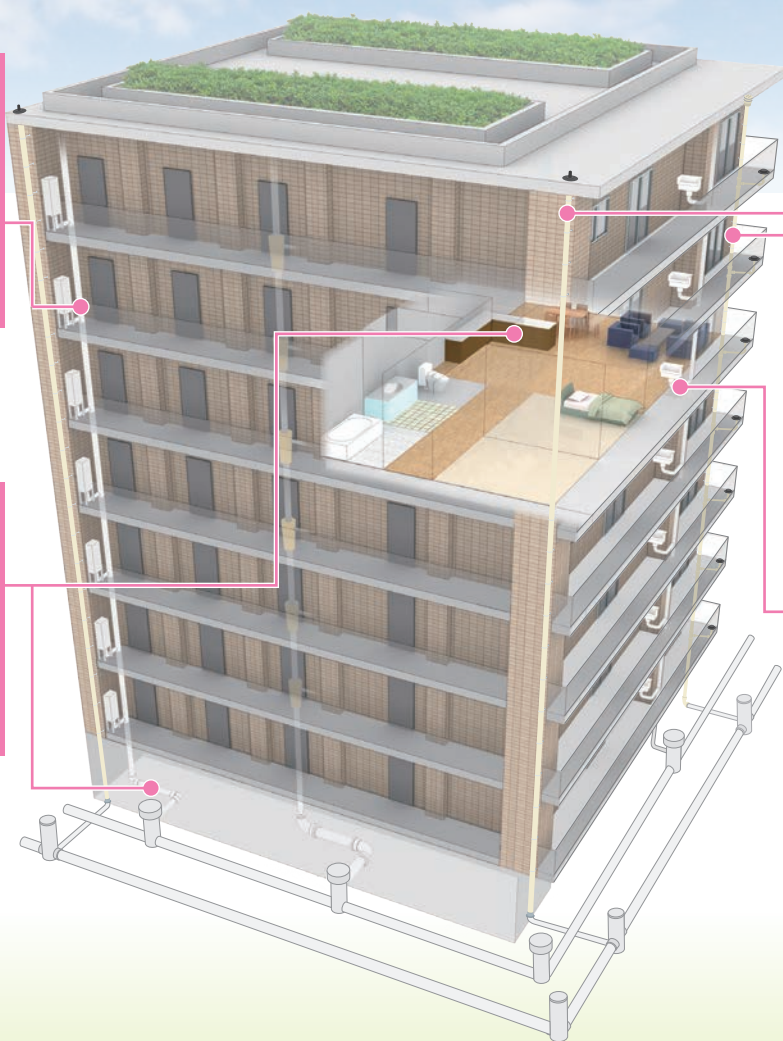
このような雨といの大型化に対応するため、クボタケミックスは新たに呼び径200のタフカラーパイプ・継手をラインナップしました。

建物カラーとマッチングした大型雨といの配管に是非お役立てください。



呼び径 200 の雨とい配管のイメージです。
軒といはパナソニック(株)製雨とい「前高 200WIDE」です。

クボタケミックス 建築設備配管用タフカラーパイプ



目次

● 主な製品の紹介

I タフカラーおよび一般ビニルパイプ・継手 10
1. タフカラーパイプ・継手..... 11
2. 一般ビニルパイプ・継手..... 24
3. 雨水立てといの設計・施工のポイント..... 40
4. 排水・通気配管の設計・施工のポイント..... 50
II 高温排水用HTパイプ・継手 54
1. エコキュート高温排水用タフカラー HTパイプ・継手..... 55
2. エコキュートおよび 家庭食器洗浄機高温排水用HTパイプ・継手..... 56
3. エコキュート高温排水システムの設計 施工マニュアル..... 62

III 接合用品 72
1. ビニル系接着剤..... 73
2. ビニル系接着剤の使い分け..... 74
3. ゴム輪受口接合用滑剤..... 74
4. 接着剤・滑剤の使用量..... 74

IV 接着接合方法 72
1. DV、VU-DVおよびHTDV継手の接着接合方法..... 75

参考資料 76
I. 排水用途塩ビ管の特性、性能、使用範囲ならびに 施工にかかわる試験について..... 77
II. 使用上の注意事項..... 79

主な製品の紹介

雨水立てとい、排水・通気用

タフカラーパイプ・継手 耐候性向上仕様

6色のカラーバリエーションで建物の外観にマッチング P.11 参照

建築デザインが多様化し、雨水立てといや排水・通気用パイプも建物にマッチングしたものが求められています。クボタケミックスでは、ご希望の多い6色（シルバーグレー、ココアブラウン、アイボリー、ミルクホワイト、グレー、ダークグレー）のVP・VUをラインナップしました。さらに耐候性向上仕様により紫外線等による退色や変色を抑え、竣工当初の外観を長く維持します。



使用温度・圧力

使用温度範囲	5~60℃
使用圧力	無圧・自然流下

特長

1. 建物に合わせて選べる6色

NETIS登録 新技術名称：耐候性向上仕様硬質ポリ塩化ビニル管「タフカラーパイプ(グレー)」
NETIS登録番号：KT-180122-A

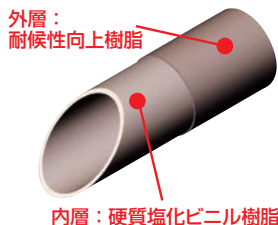


■タフカラーパイプの色相(参考値)は下表のとおりです。
(注)管材の色に合わせてペンキ等を製作される際には、現物で色合わせしてください。また、パイプの汚れを落とす場合は、エタノールを使用してください。

色	マンセル値	色相	明度/彩度
シルバーグレー		2.5Y	7.5 / 1.0
ココアブラウン		8.0YR	5.0 / 1.4
アイボリー		2.7Y	7.4 / 2.3
ミルクホワイト		5.0Y	9.0 / 0.5
グレー		0.5PB	4.9 / 0.6
ダークグレー		N	4

2. 耐候性アップしたタフカラーパイプ

元来、塩ビ管は日光・熱・水によって変色しやすい材質ですが、耐候性向上樹脂で覆うことによって変色や退色しにくくしました。



(注)タフカラー継手は耐候性向上仕様ですが、パイプと同じ二層構造ではありません。

従来のカラーパイプとタフカラーパイプの耐候性比較*

		0時間	200時間	500時間	1000時間
ココア ブラウン	耐候性 向上仕様	[Sample]	[Sample]	[Sample]	[Sample]
	従来仕様	[Sample]	[Sample]	[Sample]	[Sample]
シルバー グレー	耐候性 向上仕様	[Sample]	[Sample]	[Sample]	[Sample]
	従来仕様	[Sample]	[Sample]	[Sample]	[Sample]

*社内規格の促進暴露試験結果

補修用塗料のご紹介



■ カラーバリエーション



販売窓口・お問い合わせ先：株式会社ヘルメチック
TEL：03-3200-7289 FAX：03-3208-8234

排水・通気用

スロップシンク用継手

スロップシンクにベストマッチ!

P.15参照

近年マンションなどの集合住宅にも数多く設置されているバルコニー用スロップシンク。クボタケミックスはスロップシンクへの分岐部に立て管の伸縮を吸収する機能を持ち、管路の信頼性を高め、コンパクトで施工性の良い排水継手を開発。色も立て管とマッチングする豊富なカラーバリエーションをご用意しております。

使用温度・圧力

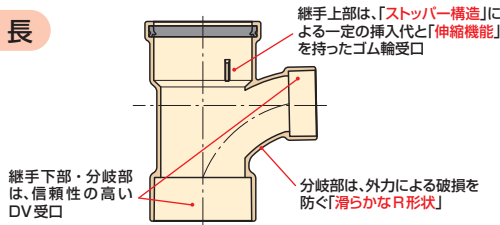
使用温度範囲	5~60℃
使用圧力	無圧・自然流下



※ELT-SKのゴム輪受口が吸収できる配管の伸縮量

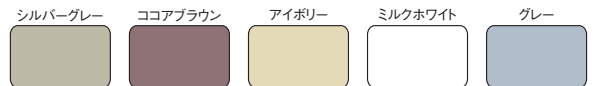
伸縮機能付90°大曲がりY(ELT-SK)

特長



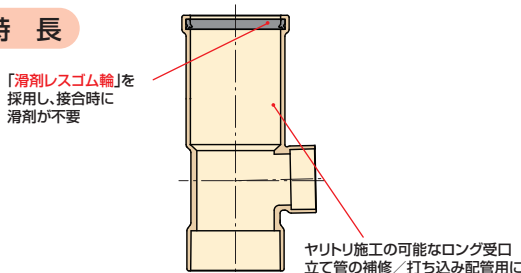
仕様：呼び径 75×50

滑剤を使用せずに接合できる
滑剤レスゴム輪を採用!!



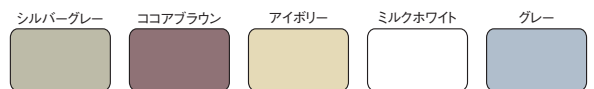
ヤリトリ機能付90°Y(LEST-SK)

特長



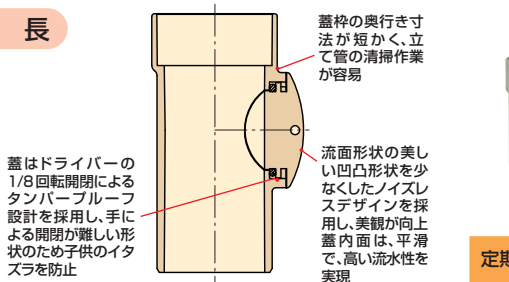
仕様：呼び径 75×50

滑剤を使用せずに接合できる
滑剤レスゴム輪を採用!!



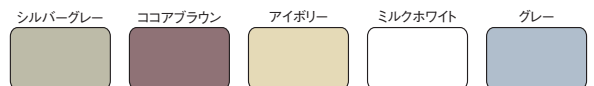
掃除口付片受け管(CO-SK/CO-SK-L)

特長



2006年度
グッドデザイン賞受賞

仕様：本管呼び径 75
掃除口 65



定期点検について

末永く快適にお使いいただくために、蓋が正常に開閉できるか定期的な点検(年1回程度)を行ってください。なお、Oリング(消耗部品)については、定期的な交換をお願いします。

格好ES-D(ES-D)

特長



仕様：呼び径 100

高温排水用(エコキュート高温排水用)

タフカラー HT パイプ・継手

P.55 参照

4色(シルバーグレー、ココアブラウン、アイボリー、ミルクホワイト)揃って充実のラインアップ!!

HT樹脂に耐候性カラー樹脂をプラス! 塗装手間を解消!

HTVP管・HTDV継手の外層を耐候性カラー樹脂で覆った2層成形の耐熱・耐候性カラーパイプ、カラー継手です。シルバーグレー、ココアブラウン、アイボリー、ミルクホワイトの4色を品揃えしました。

特長

1. エコキュートタンク等からの90℃の高温排水に対応しています。
2. 外層を耐候性カラー樹脂で覆うことにより意匠の向上、塗装手間を軽減します。
3. 耐候性能はKCタフカラーパイプと同等です。
屋外露出時の紫外線による変色、退色を防ぎます。
4. ヤリトリ機能付き90°Yは、1フロアの熱伸縮を吸収する伸縮処理が内蔵されています。

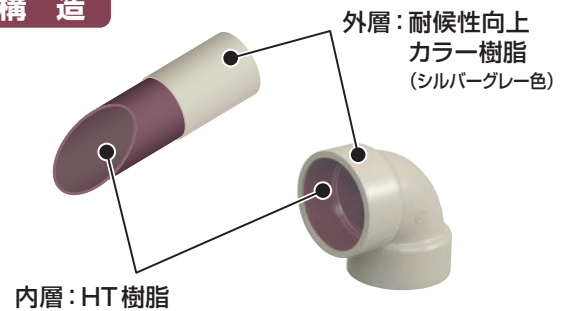
⚠ 圧力配管用途には使用できません。

使用温度・圧力

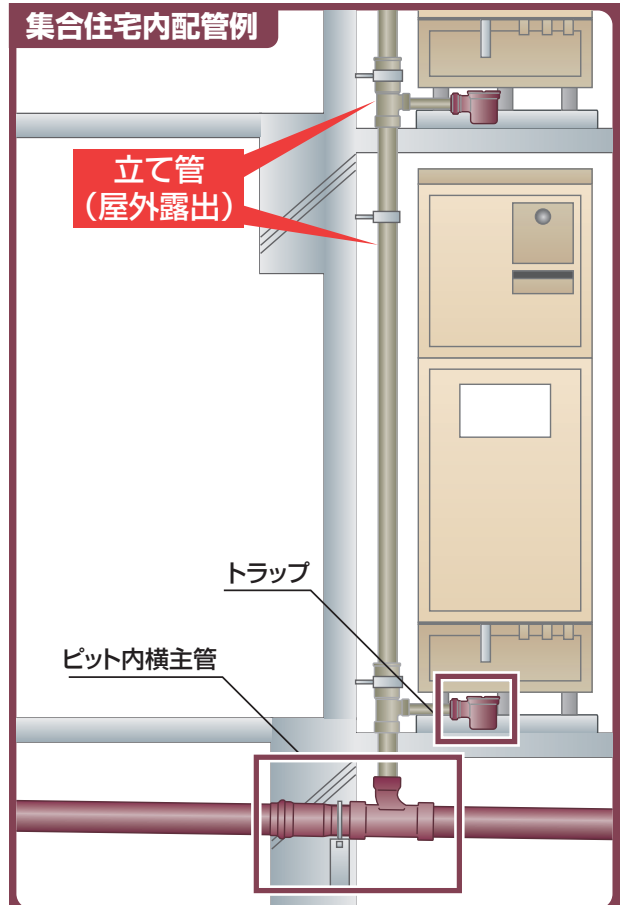
使用温度範囲	5~90℃
使用圧力	無 圧・自然流下



構造



集合住宅内配管例



高温排水用 (家庭用食器洗浄機、エコキュート高温排水用)

HTパイプ・HTDV継手

P.56 参照

排水管を高温排水から守る!

オール電化住宅の普及に伴い、エコキュートや電気温水器などの貯湯式給湯機の設置比率が高まっております。これらの貯湯タンクより排出される高温排水に対応した配管システムです。

特長

1. 耐熱樹脂の優れた耐熱性(最高使用温度90℃)により、高温排水から管路を守ります。
2. 耐食性に優れ、管路が錆びません。
3. 内面の粗度係数が小さく、優れた排水能力を発揮します。

使用温度・圧力

使用温度範囲	5~90℃
使用圧力	無圧・自然流下

トラップ、ホッパー

THT-II/THT-II MN

40
50



TH-LHP

75x50

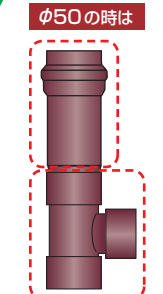


立て管



HT-LEST-S
75x50 S
(受口型)

HT-LEST-P
75x50 P
(差口型)



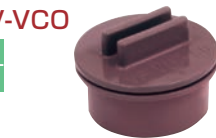
伸縮継手50+
HTDVチース50の
組合せで対応可能!

HTパイプ

- ・ 20x4m~100x4m
- ・ 40x1m, 40x2m
- ・ 50x1m, 50x2m
- ・ 75x3m

HTDV-VCO

50
75



集合住宅内配管例

トラップ、ホッパー

立て管

ピット内横主管

ピット内横主管

HTES-C

50
75
100
125



HTDV-DL

50
75
100



HTDV-45L

50
75
100



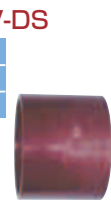
HTDV-LL

50
75x50
100



HTDV-DS

50
75
100



HTDV-LT

75
75x50
100
100x75



HTDV-Y

75
75x50
100
100x75



戸建て住宅の配管例

ヒートポンプ
ユニット

貯湯タンクユニット

THT-II

HTDV-VUHB

HTDV-DL

HT-90Y

家庭用食器洗浄機の普及に伴い、キッチンの排水管での耐熱性向上が求められています。HTDV継手は家庭用食器洗浄機からの高温排水に対応できる継手です。



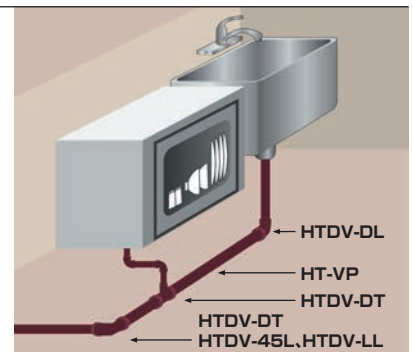
HTDV-DL 20, 25, 40, 50
45L 40, 50
LL 50
DS 40



TH-LHP
50x20
※起点エルボとして
ご使用いただけます。



HTDV-DT
50x20, 50x25
50x40, 50



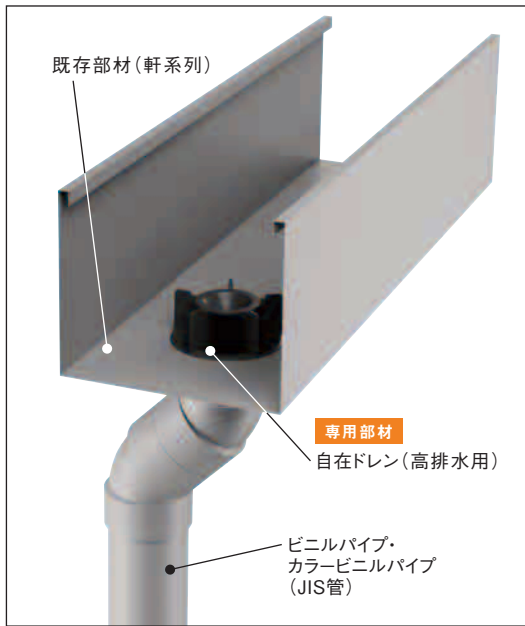
⚠ 業務用厨房排水配管にHT管材は使用できません。(多くの業務用洗剤は、HT管材を侵す成分を含有するため)

雨水排水システムのご紹介

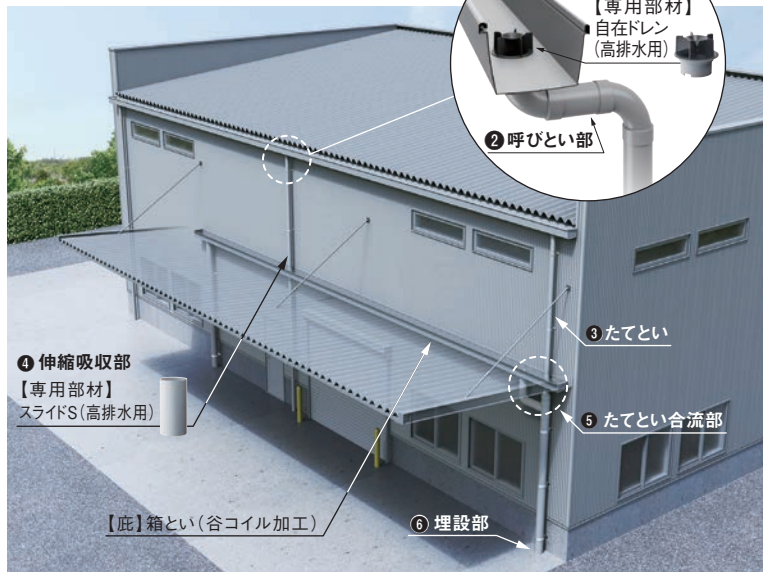
パナソニック 大型雨とい高排水システム

連続的なサイフォン現象で排水性能を高める!

大型雨とい高排水システムは、パナソニック製「大型雨といエアロアイアン」・「谷コイル」と「ビニルパイプ・カラービニルパイプ(JIS管)」をパナソニック製「自在ドレン(高排水用)」などの専用部材を用いて組み合わせるシステムです。サイホン現象を連続的に発生させることで、対応軒系列の排水能力を高めることができます。



■納まりと施工基準

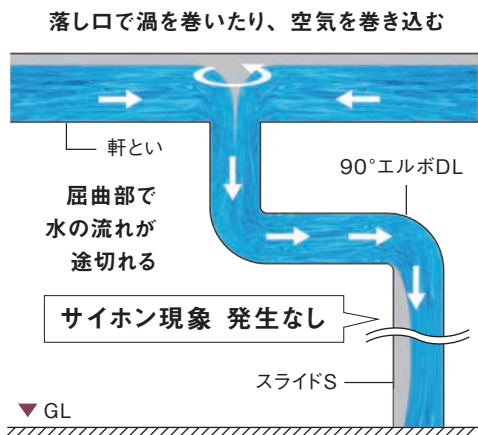


■大型雨とい高排水システムのしくみ

大型雨といでもサイホン現象を連続的に発生させることで、落し口1か所あたりの排水能力を向上させることができます。

通常排水

落し口やエルボでの抵抗が大きくサイホン現象は発生しません。



<専用部材>

- ① 自在ドレン(高排水用)
渦の発生と空気の巻き込みを抑制



<既存部材>

- ② 90°大曲エルボLL
滑らかな流路を作る



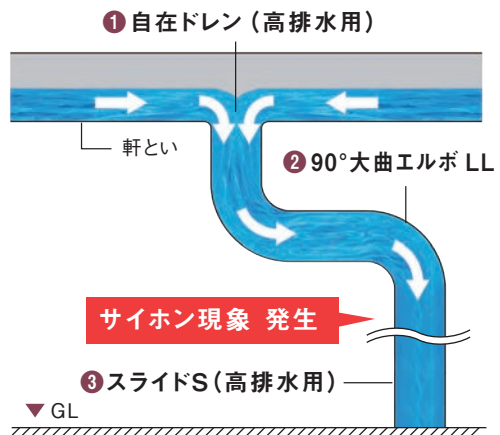
<専用部材>

- ③ スライドS(高排水用)
従来のスライドSより止水性を向上させ、吸気音も抑制



大型雨とい高排水システム

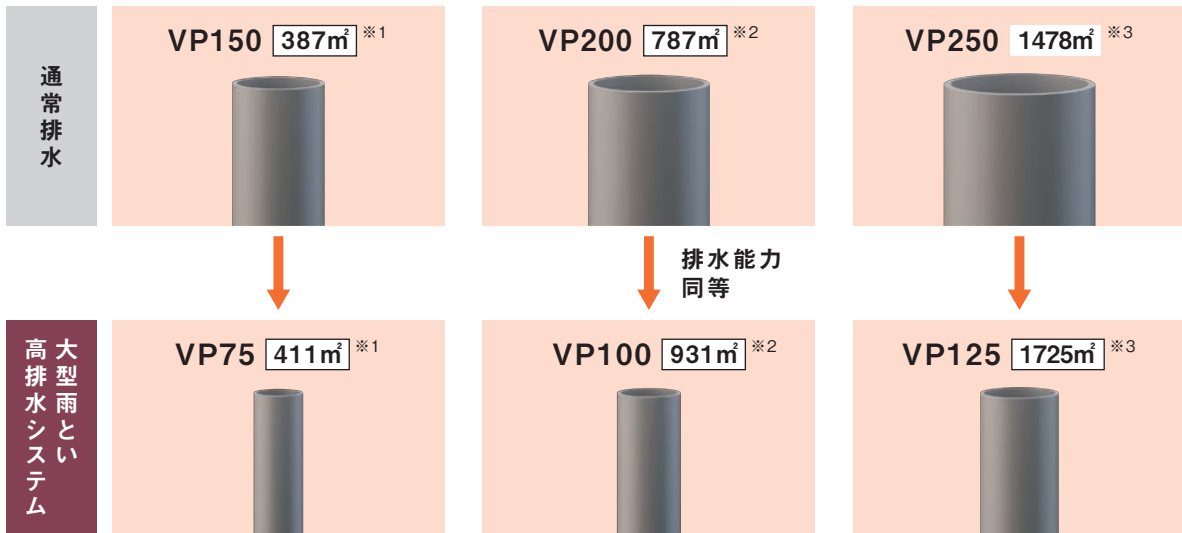
専用部材と既存部材を適切に組み合わせ、サイホン現象を連続的に発生させることで排水能力が従来よりアップします。



■排水性向上によるダウンサイジング

サイホン現象を安定的に発生させることで排水能力を向上たてといのサイズダウンや本数削減を図ることができます。

▼落し口1か所当たりの適応屋根投影面積の比較

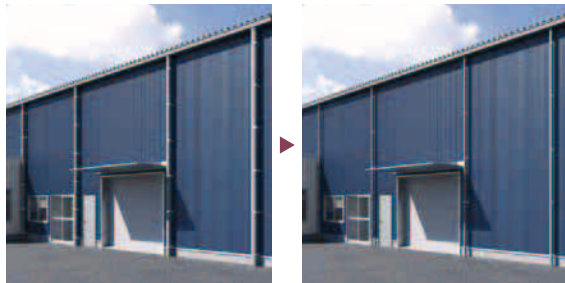


※1 降雨強度160mm/hを採用し、水勾配5/1000でエアロアイアン前高200WIDEと組み合わせた場合。
 ※2 降雨強度160mm/hを採用し、水勾配5/1000で谷コイル幅300mm×高さ200mmと組み合わせた場合。たてといの垂直部(ストレート部)の長さが8m以上の場合。
 ※3 降雨強度160mm/hを採用し、水勾配5/1000で谷コイル幅300mm×高さ300mmと組み合わせた場合。たてといの垂直部(ストレート部)の長さが8m以上の場合。
 ※ 専用部材をご使用の上、「パナソニック 大型雨とい高排水システム」カタログ掲載の施工制約をお守りください。 ※ 屋根面積によっては落し口が減らない場合もあります。

■サイズダウンまたは落し口削減による3つのメリット

メリット1 外観意匠向上 —— たてといの存在感を軽減し、外観意匠が向上します。

① たてといサイズダウン



VP150

VP75高排水

② たてとい本数削減*



VP75

VP75高排水

*採用するパイプ(JIS管)を同径のまま本数を減らす場合は地中ます、埋設管のサイズも変わりますのでご注意ください。

メリット2 省施工

運搬・施工効率がアップ。
現場での保管スペースも削減できます。

重量削減 (4m長さ1本あたりの比較)

通常排水	重量(kg)	高排水	重量(kg)
VP150	27	VP75	9
VP200	41	VP100	14
VP250	62	VP125	18

重量
約1/3

省スペース化

通常排水	外径	高排水	外径
VP150	Φ165	VP75	Φ89
VP200	Φ216	VP100	Φ114
VP250	Φ267	VP125	Φ140

外径
約1/2

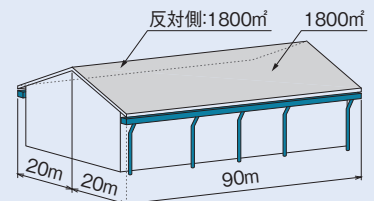
1本あたりの外径が約半分になりますので現場、倉庫に多数保管する場合は1/2以下の省スペース化が可能です。

メリット3 経済性向上

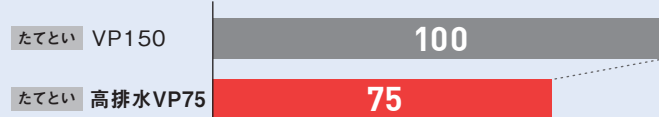
材料費のコストダウンを実現。施工時間の短縮も期待できます。
(通常排水VP150と高排水VP75を比較した場合)

材料費の比較

モデルケース	工場2階建て 軒高さ8m
屋根面積	3600㎡
降雨強度	160mm/h
軒とい	エアロアイアン前高200WIDE
落し口	10か所



たてといVP150を100とした場合の指数 (軒といおよび、落し口の数量は同じ)



備考:材料費はメーカー希望小売価格(2020年時点)

設計、施工にあたっては、「パナソニック 大型雨とい高排水システム」カタログ (KACT1E253 202211-6YK) をご覧ください。

タフカラー継手一覧

P.12 参照

DV継手・VU-DV継手



ゴム輪受口継手



スライド受口継手



ねじ接合排水継手



通気口



掃除口・掃除口付き継手



床上排水便器接続管(サニタリー管・継手)



★印はタフカラー継手ではありません。

I

タフカラーおよび一般ビニルパイプ・継手

目次

1. タフカラーパイプ・継手	11
1.1 タフカラーパイプ	11
1.2 タフカラー継手	12
1.3 便器排水用サニタリー管・継手	21
1.4 雨水立てとい専用タフカラー継手	22
2. 一般ビニルパイプ・継手	24
2.1 一般ビニルパイプ	24
2.2 リサイクル発泡三層管 (RF-VP)	25
2.3 排水用DV継手、VU-DV継手	26
2.4 雨水立てとい専用継手	39
3. 雨水立てといの設計・施工のポイント	40
3.1 ビル・マンションルーフドレンからの雨水立てとい	40
3.2 軒とい落し口やベランダドレンからの雨水立てとい	42
3.3 雨水立てとい途中での偏芯(オフセット)配管について	47
3.4 雨水立てといの伸縮処理について	48
3.5 雨水立てといから埋設排水管への接続方法について	49
4. 排水・通気配管の設計・施工のポイント	50
4.1 設計留意事項	50
4.2 配管工法	50

受注生産品について

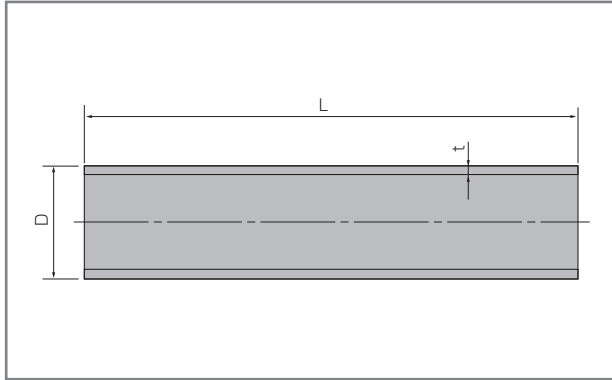
本カタログ掲載の製品には受注生産品があります。
受注生産品は設計積算価格表に示していますのでご確認ください。
設計積算価格表の最新版は、当社ホームページでご覧いただけます。

I. タフカラーおよび一般ビニルパイプ・継手

表中記号
JIS K 6741：日本産業規格 JIS K 6741 品

1. タフカラーパイプ・継手

1.1 タフカラーパイプ



ダークグレー
耐候性向上仕様

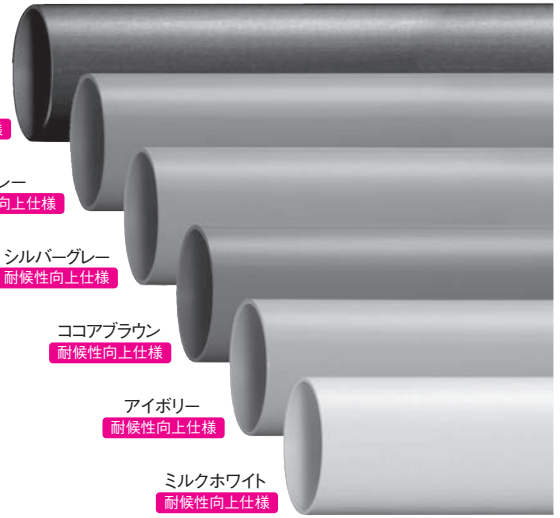
グレー
耐候性向上仕様

シルバーグレー
耐候性向上仕様

ココアブラウン
耐候性向上仕様

アイボリー
耐候性向上仕様

ミルクホワイト
耐候性向上仕様



I タフカラーおよび一般ビニルパイプ・継手

I タフカラーパイプ・継手

VP 品番 1001

単位：mm

呼び径	外径D	厚さt	近似内径(参考)	参考質量(kg/m)	色調および長さL±10												規格
					●シルバーグレー		●ココアブラウン		●アイボリー		●ミルクホワイト		●グレー		●ダークグレー		
					3,000	4,000	3,000	4,000	3,000	4,000	3,000	4,000	3,000	4,000	3,000	4,000	
40	48±0.3	3.6 ^{+0.8} ₀	40	0.782	-	●	-	●	-	●	-	●	-	●	-	-	JIS K 6741
50	60±0.4	4.1 ^{+0.8} ₀	51	1.112	-	●	-	●	-	●	-	●	●	●	-	●	
65	76±0.5	4.1 ^{+0.8} ₀	67	1.432	-	●	-	●	-	●	-	●	-	●	-	●	
75	89±0.5	5.5 ^{+0.8} ₀	77	2.187	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
100	114±0.6	6.6 ^{+1.0} ₀	100	3.389	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
125	140±0.8	7.0 ^{+1.0} ₀	125	4.439	-	●	-	-	-	●	-	●	-	●	-	●	
150	165±1.0	8.9 ^{+1.4} ₀	146	6.672	-	●	-	-	-	●	-	●	-	●	-	●	
200	216±1.3	10.3 ^{+1.4} ₀	194	10.090	-	●	-	-	-	●	-	●	-	●	-	-	

- 備考 1. 外径の許容差は、任意箇所における外径測定値の最大・最小の許容差を示します。
 2. 参考質量は、規格の一部ではありません。
 3. シルバーグレーは都市再生機構指定色です。
 4. ●印は品揃え対象品です。
 5. ●印は耐候性向上仕様品です。

VU 品番 1005

単位：mm

呼び径	外径D	厚さt	近似内径(参考)	参考質量(kg/m)	色調および長さL±10												規格
					●シルバーグレー		●ココアブラウン		●アイボリー		●ミルクホワイト		●グレー		●ダークグレー		
					3,000	4,000	3,000	4,000	3,000	4,000	3,000	4,000	3,000	4,000	3,000	4,000	
50	60±0.2	1.8 ^{+0.4} ₀	56	0.511	-	●	-	●	-	●	-	●	●	●	-	●	JIS K 6741
65	76±0.3	2.2 ^{+0.6} ₀	71	0.813	-	●	-	●	-	●	-	●	-	●	-	●	
75	89±0.3	2.7 ^{+0.6} ₀	83	1.144	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
100	114±0.4	3.1 ^{+0.8} ₀	107	1.718	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
125	140±0.5	4.1 ^{+0.8} ₀	131	2.715	-	●	-	-	-	●	-	●	-	●	-	●	
150	165±0.5	5.1 ^{+0.8} ₀	154	3.912	-	●	-	-	-	●	-	●	-	●	-	●	
200	216±0.7	6.5 ^{+1.0} ₀	202	6.534	-	●	-	-	-	●	-	●	-	●	-	-	

- 備考 1. 外径の許容差は、任意箇所における直角2方向の外径測定値の算術平均値の平均許容差を示します。
 2. 参考質量は、規格の一部ではありません。
 3. シルバーグレーは都市再生機構指定色です。
 4. ●印は品揃え対象品です。
 5. ●印は耐候性向上仕様品です。

1.2 タフカラー継手

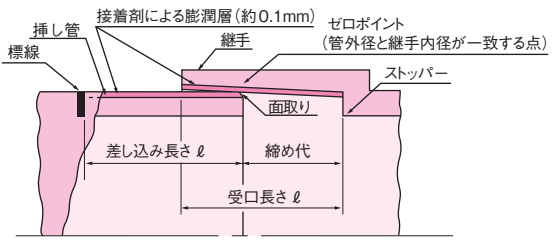
表中記号

JIS K 6739：日本産業規格品 JIS K 6739 品
 AS38：塩化ビニル管・継手協会規格 AS38 品
 AS12：塩化ビニル管・継手協会規格 AS12 品
 AS64：塩化ビニル管・継手協会規格 AS64 品
 AS19：塩化ビニル管・継手協会規格 AS19 品
 ⊗印：メーカー規格品

〈排水継手の接合方法〉

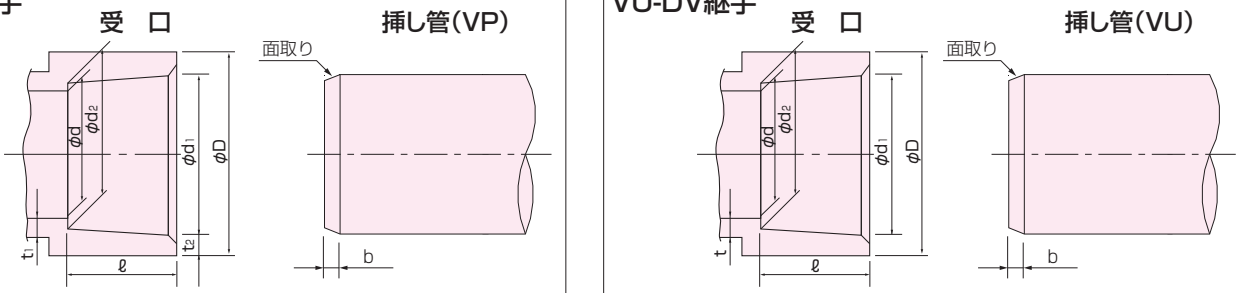
排水継手の接合方法には【接着接合】【ゴム輪接合】【スライド接合】があります。

■ 接着接合について



- 接着接合は、DV継手の受口をテーパにして、接着剤による塩ビの膨潤と塩ビの弾力性を利用したものです。
- 先端を面取りした挿し管と継手に接着剤を塗ると、塗られた面に厚さ約0.1mmの膨潤層が形成されます。この層により挿し管は継手にスムーズに挿入できます。挿し込み後、管と継手の双方の膨潤層がからみ合い、接着面を一体溶着させて水密性をもたらします。
- DV継手は、圧力管用継手に比べ、受口長さを短くすると共にテーパを緩くして、挿し管先端を継手の奥部ストッパーに当たるまで押し込める設計としています。ただし、呼び径が大きくなるに連れ、人力では奥まで入り辛くなります。またVU-DV継手はDV継手よりテーパがきつ、挿入抵抗が大きくなります。その場合は挿入機をご使用ください。

■ DV継手・VU-DV継手の接合部共通寸法



タフカラー DV継手(VP内径ストッパー)

単位：mm

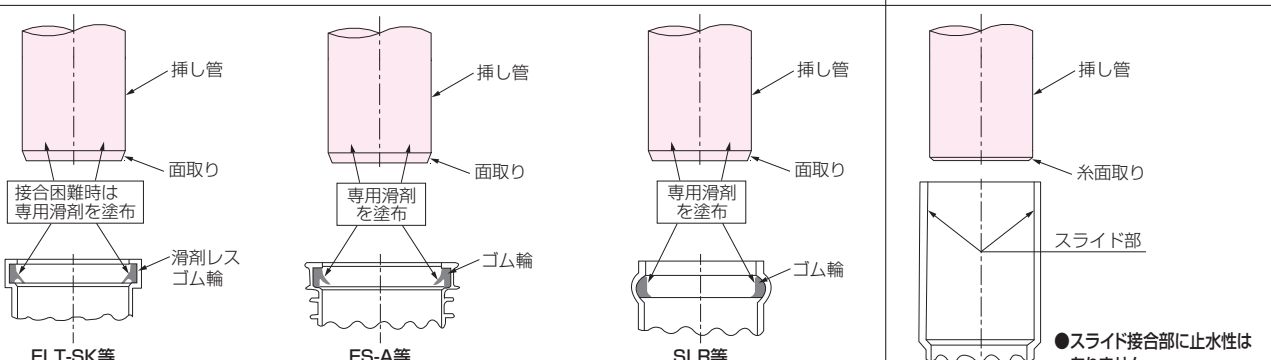
呼び径	d ₁		d ₂		ℓ		D	d		t ₁	t ₂	b
	基準寸法	許容差	基準寸法	許容差	基準寸法	許容差	参考寸法	基準寸法	許容差	最小寸法	最小寸法	参考
40	48.30	±0.30	47.80	±0.30	22	±1	54	40.0	±0.9	2.7	2.5	1
50	60.35	±0.30	59.75	±0.30	25	±1	67	51.0	±0.9	3.1	3.0	2
65	76.40	±0.30	75.70	±0.30	35	±1	83	67.0	±0.9	3.1	3.0	3
75	89.45	±0.30	88.65	±0.30	40	±2	97	77.2	±0.9	3.6	3.4	
100	114.55	±0.35	113.55	±0.35	50	±2	124	98.8	±1.0	4.5	4.3	4
125	140.70	±0.40	139.40	±0.40	65	±2	151	125.0	±1.2	5.4	4.7	
150	165.85	±0.45	164.25	±0.45	80	±2	178	145.8	±1.3	6.3	5.6	

タフカラー VU-DV継手(VU内径ストッパー)

単位：mm

呼び径	d ₁		d ₂		ℓ		D	d	t	b
	基準寸法	許容差	基準寸法	許容差	基準寸法	許容差	参考寸法	最小寸法	最小寸法	参考
50	60.50	±0.30	59.50	±0.30	25	±3	67	56	2.2	2
75	89.60	±0.30	88.30	±0.30	40	±5	97	83	3.0	3
100	114.80	±0.40	113.20	±0.40	50	±5	124	107	3.5	
150	166.10	±0.50	163.90	±0.50	80	±5	178	154	5.5	4
200	217.30	±0.55	214.70	±0.55	105~115	-	227	202(参考)	5.5(参考)	5

■ ゴム輪接合・スライド接合について



●止水性は、接着接合部と同等です。

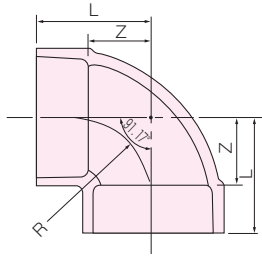
●スライド接合部に止水性は
ありません。
雨水立てとい専用となります。

I タフカラーおよび
一般ビニルパイプ・継手

I タフカラーパイプ
・継手

90°エルボ

(略号DL)



タフカラー DV継手

品番2151

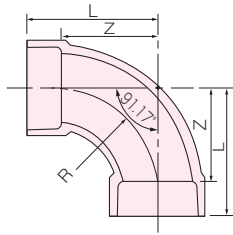
単位: mm

呼び径	Z	L	R(参考)	色調					規格
				シルバーグレー	ココアブラウン	アイボリー	ミルクホワイト	グレー	
40	27	49	27	●	●	●	●	—	—
50	33	58	34	●	●	●	●	●	—
65	42	77	43	●	●	●	●	●	—
75	48	88	49	●	●	●	●	●	—
100	62	112	65	●	●	●	●	●	—
125	75	140	79.5	●	—	●	●	●	—
150	88	168	89.5	●	—	●	●	●	—
※200	110	216	114	●	—	●	●	●	—

- 備考 1. ●印は品揃え対象品です。
 2. ※印はVU-DV継手(略号VUDL、品番2251)です。
 3. ⊕印は東栄管機(株)製品です。

90°大曲がりエルボ

(略号LL)



タフカラー DV継手

品番2152

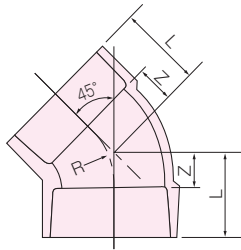
単位: mm

呼び径	Z	L	R(参考)	色調					規格
				シルバーグレー	ココアブラウン	アイボリー	ミルクホワイト	グレー	
40	52	74	75	●	—	—	—	—	—
50	66	91	88	●	—	—	—	●	—
65	90	125	108	●	—	—	—	—	—
75	100	140	119	●	●	●	●	●	—
※75x 50	(75側)101 / (50側)100	(75側)141 / (50側)125	—	●	—	—	—	—	—
100	128	178	152	●	—	●	●	●	—
125	140	205	180	●	—	●	●	●	—
150	170	250	210	●	—	—	—	—	—

- 備考 1. ●印は品揃え対象品です。
 2. ※印は都市再生機構標準品です。

45°エルボ

(略号45L)



タフカラー DV継手

品番2153

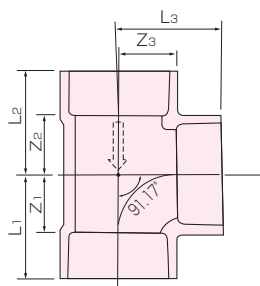
単位: mm

呼び径	Z	L	R(参考)	色調					規格
				シルバーグレー	ココアブラウン	アイボリー	ミルクホワイト	グレー	
40	14	36	30	●	—	—	—	—	—
50	18	43	42	●	●	●	●	●	—
65	22	57	52	●	●	●	●	●	—
75	25	65	58	●	●	●	●	●	—
100	30	80	69	●	●	●	●	●	—
125	38	103	90	●	—	●	●	●	—
150	44	124	109	●	—	●	●	●	—
※200	48	153	144	●	—	●	●	●	—

- 備考 1. ●印は品揃え対象品です。
 2. ※印はVU-DV継手(略号VU45L、品番2253)です。
 3. ⊕印は東栄管機(株)製品です。

90°Y

(略号DT)



タフカラー DV継手

品番2154

単位: mm

呼び径	Z1	Z2	Z3	L1	L2	L3	色調					規格
							シルバーグレー	ココアブラウン	アイボリー	ミルクホワイト	グレー	
40	27	27	27	49	49	49	●	—	—	—	—	—
50	34	34	34	59	59	59	●	●	●	●	●	—
50x 40	27	27	33	52	52	55	●	●	●	●	●	—
65	42	43	42	77	78	77	●	●	●	●	●	—
65x 40	27	28	42	62	63	64	●	—	—	—	—	—
65x 50	34	35	42	69	70	67	●	●	●	●	●	—
75	48	49	48	88	89	88	●	●	●	●	●	—
75x 40	27	28	48	67	68	70	●	—	—	—	—	—
75x 50	34	35	48	74	75	73	●	●	●	●	●	—
75x 65	42	43	48	82	83	83	●	●	●	●	●	—
100	62	63	62	112	113	112	●	●	●	●	●	—
100x 50	34	35	62	84	85	87	●	●	●	●	●	—
100x 65	42	43	62	92	93	97	●	●	●	●	●	—
100x 75	48	49	62	98	99	102	●	●	●	●	●	—
125	75	76	75	140	141	140	●	—	●	●	●	—
125x 75	49	51	75	114	116	115	●	—	●	●	—	—
125x100	62	64	75	127	129	125	●	—	—	—	—	—
150	89	90	89	169	170	169	●	—	●	●	●	—
150x 75	51	53	88	131	133	128	●	—	—	—	—	—
150x100	62	65	88	142	145	138	●	—	—	—	—	—
※200	113	113	113	218	218	218	●	—	●	●	●	—
※200x150	88	88	113	198	198	193	●	—	●	●	●	—

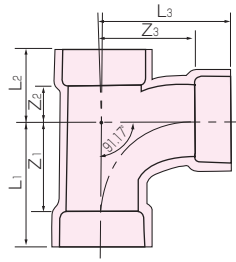
- 備考 1. ●印は品揃え対象品です。
 2. ※印はVU-DV継手(略号VUDT、品番2254)です。
 3. ⊕印は東栄管機(株)製品です。

↑タフカラーおよび一般ビニルパイプ・継手

↑タフカラーパイプ・継手

90°大曲がりY

(略号LT)



タフカラー DV 継手

品番2155

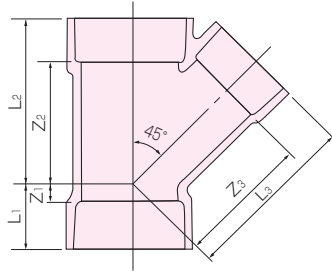
単位: mm

呼び径	Z ₁	Z ₂	Z ₃	L ₁	L ₂	L ₃	色調			規格
							シルバーグレー	アイボリー	グレー	
40	52	23	52	74	45	74	●	—	—	JIS K 6739
50	66	26	66	91	51	91	●	●	—	
50×40	52	23	57	77	48	79	●	—	—	
65	90	33	90	125	68	125	●	—	—	
65×40	52	24	66	87	59	88	●	—	—	
65×50	66	27	74	101	62	99	●	—	—	
75	100	30	100	140	70	140	●	●	—	
75×40	52	25	71	92	65	93	●	—	—	
75×50	66	29	79	106	69	104	●	—	●	
75×65	90	32	95	130	72	130	●	—	—	
100	128	45	128	178	95	178	●	●	—	
100×40	52	28	82	102	78	104	●	—	—	
100×50	66	32	90	116	82	115	●	●	—	
100×65	90	36	107	140	86	142	●	—	—	
100×75	100	33	110	150	83	150	●	●	—	
125	140	50	140	205	115	205	●	—	—	
125×65	90	38	120	155	103	155	●	—	—	
125×75	100	42	124	165	107	164	●	—	—	
125×100	128	52	140	193	117	190	●	—	—	
150	170	65	170	250	145	250	●	—	—	
150×75	100	45	135	180	125	175	●	—	—	
150×100	128	53	152	208	133	202	●	—	—	
150×125	140	60	152	220	140	217	●	—	—	

備考 ●印は品揃え対象品です。

45°Y

(略号Y)



タフカラー DV 継手

品番2157

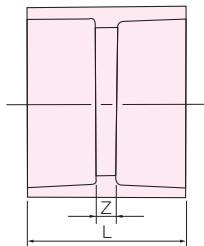
単位: mm

呼び径	Z ₁	Z ₂	Z ₃	L ₁	L ₂	L ₃	色調			規格
							シルバーグレー	アイボリー	ミルクホワイト	
50	20	72	78	45	97	103	●	●	●	JIS K 6739
65	20	92	98	55	127	133	●	●	—	
65×50	8	80	88	43	115	113	●	●	—	
75	26	106	115	66	146	155	●	●	●	
75×50	3	86	98	43	126	123	●	●	●	
75×65	14	98	106	54	138	141	●	—	—	
100	32	134	144	82	184	194	●	●	●	
100×50	-8	98	118	42	148	143	●	●	●	
100×65	3	110	125	53	160	160	●	—	—	
100×75	19	118	132	69	168	172	●	●	—	
125	38	172	175	103	237	240	●	—	—	
125×100	19	150	171	84	215	221	●	—	—	
150	44	204	210	124	284	290	●	—	—	
150×100	6	165	185	86	245	235	●	—	—	

備考 ●印は品揃え対象品です。

ソケット

(略号DS)



タフカラー DV 継手

品番2158

単位: mm

呼び径	Z	L	色調						規格
			シルバーグレー	ココアブラウン	アイボリー	ミルクホワイト	グレー	ダークグレー ^①	
40	3	47	●	—	—	—	—	—	JIS K 6739
50	3	53	●	●	●	●	●	●	
65	3	73	●	●	●	●	●	●	
75	4	84	●	●	●	●	●	●	
100	4	104	●	●	●	●	●	●	
125	4	134	●	—	●	●	●	●	
150	4	164	●	—	●	●	●	●	
※200	5	215	●	—	●	●	●	—	AS12

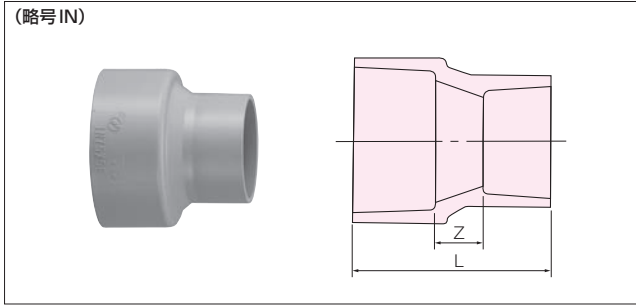
備考 1. ●印は品揃え対象品です。
2. ※印はVU-DV継手(略号VUDS、品番2258)です。
3. ①印は東栄管機(株)製品です。

Ⅰ
タフカラー
一般ビニルパイプ・継手

Ⅱ
タフカラー
パイプ
継手

インクリーザー

(略号 IN)



タフカラー DV継手

品番 2159

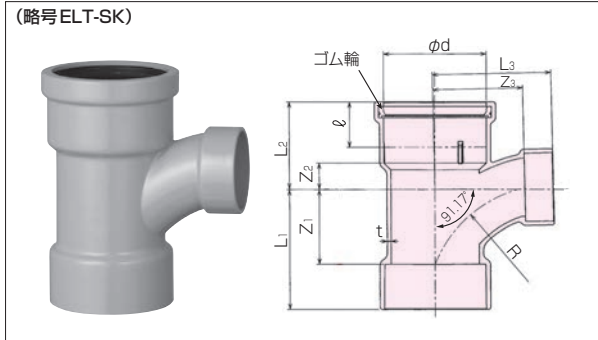
単位: mm

呼び径	Z	L	色調					規格
			シルバーグレー	ココアブラウン	アイボリー	ミルクホワイト	グレー	
50×40	20	67	●	●	●	●	—	—
65×50	20	80	●	—	●	—	●	●
75×50	25	90	●	●	●	●	●	●
75×65	25	100	●	—	●	—	—	—
100×50	30	105	●	—	●	●	●	●
100×65	30	115	●	—	●	—	●	—
100×75	30	120	●	●	●	●	●	●
125×75	35	140	●	—	—	—	—	AS64
125×100	35	150	●	—	—	—	●	JIS K 6739
150×75	40	160	●	—	—	—	—	AS64
150×100	40	170	●	—	—	—	—	—
150×125	40	175	●	—	—	—	—	JIS K 6739

備考 1. ●印は品揃え対象品です。
2. ㊦印は東栄管機(株)製品です。

スロップシンク用伸縮機能付90°大曲がりY

(略号 ELT-SK)



タフカラー品

品番 2175

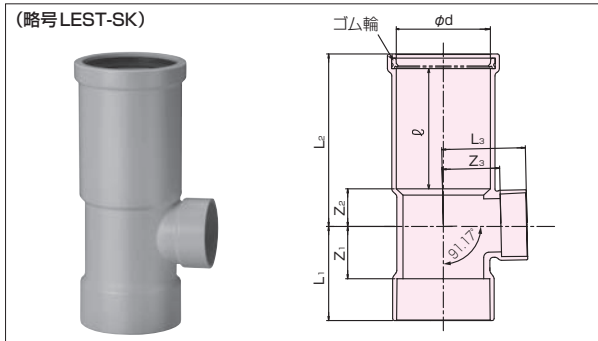
単位: mm

呼び径	Z ₁	Z ₂	Z ₃	L ₁	L ₂	L ₃	ℓ	d	t	R	色調					規格
											シルバーグレー	ココアブラウン	アイボリー	ミルクホワイト	グレー	
75×50	66	23	79	106	77	104	40	90	3.6	110	●	●	●	●	●	⊗

備考 1. ●印は品揃え対象品です。
2. 挿し管には1~2mmの面取りが必要です。ゴム輪は自己潤滑性クロロブレン(CR)製の滑剤レスゴム輪ですが、挿入困難な場合は、専用滑剤(VスプレーかVソープ)をご使用ください。
3. 挿し管接合時には、受口端面からℓ寸法位置のストッパーに挿し管先端を止めることにより±14mmの伸縮量を確保できます。
4. 挿し管を過大な力で押し込みますと挿し管先端はストッパーで止まらず乗り越えることがあります。そうなりますと伸縮量は確保できなくなります。

スロップシンク用ヤリトリ機能付90°Y

(略号 LEST-SK)



タフカラー品

品番 2176

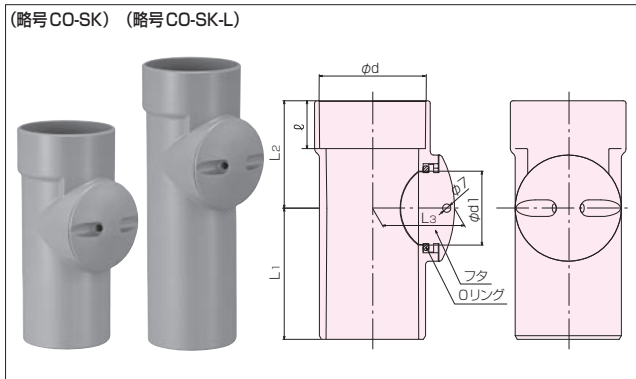
単位: mm

呼び径	Z ₁	Z ₂	Z ₃	L ₁	L ₂	L ₃	ℓ	d	色調					規格
									シルバーグレー	ココアブラウン	アイボリー	ミルクホワイト	グレー	
75×50	50	36	55	90	165	80	115	90	●	●	●	●	●	⊗

備考 1. ●印は品揃え対象品です。
2. 挿し管には1~2mmの面取りが必要です。ゴム輪は自己潤滑性クロロブレン(CR)製の滑剤レスゴム輪ですが、挿入困難な場合は、専用滑剤(VスプレーかVソープ)をご使用ください。また、やりとり施工の場合は、専用滑剤を挿し管の伸縮長さ全体に多めに塗布してください。

スロップシンク用掃除口付片受け管

(略号 CO-SK) (略号 CO-SK-L)



2006年グッドデザイン賞受賞製品!

タフカラー品

品番 2177・2178

単位: mm

呼び径	L ₁	L ₂	L ₃	ℓ	d	d ₁	色調					規格
							シルバーグレー	ココアブラウン	アイボリー	ミルクホワイト	グレー	
75	110	90	69	40	89.5	62	●	●	●	●	●	⊗
75ロング	185	90	69	40	89.5	62	●	●	●	●	●	⊗

備考 1. ●印は品揃え対象品です。
2. 定期点検について
未永く快適にご使いいただくために、蓋が正常に開閉できるか定期的な点検(年1回程度)を行ってください。なお、Oリング(消耗部品)については、定期的な交換をお願いします。
3. 蓋の開閉
蓋を開閉するときはドライバー等を差し込んで回してください。
4. Oリング取替え手順
①蓋から古いOリングを外し、新しいOリングを取り付けます。
②本体の溝部とOリング接触面のゴミ、ホコリ、古い滑剤等を除去してください。
③本体の溝部とOリング接触面に滑剤(プラスチック潤滑用グリース状シリコン剤)を均一に塗布してください。なお、滑剤を塗布しないと、蓋が開閉できない恐れがあります。
5. 接着剤を多量に塗布し垂れが発生すると掃除口が開閉できなくなる可能性があります。



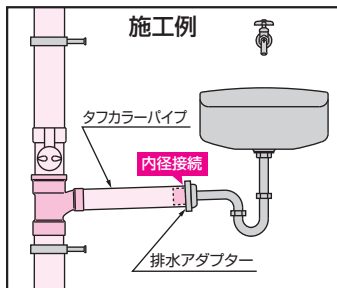
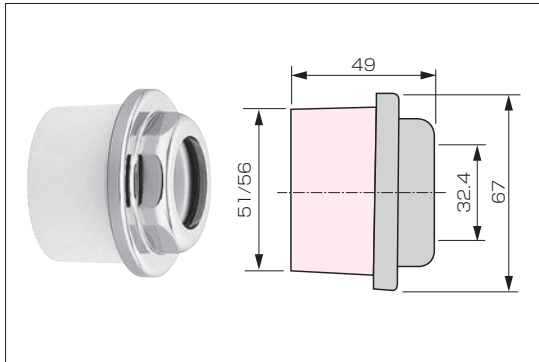
スロップシンク用排水アダプター

品番2175 株式会社カクダイ製

対象管種：VP、VU(呼び径50)×32ミリ洗浄管

特長

- ・タフカラーパイプの内径に接合。
- ・袋ナットのつば部で接続口が隠れるため、仕上りが美しい。
- ・VU管用アダプター(付属)でVP・VU管兼用です。



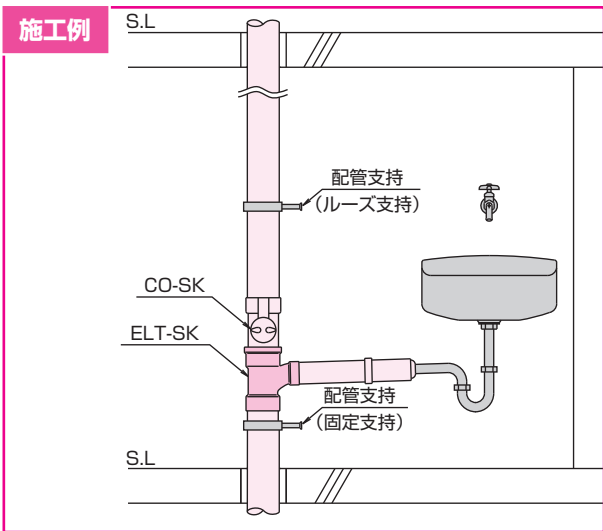
(ご注意)パイプ内径は管理寸法でないため、「かん合がきつく、入らない場合」と「かん合が緩く、隙間のある場合」があります。事前に仮挿入をして、入らない場合と隙間のある場合は、別のパイプに交換してください。

1 タフカラーおよび一般ビニルパイプ・継手

1 タフカラーパイプ・継手

スロップシンク用継手の施工方法

1 標準配管方法



1 管の切断

管(排水立て管・横枝管)は、切断面が管軸に対して直角になるよう切断します。

2 管の面取り

切断面に生じたバリ・カエリはヤスリで平らに仕上げ、管の先端に所定の面取りを行ないます。

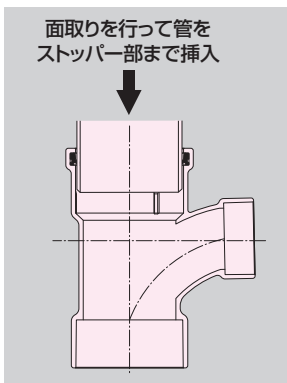
3 継手への接合

【ゴム輪接合】

管をストッパーまで挿入し接合します。
ゴム輪は自己潤滑性クロロブレン(CR)製の滑剤レスゴム輪ですが、挿入困難な場合は、専用滑剤(VスプレーかVソープ)をご使用ください。

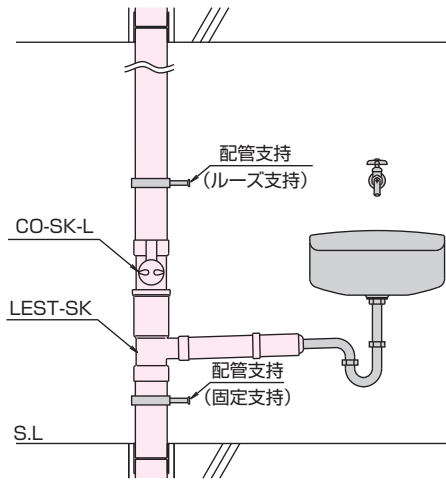
【接着接合】

DV継手の受口内面と管の差口外面に接着剤(タフダイン青)をうすく均一に塗布します。
塗布後は、すみやかに接合してください。なお、詳細はP.75をご覧ください。



② 新規・ヤリトリ配管方法(ロング使用)

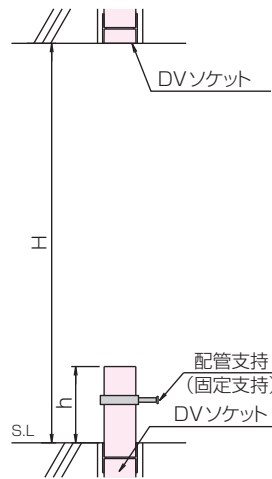
施工例



※「管の切断」、「管の面取」、「継手への接合」は前頁の通りです。

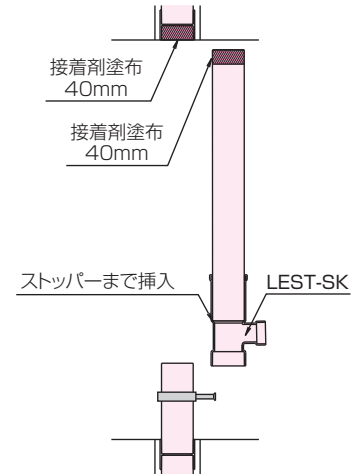
① 調整管長さの計算

下図の箇所の寸法を測定し、調整管の長さを計算します。
調整管長さ・ $L=H-h-145(\text{mm})$



② 天井側の接合

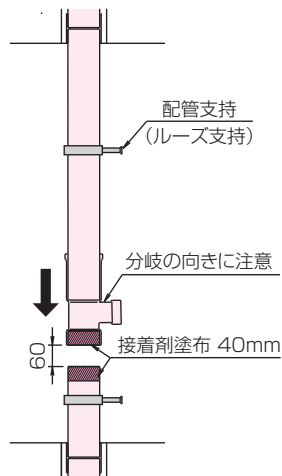
①の長さの面取りを施した調整管を準備し、調整管の一方にLEST-SKをストッパーに当たる位置まで挿入します。もう一方の調整管と天井側のDVソケットに接着剤を塗布し、接着接合します。



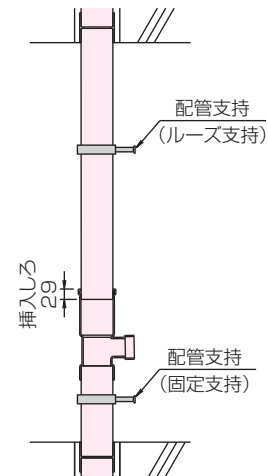
※滑剤は不要です。

③ 床側の接合

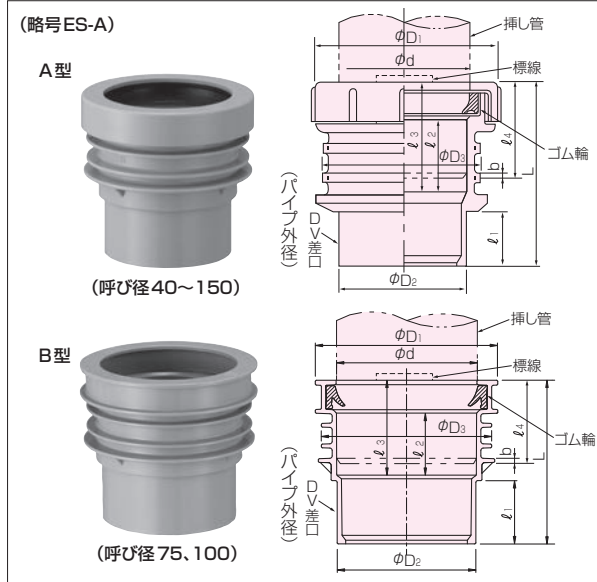
調整管を支持してから、LEST-SKの接着受口と床側の管の差口に接着剤を塗布し、LEST-SKをスライドさせて接着接合します。このときLEST-SKの分岐方向に注意してください。



④ 完成



差込ソケット(伸縮継手)



タフカラー品

品番2162

単位: mm

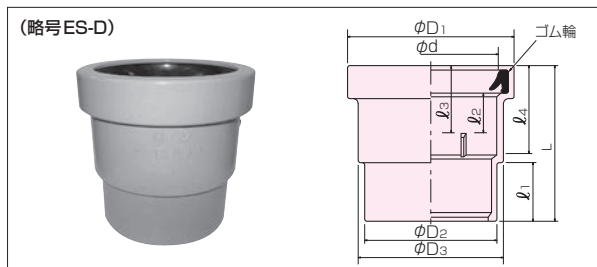
呼び径	型式	D1	D2	D3	d	L	l1	l2	l3	色調				規格	
										シルバーグレー	ココアブラウン	アイボリー	ミルクホワイト		グレー
40	A	69	48	60	48.9	80	23	34	48	●	—	—	—	—	◎
50	A	85	60	76	60.8	85.5	26	35	51	●	—	—	—	—	
65	A	110	76	86	77.1	103.5	36	37	58	●	—	—	—	—	
75	B	120	89	114	91.0	114	42	43	65	●	●	●	●	●	
100	B	150	114	140	115.8	134.5	52	51	78	●	●	●	●	●	
125	A	181	140	165	141.2	160.5	66	53	83	●	—	—	—	—	
150	A	211	165	191	167.0	191.5	83	62	96	●	—	—	—	—	

- 備考
- 印は品揃え対象品です。
 - 都市再生機構標準品です。
 - ゴム輪の材質は、A型はSBR、B型はEPDMです。
 - 挿し管には面取りが必要です。また、接合には専用滑剤(VスプレーかVソープ)をご使用ください。
 - 立て配管、横引配管の双方に使用できます。ただし、横引配管の場合は、ゴム輪接合部奥に僅かな汚水溜まりが生じます。

挿入長さ・伸縮量・面取り幅

呼び径	40	50	65	75	100	125	150
挿入長さ l_4	35	40	50	55	65	70	75
伸縮量	±13	±11	±8	±10	±13	±13	±21
面取り幅 b	1	2	3	4			

差込ソケット「格好 ES-D」(伸縮継手)



タフカラー品

品番2167

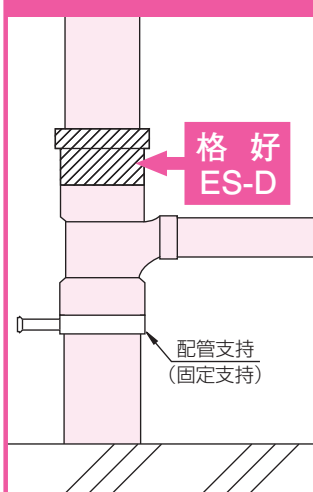
単位: mm

呼び径	D1	D2	D3	d	L	l1	l2	l3	l4	色調				規格	
										シルバーグレー	ココアブラウン	アイボリー	ミルクホワイト		グレー
100	143	114	125	115.8	134.5	50	32	59	78	●	●	●	●	●	◎

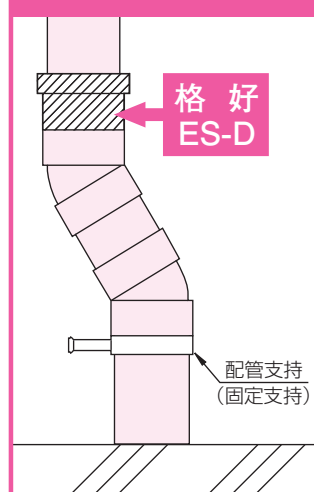
- 備考
- 印は品揃え対象品です。
 - 本製品は排水立て管および雨水立とい用の伸縮継手です。
 - ゴム輪の材質はEPDMです。
 - 挿し管には1~2mmの面取りが必要です。また、接合には専用滑剤(VスプレーかVソープ)をご使用ください。
 - 挿し管接合時には、受口端面から $\phi 3$ 寸法位置のストッパーに挿し管先端を止めることにより±1.4mmの伸縮量を確保できます。
 - 挿し管を過大な力で押し込みますと挿し管先端はストッパーで止まらず乗り越えることがあります。そうなりますと伸縮量は確保できなくなります。
 - 差口側はDV継手またはVU-DV継手と接着接合してください。

差込ソケット「格好 ES-D」の使用例

スロップシンク用排水立とい管の伸縮処理



雨水立とい偏心部の伸縮処理

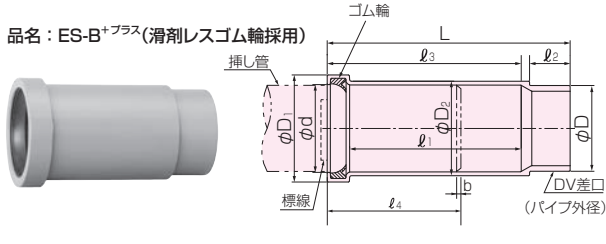


1 タフカラーおよび一般ビニルパイプ・継手

1 タフカラーパイプ・継手

やりとりソケット(伸縮継手)

(略号 ES-B)



挿入長さ・伸縮量・面取り幅

呼び径	50	65	75	100	125	150
挿入長さ ℓ_4	70	80	95	115	140	170
伸縮量	±31	±46	±52	±64	±72	±87
面取り幅 b	2		3		4	

タフカラー一品

品番 2163

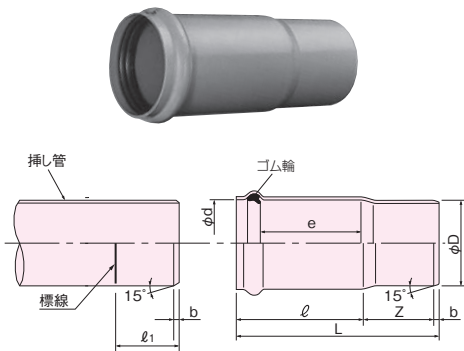
単位: mm

呼び径	D	d	L	ℓ_1	ℓ_2	ℓ_3	D ₁	D ₂	色調					規格	
									シルバーグレー	コアブラック	アイボリー	ミルクホワイト	グレー		ダークグレー
50	60	62	135	85	26	101	78	68	●	●	●	●	●	●	⊗
65	76	78	170	107	36	126	97	86	●	●	●	●	●	—	
75	89	91	198	125	42	147	111	98	●	●	●	●	●	●	
100	114	116	240	152	52	179	140	124	●	●	●	●	●	●	
125	140	142	291	183	67	212	172	151	●	—	●	●	●	—	
150	165	167	351	223	82	257	201	178	●	—	●	●	●	—	

- 備考
- 印は品揃え対象品です。
 - 都市再生機構標準品です。
 - ゴム輪の材質は、EPDM(シリコン系潤滑剤塗布済)又は自己潤滑性クロロレン(CR)です。
 - 挿し管には面取りが必要です。ゴム輪は滑剤レスゴム輪ですが、挿入困難な場合は、専用滑剤(VスプレーかVソープ)をご使用ください。また、やりとり施工の場合は専用滑剤を挿し管の伸縮長さ全体に多めに塗布してください。
 - 立て管、横引配管の双方に使用できます。ただし、横引配管の場合は、ゴム輪接合部奥に僅かな汚水溜まりが生じます。
 - Ⓛ印は東栄管機(株)製品です。略号はES-L、ゴム輪の材質はEPDMで滑剤レスではありません。
 - ()は東栄管機(株)製品の寸法です。

伸縮継手

(略号 SLR)



挿入長さ・伸縮量

呼び径	200
挿入長さ ℓ_1	210
伸縮量	±98

タフカラー一品

品番 2262

単位: mm

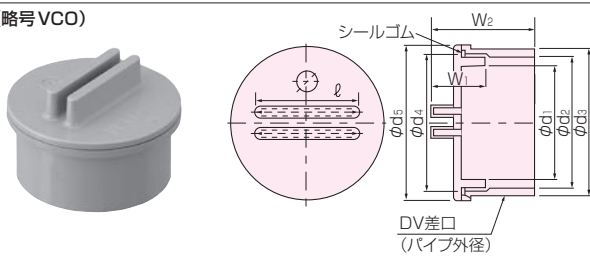
呼び径	d	D	ℓ	e	Z	L	b	色調		規格
								シルバーグレー	グレー	
200	218.6	216	308	245	180	500	12	●	●	AS19

- 備考
- 印は品揃え対象品です。
 - 本伸縮継手(SLR)はVU管用です。
 - 挿し管には面取りが必要です。また、接合には専用滑剤(VソープまたはVスプレー)をお使いください。
 - 専用滑剤の塗布量が少ないと、やりとりが困難になります。
 - 立て配管、横引配管の双方に使用できます。ただし、横引配管の場合は、ゴム輪接合部奥に僅かな汚水溜まりが生じます。

- △注意
- 吊り配管では、挿入治具を用いて接合してください。
 - 呼び径200のやりとり補修では、本製品を2個使用する必要があります。詳細は弊社までお問い合わせください。

つまみ型掃除口

(略号 VCO)



タフカラー一品

品番 2361

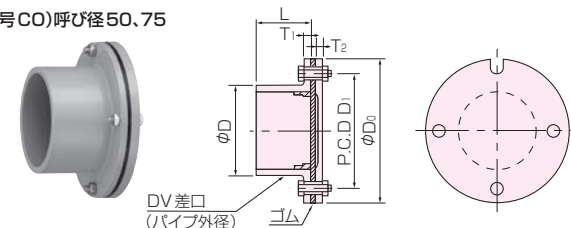
単位: mm

呼び径	d1	d2	d3	d4	d5	W1	W2	ℓ	色調					規格	
									シルバーグレー	コアブラック	アイボリー	ミルクホワイト	グレー		ダークグレー
50	45.0	52.2	60	55.5	69	28.5	44.0	40	—	—	—	●	—	—	⊗
65	56.8	66.6	76	70.0	88	31.0	56.5	55	—	—	—	●	—	—	
75	70.0	78.5	89	81.0	100	37.0	65.5	65	●	●	●	●	●	●	
100	91.5	100.0	114	104.0	125	38.0	74.0	80	●	●	●	●	●	●	

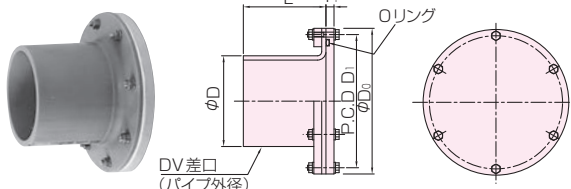
- 備考
- 印は品揃え対象品です。
 - シールゴムはOリングで、材質はEPDMです。
 - Ⓛ印は東栄管機(株)製品です。

フランジ形掃除口

(略号 CO)呼び径50、75



(略号 CO)呼び径65、100~150



タフカラー一品

品番 2161

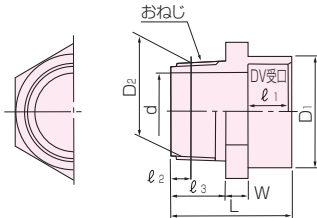
単位: mm

呼び径	D	D ₀	D ₁	L	T ₁	T ₂	ボルト数	色調		規格
								シルバーグレー	グレー	
50	60	100	85	38	5	8	4	●	●	⊗
★ 65	76	120	106	80	10	8	4	●	●	
75	89	130	115	55	5	8	4	●	●	
★ 100	114	177	161	100	10	8	6	●	●	
★ 125	140	205	191	112	10	8	6	●	●	
★ 150	165	240	223	130	10	8	8	●	●	

- 備考
- 印は品揃え対象品です。
 - 都市再生機構標準品です。
 - ボルト・ナットはSUS製です。
 - ★印は耐候性向上仕様ではありません。
 - 呼び径50、75のゴムの材質はSBRです。
 - 呼び径65、100~150のOリングの材質はクロロレンゴム(CR)です。

排水用バルブソケット

(略号 DVS)



タフカラー品

品番 2166

単位: mm

呼び径	D1	d	l1	W	L	ネジ部			色調 シルバー グレー	規格
						D2	l2	l3		
50×2"	67	51	25	12	68	59.614	15.88	31	●	AS64

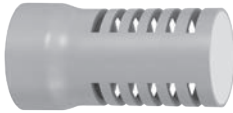
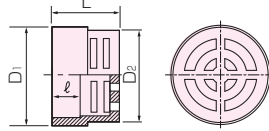
- 備考
- 印は品揃え対象品です。
 - 都市再生機構標準品です。
 - おねじはJIS B 0203(管用テーパねじ)のテーパおねじ(R)に準じます。
 - 受口寸法はJIS K 6739(排水用硬質ポリ塩化ビニル管継手)に準じます。

通気口

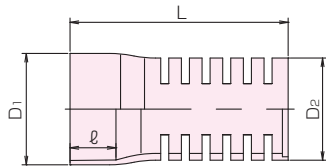
(略号 VO)



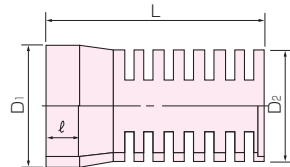
(呼び径 50)



(呼び径 65・75)



(呼び径 100)



タフカラー品

品番 2164

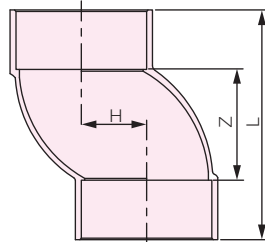
単位: mm

呼び径	D1	D2	L	l	色調	規格
					シルバー グレー	
50	68	64.3	50	22	●	⊗
65	83	76	190	35	●	
75	97	89	190	40	●	
100	129	114	245	50	●	

- 備考
- 印は品揃え対象品です。
 - 都市再生機構標準品です。
 - パイプとは若干の色差があります。詳細についてはお問い合わせください。

Sソケット

(略号 DVSS)



タフカラー DV 継手

品番 2358

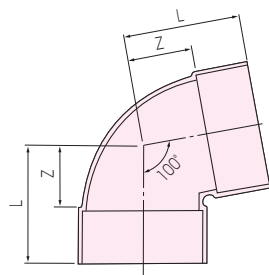
単位: mm

呼び径	Z	H	L	色調						規格
				シルバー グレー	ココア ブラウン	アイボ リー	ミルク ホワイト	グレー	ダーク グレー ※ ㊦	
75	75	44.5	155	●	●	●	●	●	●	AS64
100	95	57	195	●	●	●	●	●	●	

- 備考
- 印は品揃え対象品です。
 - ※印はVU-DV継手(略号 DVSS、規格 AS38)です。
 - ㊦印は東栄管機(株)製品です。

100°エルボ

(略号 DV100L)



タフカラー DV 継手

品番 2351

単位: mm

呼び径	Z	L	色調					規格
			シルバー グレー	ココア ブラウン	アイ ボリー	ミルク ホワイト	グレー	
※50	31	56	—	●	—	●	—	⊗
75	44	84	●	●	●	●	●	
100	62	112	●	●	●	●	●	

- 備考
- 印は品揃え対象品です。
 - ※印はVU-DV継手(略号 VU100L)です。

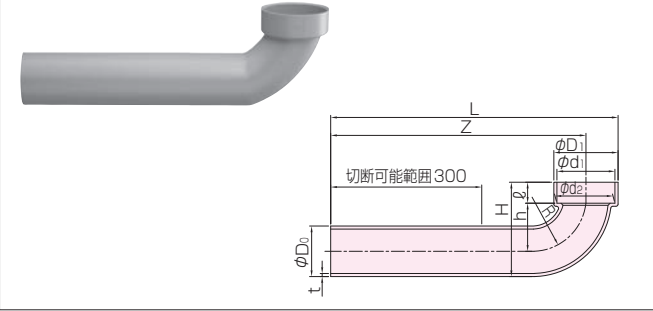
I
タフカラーおよび
一般ビニルパイプ・継手

I
タフカラーパイプ
・継手

1.3 便器排水用サニタリー管・継手

ロングサニタリーバンド

(略号 LSN-90BS)



タフカラー品

品番 2352

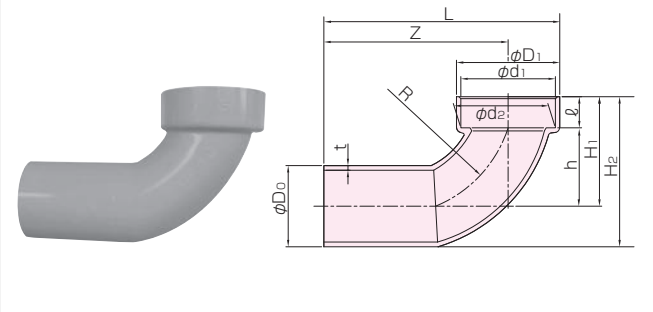
単位: mm

呼び径	d ₁	d ₂	D ₁	ℓ	h	H	R	t	D ₀	Z	L	色調		規格
												シルバーグレー	ミルクホワイト	
75	102.5	102.1	112	35	85	164.5	140	4.5	89	450	506	●	●	⊗

備考 1. ●印は品揃え対象品です。
2. 切断可能範囲外で切断すると継手に接続できない場合があります。

サニタリーバンド(ショート型)

(略号 SN-90BS)



タフカラー品

品番 2359

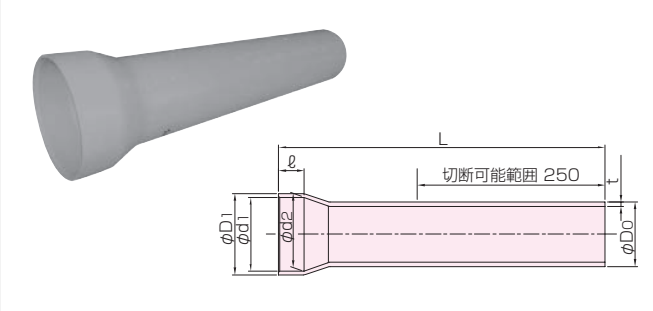
単位: mm

呼び径	d ₁	d ₂	D ₁	ℓ	h	H ₁	H ₂	R	t	D ₀	Z	L	色調		規格
													シルバーグレー	ミルクホワイト	
75	102.5	102.1	112	35	85	120	164.5	140	4.5	89	200	256	●	●	⊗

備考 ●印は品揃え対象品です。

サニタリー片受け直管

(略号 SN-S)



タフカラー品

品番 1301

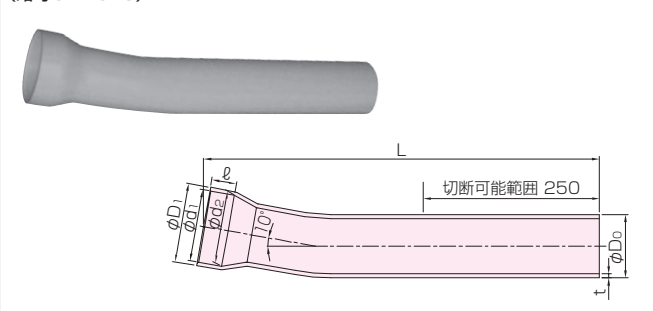
単位: mm

呼び径	d ₁	d ₂	D ₁	ℓ	t	D ₀	L	色調		規格
								シルバーグレー	ミルクホワイト	
75	102.5	102.1	114	35	5.5	89	450	●	●	⊗

備考 1. ●印は品揃え対象品です。
2. 切断可能範囲外で切断すると継手に接続できない場合があります。

サニタリー 10度バンド

(略号 SB-10BS)



タフカラー品

品番 1301

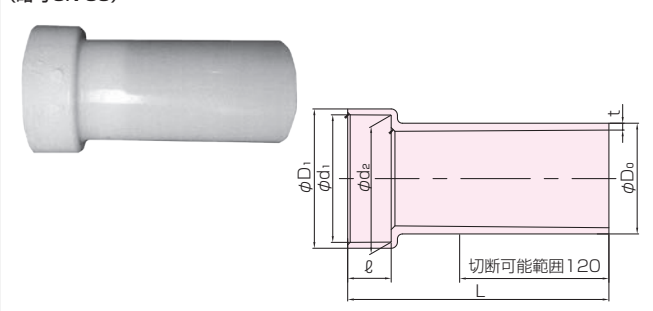
単位: mm

呼び径	d ₁	d ₂	D ₁	ℓ	t	D ₀	L	色調		規格
								シルバーグレー	ミルクホワイト	
75	102.5	102.1	114	35	5.5	89	557	●	●	⊗

備考 1. ●印は品揃え対象品です。
2. 切断可能範囲外で切断すると継手に接続できない場合があります。

サニタリー受口短管

(略号 SN-SS)



タフカラー品

品番 1304

単位: mm

呼び径	d ₁	d ₂	D ₁	ℓ	t	D ₀	L	色調		規格
								シルバーグレー	ミルクホワイト	
75	102.5	102.1	112	35	5.5	89	210	●		⊗

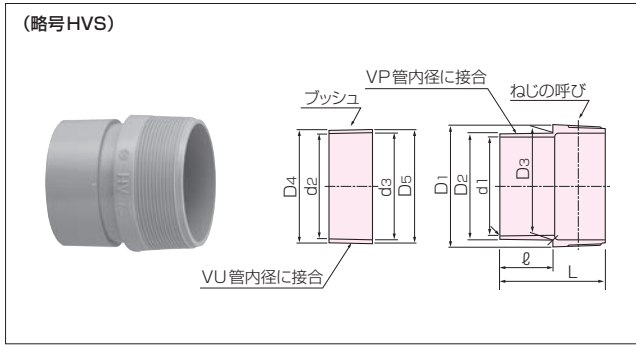
備考 ●印は品揃え対象品です。

↑タフカラーおよび一般ビニルパイプ・継手

↑タフカラーパイプ・継手

1.4 雨水立てとい専用タフカラー継手

ヘッドVS

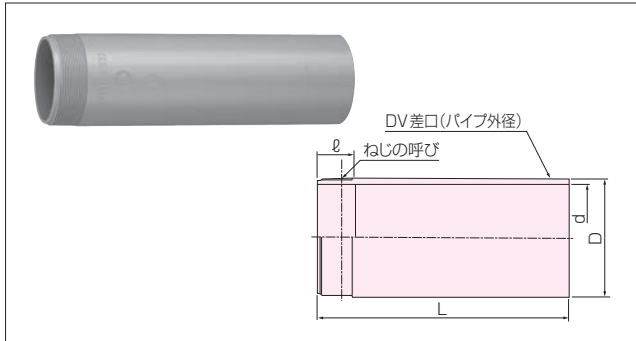


タフカラー品 品番 2363 単位: mm

呼び径	ねじの呼び	D1	D2	D3	D4	D5	d1	d2	d3	L	l	色調		規格
												シルバーグレー	アイボリー	
★ ㊦ 50	R2	60.3	50	51.5	55.5	56.5	44	50	51	65	25	●	●	㊦
㊦ 75	R3	89.3	76	77.5	82.4	83.6	70	76	77	85	40	●	●	
㊦ 100	R4	114.3	99	100.5	106	107.5	93	99	100	100	50	●	●	

- 備考
- 印は品揃え対象品です。
 - 本製品は「ルーフトレン」と「とい」を接続する継手です。
 - 本製品はVP管またはVU管の内径側に接着接合し、片ネジ管とする継手です。
 - VP管に接合する場合は、「プッシュ」を外してください。
 - VU管に接合する場合は、まず「プッシュ」を接着接合し、その後VU管と接着接合してください。
 - ㊦印は東栄管機(株)製品です。
 - ★印は在庫がなくなり次第、販売を終了いたします。

片ネジ管

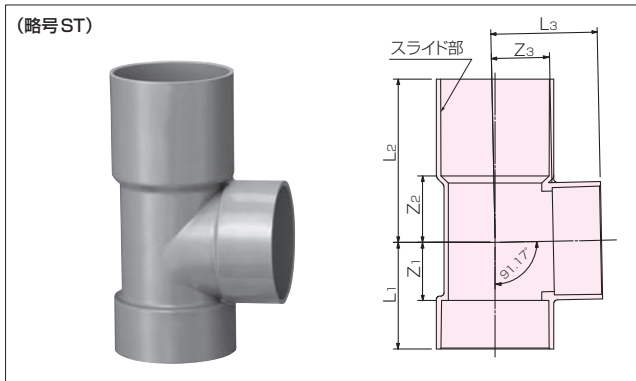


タフカラー品 品番 2364 単位: mm

呼び径	ねじの呼び	D	d	L	l	色調						規格
						シルバーグレー ㊦	ココアブラウン ㊦	アイボリー ㊦	ミルクホワイト ㊦	グレー ㊦	ダークグレー ㊦	
50	R2	60	51	300	24	●	●	●	●	●	●	㊦
75	R3	89	77	300	30	●	●	●	●	●	●	
100	R4	114	100	300	36	●	●	●	●	●	●	

- 備考
- 印は品揃え対象品です。
 - 本製品は「ルーフトレン」と「とい」を接続する継手です。
 - ㊦印は東栄管機(株)製品です。

スライドチーズ



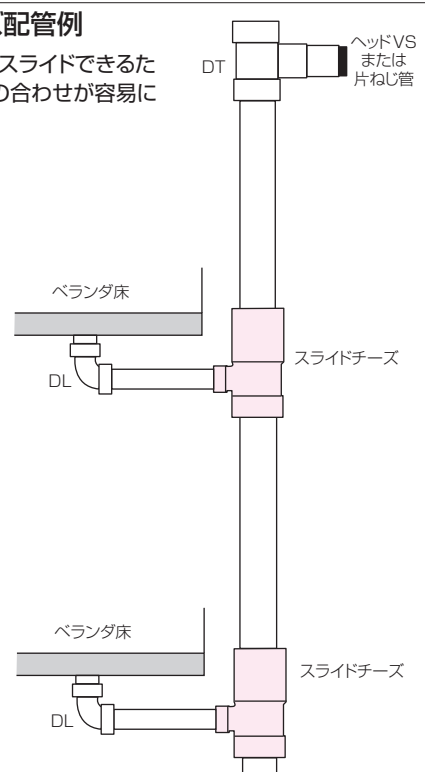
タフカラー品 品番 2365 単位: mm

呼び径	Z1	Z2	Z3	L1	L2	L3	色調						規格
							シルバーグレー ㊦	ココアブラウン ㊦	アイボリー ㊦	ミルクホワイト ㊦	グレー ㊦	ダークグレー ㊦	
75	48	55	48	88	135	88	●	●	●	●	●	●	㊦
75×50	48	55	48	88	135	73	●	●	●	●	●	●	
	(34)	(41.5)	(48)	(74)	(121.5)	(73)	●	●	●	●	●	●	
100	62	71	62	112	171	112	●	●	●	●	●	●	
100×75	62	71	62	112	171	102	●	●	●	●	●	●	
	(48)	(57)	(62)	(98)	(157)	(102)	●	●	●	●	●	●	

- 備考
- 印は品揃え対象品です。
 - 本製品は「立とい」専用継手です。
 - 本製品のスライド部に止水性はありません。
 - ㊦印は東栄管機(株)製品です。
 - ()は東栄管機(株)製品の寸法です。

スライドチーズ配管例

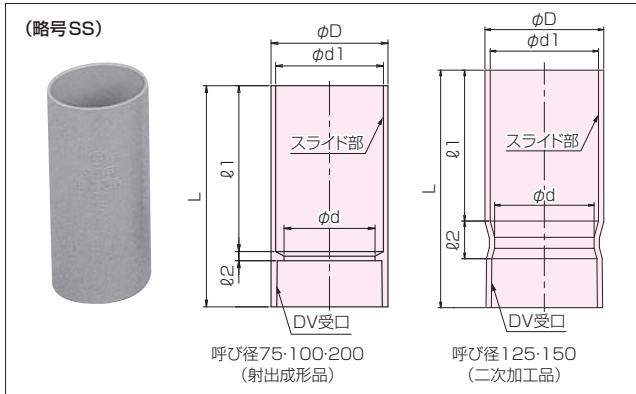
チーズ上部受口でスライドできるため、施工時の枝管の合わせが容易になります。



1 タフカラーおよび一般ビニルパイプ・継手

1 タフカラーパイプ・継手

スライドS



タフカラー品

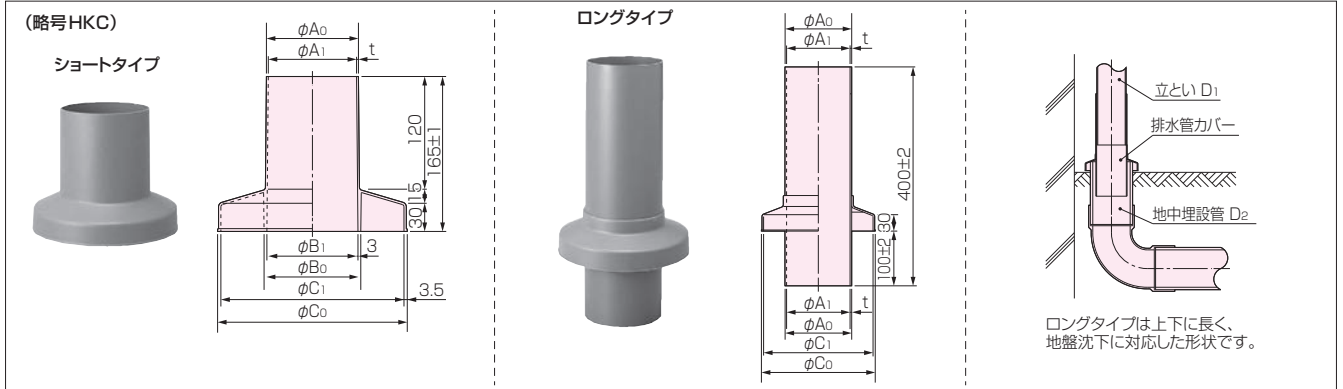
品番 2362

単位: mm

呼び径	d	d ₁	D	L	ℓ ₁	ℓ ₂	色調				規格	
							シルバーグレー	ココアブラウン	アイボリー	ミルクホワイト		
75	77.2	93	100	200	150	10	●	●	●	●	●	⊗
100	98.8	118	127	240	180	10	●	●	●	●	●	
125	132	143	158	315	200	50	●	—	●	●	●	
	(125)	(143)	(153.5)	(285)	(210)	(10)	●	—	●	●	●	
150	155	168	187	370	230	60	●	—	●	●	●	
	(145.8)	(168)	(180)	(330)	(240)	(10)	●	—	●	●	●	
※200	202	217	229	397	280	10	●	—	●	●	—	

- 備考 1. ●印は品揃え対象品です。
 2. 本製品は「立とい」専用継手です。
 3. 本製品のスライド部に止水性はありません。
 4. ※印はVU-DV継手(略号VU-SS、品番2261)です。
 5. ⊕印は東栄管機(株)製品です。全て射出成形品です。
 6. ()は東栄管機(株)製品の寸法です。

排水管カバー



ショートタイプ

品番 9211

ロングタイプ

品番 9212

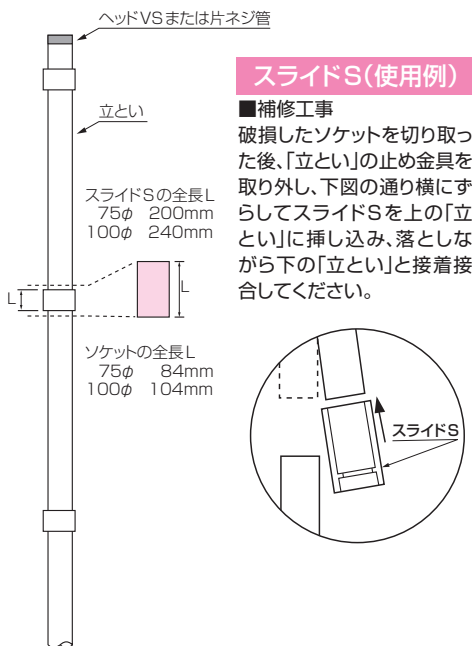
単位: mm

タイプ	呼び径	寸法								適合パイプ			色調				規格
		A ₀	A ₁	t	B ₀	B ₁	C ₀	C ₁	立てとい D ₁	地中埋設管 D ₂	シルバーグレー	ココアブラウン	ミルクホワイト	グレー			
ショートタイプ	50	70	65±0.8	2.5	74	68	202	195	VU50, VP50	陶管, VU75	●	●	●	●	⊗		
	65	86	81±0.8	5.5	91	85			VU65, VP65	陶管, VU100	●	●	●	●			
	75	98	94±0.8	2.0	103	97			VU75, VP75	陶管, VU125	●	●	●	●			
	100	123	119±0.8	2.0	129	123			VU100, VP100	陶管, VU150	●	●	●	●			
ロングタイプ	50	66	62±1.0	2.0	—	—	115	107	VU50, VP50	VU75	●	●	●	●	⊗		
	65	82	78±1.0	2.0	—	—	140	132	VU65, VP65	VU100	●	●	●	●			
	75	97	91±1.0	3.0	—	—	168	159	VU75, VP75	VU125	●	●	●	●			
	100	122	116±1.0	3.0	—	—	208	200	VU100, VP100	VU150	●	●	●	●			

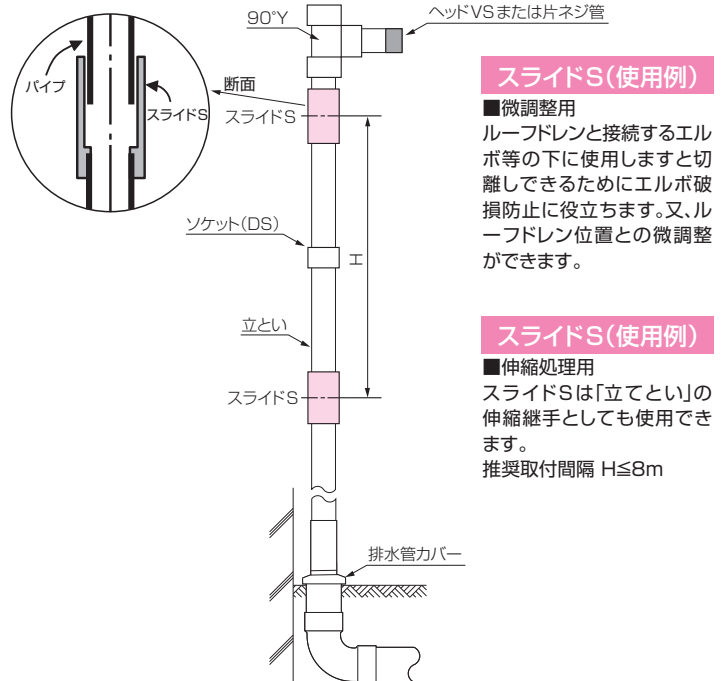
- 備考 1. ●印は品揃え対象品です。 2. 本製品に止水性はありません。 3. 本製品は耐候性向上仕様ではありません。

スライドS、ヘッドVS、片ネジ管、排水管カバーの配管例

立て形ルーフトレンドレンからの配管例



横形ルーフトレンドレンからの配管例



2. 一般ビニルパイプ・継手

表中記号

JIS K 6741：日本産業規格 JIS K 6741 品

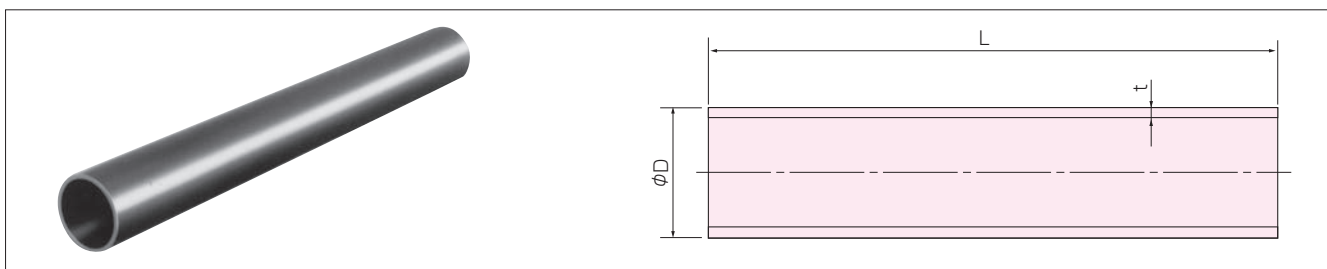
JIS K 6742：日本産業規格 JIS K 6742 品

⊗印：メーカー規格品



一般ビニルパイプ・継手の屋外露出配管では、紫外線による変色現象（白色や薄茶色など）が製品表面に生じることがあります。①耐候性の塗装を施す、②防護カバーを付ける、などの対策をご検討ください。

2.1 一般ビニルパイプ



VP		品番 1001									単位：mm
呼び径	外 径 D			厚 さ t		近似内径 (参考)	長さ L ±10	参考質量		規格	
	基準寸法	最大・最小外径の 許容差	平均外径の 許容差	最小寸法	許容差			1mあたりの質量 (kg/m)	1本あたりの質量 (kg/本)		
30	38	±0.3	±0.2	3.2	+0.6	31	4000	0.542	2.2	JIS K 6741	
40	48	±0.3	±0.2	3.6	+0.8	40	4000	0.791	3.2		
50	60	±0.4	±0.2	4.1	+0.8	51	4000	1.122	4.5		
65	76	±0.5	±0.3	4.1	+0.8	67	4000	1.445	5.8		
75	89	±0.5	±0.3	5.5	+0.8	77	4000	2.202	8.8		
100	114	±0.6	±0.4	6.6	+1.0	100	4000	3.409	13.6		
125	140	±0.8	±0.5	7.0	+1.0	125	4000	4.464	17.9		
150	165	±1.0	±0.5	8.9	+1.4	146	4000	6.701	26.8		
200	216	±1.3	±0.7	10.3	+1.4	194	4000	10.129	40.5		
250	267	±1.6	±0.9	12.7	+1.8	240	4000	15.481	61.9		
300	318	±1.9	±1.0	15.1	+2.2	286	4000	21.962	87.8		

備考 呼び径30は水道用VPパイプとなります。

VP(短尺管)		品番 1001									単位：mm
呼び径	外 径 D			厚 さ t		近似内径 (参考)	長さ L ±10	参考質量		規格	
	基準寸法	最大・最小外径の 許容差	平均外径の 許容差	最小寸法	許容差			1mあたりの質量 (kg/m)	1本あたりの質量 (kg/本)		
75	89	±0.5	±0.3	5.5	+0.8	77	2800	2.202	6.1	JIS K 6741	
100	114	±0.6	±0.4	6.6	+1.0	100	2800	3.409	9.5		

VU		品番 1005									単位：mm
呼び径	外 径 D		厚 さ t		近似内径 (参考)	長さ L ±10	参考質量		規格		
	基準寸法	平均外径の 許容差	最小寸法	許容差			1mあたりの質量 (kg/m)	1本あたりの質量 (kg/本)			
40	48	±0.2	1.8	+0.4	44	4000	0.413	1.7	JIS K 6741		
50	60	±0.2	1.8	+0.4	56	4000	0.521	2.1			
65	76	±0.3	2.2	+0.6	71	4000	0.825	3.3			
75	89	±0.3	2.7	+0.6	83	4000	1.159	4.6			
100	114	±0.4	3.1	+0.8	107	4000	1.737	6.9			
125	140	±0.5	4.1	+0.8	131	4000	2.739	11.0			
150	165	±0.5	5.1	+0.8	154	4000	3.941	15.8			
200	216	±0.7	6.5	+1.0	202	4000	6.572	26.3			
250	267	±0.9	7.8	+1.2	250	4000	9.758	39.0			
300	318	±1.0	9.2	+1.4	298	4000	13.701	54.8			
350	370	±1.2	10.5	+1.4	348	4000	18.051	72.2			
400	420	±1.3	11.8	+1.6	395	4000	23.059	92.2			

SU		品番 1005									単位：mm
呼び径	外 径 D		厚 さ t		近似内径 (参考)	長さ L ±10	参考質量		規格		
	基準寸法	平均外径の 許容差	基準寸法	許容差			1mあたりの質量 (kg/m)	1本あたりの質量 (kg/本)			
50×54	54	±0.2	2.0	±0.2	50	4000	0.467	1.9	⊗		
63×68	68	±0.3	2.5	±0.3	63	4000	0.736	2.9			
75×80	80	±0.3	2.5	±0.3	75	4000	0.870	3.5			
100×106	106	±0.4	3.0	±0.3	100	4000	1.388	5.6			
157×165	165	±0.6	4.0	±0.4	157	4000	2.893	11.6			
206×216	216	±0.8	5.0	±0.5	206	4000	4.739	19.0			

備考 1. SU管の呼び径は、標準の内径×外径を示しています。

2. SU管用の継手は、弊社にはございませんので他社品をご使用ください。

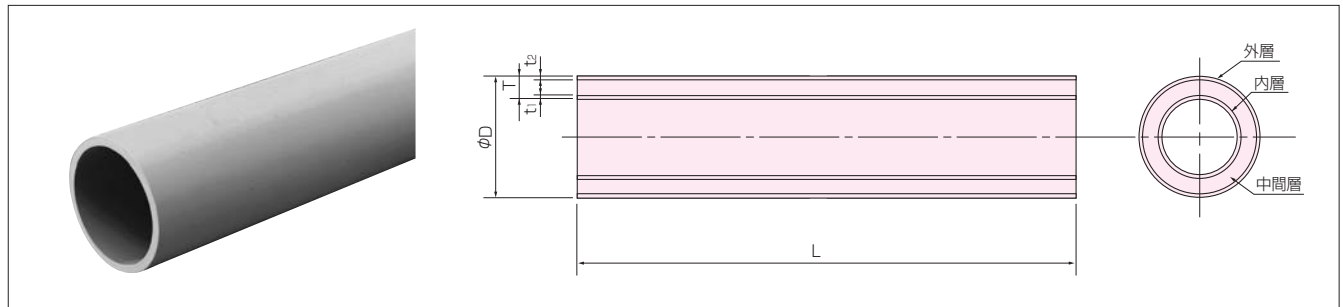
I
タフカラーおよび
一般ビニルパイプ・継手

2
一般ビニルパイプ
・継手

2.2 リサイクル発泡三層管(RF-VP)

表中記号
JIS K 9798：日本産業規格品 JIS K 9798品

リサイクル発泡三層管(RF-VP)



品番 2001 灰青色(ブルーグレー)

単位：mm

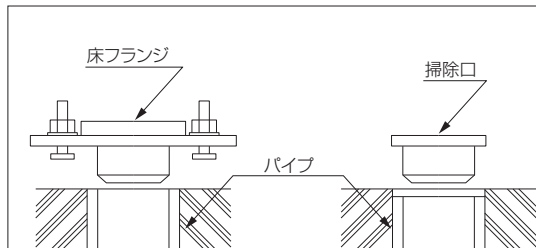
呼び径	外径 D			全体厚さ T		内層 t ₁ ・外層 t ₂	近似内径 (参考)	長さ L		参考質量 (kg/m)	規格
	基準寸法	最大・最小 外径の許容差	平均外径の 許容差	最小	許容差	最小		基準寸法	許容差		
40	48.0	±0.3	±0.2	3.6	+0.8	0.3	40	4,000	±10	0.455	JIS K 9798
50	60.0	±0.4	±0.2	4.1	+0.8	0.3	51			0.636	
65	76.0	±0.5	±0.3	4.1	+0.8	0.3	67			0.819	
75	89.0	±0.5	±0.3	5.5	+0.8	0.4	77			1.251	
100	114.0	±0.6	±0.4	6.6	+1.0	0.5	100			1.945	
125	140.0	±0.8	±0.5	7.0	+1.0	0.6	125			2.589	
150	165.0	±1.0	±0.5	8.9	+1.4	0.7	146			3.840	

備考 リサイクル発泡三層管(RF-VP)のJIS K 9798の名称は「リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管」です。

I タフカラーおよび
一般ビニルパイプ・継手

2 一般ビニルパイプ
・継手

⚠️ パイプ内径に挿入する「床フランジ」や「掃除口」等の製品をご使用いただく際の注意事項



(注)パイプの外径と厚さは管理寸法ですが、内径は管理寸法ではございません。このために、内径に挿入するタイプの製品の場合、パイプの外径と厚さの許容差範囲内バラツキにより「かん合がきつく入らない場合」と「かん合が緩く隙間のある場合」があります。

従いまして、事前に次の確認を行なってください。

- ①配管前に、製品をパイプ内径に仮挿入してください。
- ②「入らない場合」と「隙間のある場合」は、別のパイプを探してください。
- ③リサイクル発泡三層管(RF-VP)は、無理に接合しますとパイプの内層が損なわれる可能性がありますので、特にご注意ください。

2.3 排水用DV継手、VU-DV継手

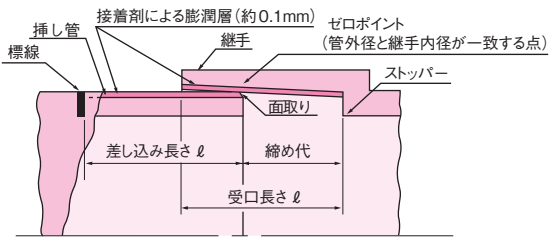
表中記号

JIS K 6739：日本産業規格品 JIS K 6739品
 AS38：塩化ビニル管・継手協会規格 AS38品
 AS12：塩化ビニル管・継手協会規格 AS12品
 AS64：塩化ビニル管・継手協会規格 AS64品
 AS19：塩化ビニル管・継手協会規格 AS19品
 K-1：日本下水道協会規格 JSWAS K-1品
 ⊗印：メーカー規格品

〈排水継手の接合方法〉

排水継手の接合方法には【接着接合】【ゴム輪接合】【スライド接合】があります。

■ 接着接合について

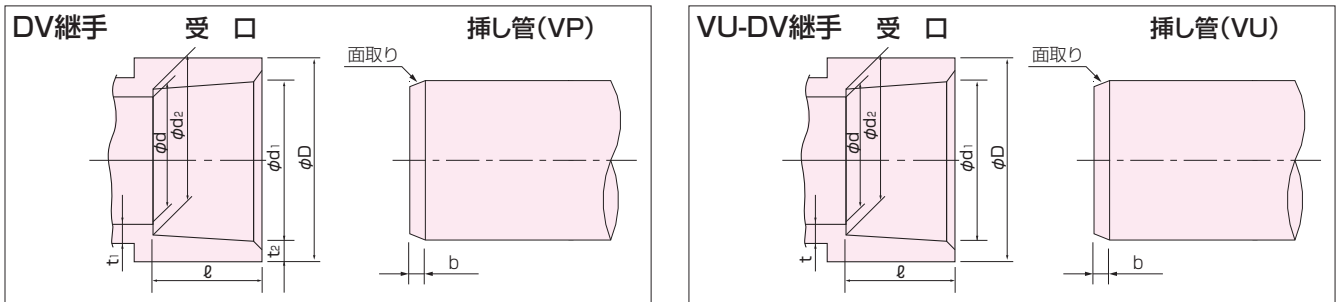


●接着接合は、DV継手の受口をテーパにして、接着剤による塩ビの膨潤と塩ビの弾力性を利用したものです。

●先端を面取りした挿し管と継手に接着剤を塗ると、塗られた面に厚さ約0.1mmの膨潤層が形成されます。この層により挿し管は継手にスムーズに挿入できます。挿し込み後、管と継手の双方の膨潤層がからみ合い、接着面を一体溶着させて水密性をもたらします。

●DV継手は、圧力管用継手に比べ、受口長さを短くすると共にテーパを緩くして、挿し管先端を継手の奥部ストッパーに当たるまで押し込める設計としています。ただし、呼び径が大きくなるに連れ、人力では奥まで入り辛くなります。またVU-DV継手はDV継手よりテーパがきつく、挿入抵抗が大きくなります。その場合は挿入機をご使用ください。

■ DV継手・VU-DV継手の接合部共通寸法



DV継手(VP内径ストッパー)

単位：mm

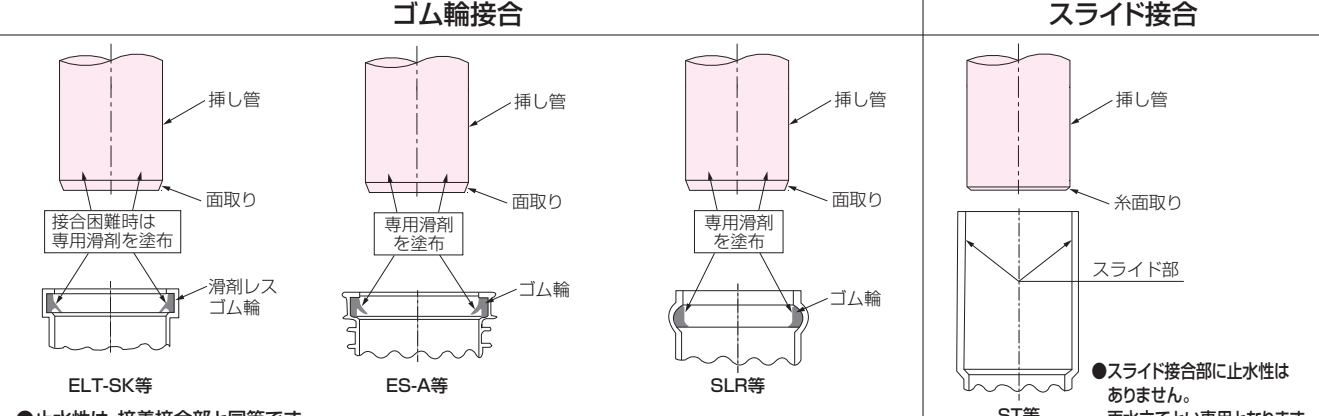
呼び径	d ₁		d ₂		ℓ		参考寸法	D		d		t ₁	t ₂	b
	基準寸法	許容差	基準寸法	許容差	基準寸法	許容差		基準寸法	許容差	最小寸法	最小寸法	参考		
30	38.25	±0.25	37.85	±0.25	18	±1	44	31.0	±0.8	2.7	2.5	1		
40	48.30	±0.30	47.80	±0.30	22	±1	54	40.0	±0.9	2.7	2.5	1		
50	60.35	±0.30	59.75	±0.30	25	±1	67	51.0	±0.9	3.1	3.0	2		
65	76.40	±0.30	75.70	±0.30	35	±1	83	67.0	±0.9	3.1	3.0	2		
75	89.45	±0.30	88.65	±0.30	40	±2	97	77.2	±0.9	3.6	3.4	3		
100	114.55	±0.35	113.55	±0.35	50	±2	124	98.8	±1.0	4.5	4.3	3		
125	140.70	±0.40	139.40	±0.40	65	±2	151	125.0	±1.2	5.4	4.7	4		
150	165.85	±0.45	164.25	±0.45	80	±2	178	145.8	±1.3	6.3	5.6	4		

VU-DV継手(VU内径ストッパー)

単位：mm

呼び径	d ₁		d ₂		ℓ		参考寸法	D		d		t		b
	基準寸法	許容差	基準寸法	許容差	基準寸法	許容差		参考寸法	最小寸法	最小寸法	参考			
40	48.30	±0.30	47.80	±0.30	22	±1	54	40(参考)	1.8	1				
50	60.50	±0.30	59.50	±0.30	25	±3	67	56	2.2	2				
65	76.60	±0.30	75.40	±0.30	35	±3	83	71	2.5	2				
75	89.60	±0.30	88.30	±0.30	40	±5	97	83	3.0	3				
100	114.80	±0.40	113.20	±0.40	50	±5	124	107	3.5	3				
125	140.90	±0.40	139.10	±0.40	65	±5	150	131	4.5	4				
150	166.10	±0.50	163.90	±0.50	80	±5	178	154	5.5	4				
200	217.30	±0.55	214.70	±0.55	105~115	-	227	202(参考)	5.5(参考)	5				
250	268.55	±0.60	265.45	±0.60	125~132	-	280	250(参考)	6.5(参考)	5				
300	319.75	±0.65	316.25	±0.65	140~157	-	333	298(参考)	7.5(参考)	5				
350	373.00	±0.70	368.50	±0.70	168~170	-	392	347(参考)	9.3(参考)	5				
400	423.00	±0.75	417.75	±0.75	200	-	444	395(参考)	10.5(参考)	5				

■ ゴム輪接合・スライド接合について



●止水性は、接着接合部と同等です。

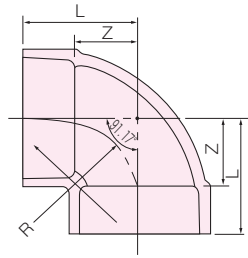
●スライド接合部に止水性は
ありません。
雨水立てとい専用となります。

1 タフカラーおよび
一般ビニルパイプ・継手

2 一般ビニルパイプ
継手

90°エルボ

(略号 DL・VU-DL)



DV継手

品番2151

単位: mm

呼び径	Z	L	R(参考)	規格
30	22	40	23	JIS K 6739
40	27	49	27	
50	33	58	34	
65	42	77	43	
75	48	88	49	
100	62	112	65	
125	75	140	79.5	
150	88	168	89.5	

VU-DV継手

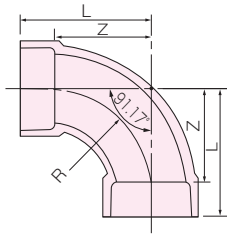
品番2251

単位: mm

呼び径	Z	L	R(参考)	規格
40	27	49	28	⊗
50	33	58	31	AS38
65	42	77	43	
75	48	88	54	
100	62	112	70	
125	75	140	84	
150	88	168	82	
200	110	215	114	
250	142	267	177	
300	168	308	181	⊗
350	196	364	212	
400	222	422	252	

90°大曲がりエルボ

(略号 LL・VU-LL)



DV継手

品番2152

単位: mm

呼び径	Z	L	R(参考)	規格
40	52	74	75	JIS K 6739
50	66	91	88	
65	90	125	108	
75	100	140	119	
※75×50	(75側)101/(50側)100	(75側)141/(50側)125	—	
100	128	178	152	
⊗※100×65	128	(100側)178/(65側)163	—	
⊗※100×75	128	(100側)178/(75側)168	—	
125	140	205	180	
150	170	250	210	

備考 1. ※印は都市再生機構標準品です。
2. ⊗印は前澤化成工業(株)製品です。

VU-DV継手

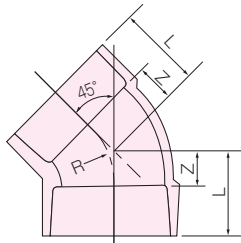
品番2252

単位: mm

呼び径	Z	L	R(参考)	規格
50	66	91	85	AS38
75	100	140	120	K-1, AS38
100	128	178	159	
125	140	205	180	
150	170	250	240	
200	196	301	270	K-1, AS12
250	225	350	225	
300	250	390	250	

45°エルボ

(略号 45L・VU-45L)



DV継手

品番2153

単位: mm

呼び径	Z	L	R(参考)	規格
30	12	30	29	JIS K 6739
40	14	36	30	
50	18	43	42	
65	22	57	52	
75	25	65	58	
100	30	80	69	
125	38	103	90	
150	44	124	109	

VU-DV継手

品番2253

単位: mm

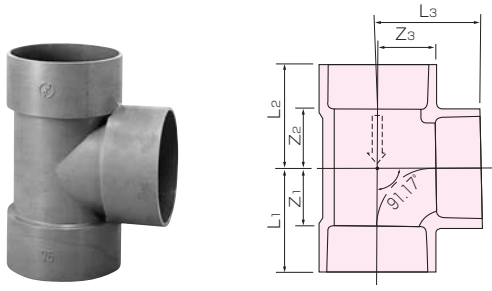
呼び径	Z	L	R(参考)	規格
40	14	36	34	⊗
50	18	43	45	AS38
65	22	57	55	
75	25	65	60	
100	30	80	69	
125	38	103	92	
150	44	124	106	
200	48	153	114	AS12
250	58	183	140	
300	70	210	167	
350	90	258	212	
400	110	310	243	⊗

I
タフカラーおよび
一般ビニルパイプ・継手

2
一般ビニルパイプ
・継手

90°Y

(略号DT・VU-DT)



VU-DV 継手

品番 2254

単位: mm

呼び径	Z ₁	Z ₂	Z ₃	L ₁	L ₂	L ₃	規格	
50	34	34	34	59	59	59	AS38	
65	42	43	42	77	78	77		
75	48	49	48	88	89	88		
75×50	34	35	48	74	75	73		
100	62	63	62	112	113	112		
100×50	34	35	62	84	85	87		
100×75	48	49	62	98	99	102		
125	75	76	75	140	141	140		⊗
150	89	90	89	169	170	169		AS38
200	113	113	113	218	218	218		AS12
200×100	62	63	116	167	168	166		
200×125	76	73	115	186	183	180		
200×150	88	88	113	198	198	193	⊗	
250	139	139	139	264	264	264	AS12	
250×200	116	118	141	246	248	251		
300	165	165	165	305	305	305	⊗	
350	197	200	197	367	370	367		

DV 継手

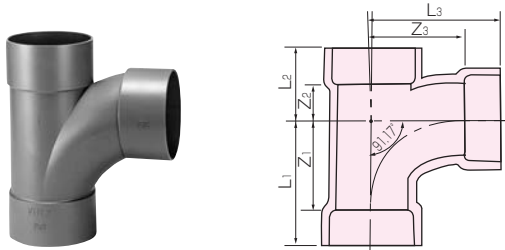
品番 2154

単位: mm

呼び径	Z ₁	Z ₂	Z ₃	L ₁	L ₂	L ₃	規格
30	22	22	22	40	40	40	JIS K 6739
40	27	27	27	49	49	49	
40×30	22	22	27	44	44	45	
50	34	34	34	59	59	59	
50×30	22	22	33	47	47	51	
50×40	27	27	33	52	52	55	
65	42	43	42	77	78	77	
65×40	27	28	42	62	63	64	
65×50	34	35	42	69	70	67	
75	48	49	48	88	89	88	
75×40	27	28	48	67	68	70	
75×50	34	35	48	74	75	73	
75×65	42	43	48	82	83	83	
100	62	63	62	112	113	112	
100×40	27	28	62	77	78	84	
100×50	34	35	62	84	85	87	
100×65	42	43	62	92	93	97	
100×75	48	49	62	98	99	102	
125	75	76	75	140	141	140	AS64
125×75	49	51	75	114	116	115	
125×100	62	64	75	127	129	125	
150	89	90	89	169	170	169	JIS K 6739
150×75	51	53	88	131	133	128	
150×100	62	65	88	142	145	138	⊗

90°大曲がりY

(略号LT・VU-LT)



VU-DV 継手

品番 2255

単位: mm

呼び径	Z ₁	Z ₂	Z ₃	L ₁	L ₂	L ₃	規格
50	66	26	66	91	51	91	AS38
75	100	30	100	140	70	140	
75×50	66	29	79	106	69	104	
100	128	45	128	178	95	178	
100×50	66	32	90	116	82	115	
100×75	100	33	110	150	83	150	
125	140	50	140	205	115	205	
150	170	65	170	250	145	250	
150×125	140	60	152	220	140	217	
200	196	94	196	301	199	301	
200×100	128	52	176	233	157	226	⊗
200×150	170	57	196	275	162	276	AS12

DV 継手

品番 2155

単位: mm

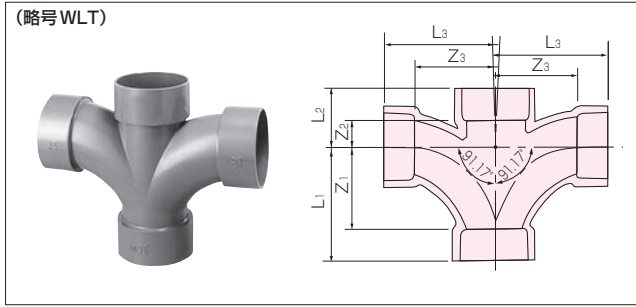
呼び径	Z ₁	Z ₂	Z ₃	L ₁	L ₂	L ₃	規格
40	52	23	52	74	45	74	JIS K 6739
50	66	26	66	91	51	91	
50×40	52	23	57	77	48	79	
65	90	33	90	125	68	125	
65×40	52	24	66	87	59	88	
65×50	66	27	74	101	62	99	
75	100	30	100	140	70	140	
75×40	52	25	71	92	65	93	
75×50	66	29	79	106	69	104	
75×65	90	32	95	130	72	130	
100	128	45	128	178	95	178	
100×40	52	28	82	102	78	104	
100×50	66	32	90	116	82	115	
100×65	90	36	107	140	86	142	
100×75	100	33	110	150	83	150	
125	140	50	140	205	115	205	
125×65	90	38	120	155	103	155	
125×75	100	42	124	165	107	164	
125×100	128	52	140	193	117	190	
150	170	65	170	250	145	250	
150×65	90	42	130	170	122	165	
150×75	100	45	135	180	125	175	
150×100	128	53	152	208	133	202	
150×125	140	60	152	220	140	217	

I タフカラーおよび
一般ビニルパイプ・継手

2 一般ビニルパイプ
・継手

90°大曲がり両Y

(略号WLT)



DV継手

品番2156

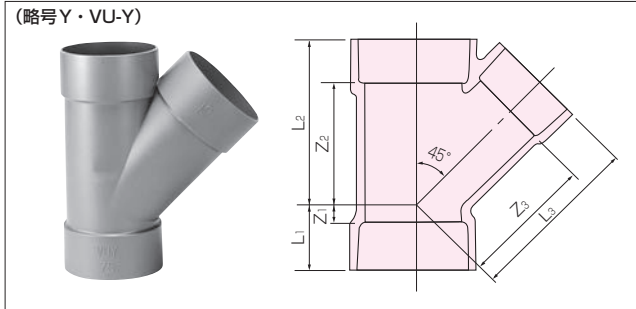
単位: mm

呼び径	Z ₁	Z ₂	Z ₃	L ₁	L ₂	L ₃	規格
65	90	33	90	125	68	125	JIS K 6739
75	100	38	100	140	78	140	
100	128	45	128	178	95	178	
100×75	100	40	110	150	90	150	
①125×100	128	52	140	193	117	190	

備考 ①印は東栄管機(株)製品です。

45°Y

(略号Y・VU-Y)



DV継手

品番2157

単位: mm

呼び径	Z ₁	Z ₂	Z ₃	L ₁	L ₂	L ₃	規格
40	12	58	62	34	80	84	JIS K 6739
②40×30	6	50	58	28	72	76	
50	20	72	78	45	97	103	
50×40	8	62	70	33	87	92	
65	20	92	98	55	127	133	
65×40	-1	72	82	34	107	104	
65×50	8	80	88	43	115	113	
75	26	106	115	66	146	155	
75×40	-6	78	92	34	118	114	
75×50	3	86	98	43	126	123	
75×65	14	98	106	54	138	141	
100	32	134	144	82	184	194	
100×40	-14	96	112	36	146	134	
100×50	-8	98	118	42	148	143	
100×65	3	110	125	53	160	160	
100×75	19	118	132	69	168	172	
125	38	172	175	103	237	240	
125×100	19	150	171	84	215	221	
150	44	204	210	124	284	290	
150×100	6	165	185	86	245	235	

備考 ②印は前澤化成工業(株)製品です。

VU-DV継手

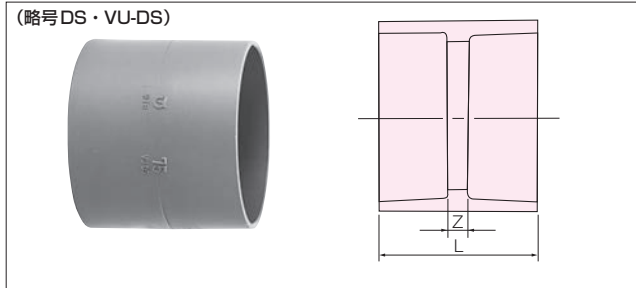
品番2257

単位: mm

呼び径	Z ₁	Z ₂	Z ₃	L ₁	L ₂	L ₃	規格	
50	20	72	78	45	97	103	AS38	
75	26	106	115	66	146	155		
75×50	3	86	98	43	126	123		
100	32	134	144	82	184	194		
100×50	-8	98	118	42	148	143		
100×75	19	118	132	69	168	172		
125	38	172	175	103	237	240		
150	44	204	210	124	284	290		
200	42	258	268	147	363	373		AS12
200×100	-15	200	218	90	305	268		③
200×150	7	224	243	112	329	323		AS12

ソケット

(略号DS・VU-DS)



DV継手

品番2158

単位: mm

呼び径	Z	L	規格
30	3	39	JIS K 6739
40	3	47	
50	3	53	
65	3	73	
75	4	84	
100	4	104	
125	4	134	
150	4	164	

VU-DV継手

品番2258

単位: mm

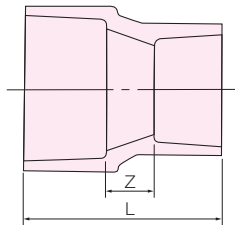
呼び径	Z	L	規格
40	3	47	④
50	3	53	AS38
65	3	73	
75	4	84	
100	5	105	K-1, AS38
125	5	135	
150	5	165	
200	5	215	
250	6	270	K-1, AS12
300	6	320	
350	12	352	
400	12	412	④

1 タフカラーおよび
一般ビニルパイプ・継手

2 一般ビニルパイプ
・継手

インクリーザー

(略号 IN・VU-IN)



VU-DV 継手

品番 2259

単位：mm

呼び径	Z	L	規格
50×40	20	67	⊗
65×50	20	80	AS38
75×50	25	90	
75×65	25	100	
100×50	30	105	
100×65	30	115	
100×75	30	120	
125×100	35	150	
150×100	40	170	
150×125	40	185	
200×100	45	203	
200×125	45	218	AS12
200×150	50	235	
250×200	60	290	

DV 継手

品番 2159

単位：mm

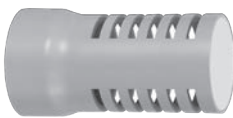
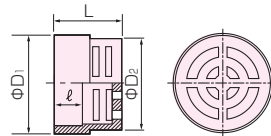
呼び径	Z	L	規格
40×30	20	60	JIS K 6739
50×30	20	63	
50×40	20	67	
65×40	20	77	
65×50	20	80	
75×40	25	87	
75×50	25	90	
75×65	25	100	
100×40	30	102	
100×50	30	105	
100×65	30	115	
100×75	30	120	
125×65	35	135	
125×75	35	140	
125×100	35	150	
150×75	40	160	AS64
150×100	40	170	JIS K 6739
150×125	40	185	

通気口

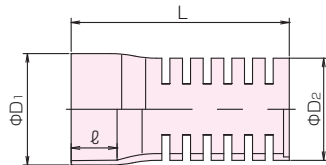
(略号 VO)



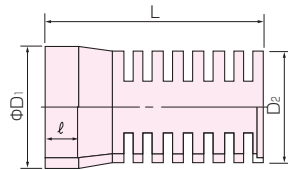
(呼び径 50)



(呼び径 65・75)



(呼び径 100)



DV 継手

品番 2164

単位：mm

呼び径	D ₁	D ₂	L	ℓ	規格
50	68	64.3	50	22	⊗
65	83	76	190	35	
75	97	89	190	40	
100	129	114	245	50	

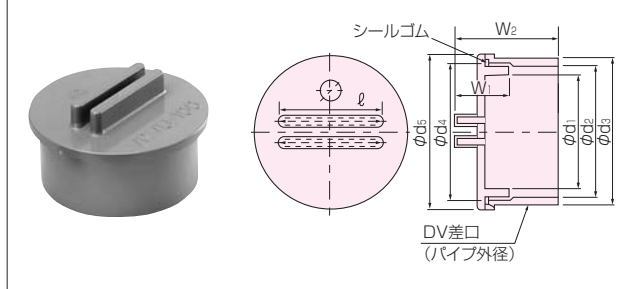
備考 都市再生機構標準品です。

I タフカラーおよび
一般ビニルパイプ・継手

2 一般ビニルパイプ
・継手

つまみ型掃除口

(略号 VCO)



品番 2361

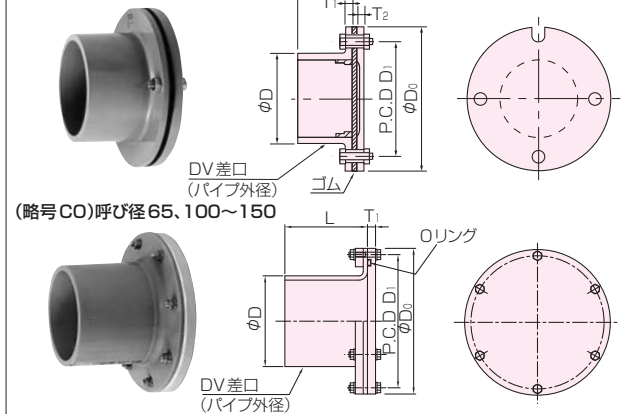
単位: mm

呼び径	d1	d2	d3	d4	d5	W1	W2	ℓ	規格
40	32.4	40.4	48	43.0	58	23.0	39.0	38	⊗
50	45.0	52.2	60	55.5	69	28.5	44.0	40	
65	56.8	66.6	76	70.0	88	31.0	56.5	55	
75	70.0	78.5	89	81.0	100	37.0	65.5	65	
100	91.5	100.0	114	104.0	125	38.0	74.0	80	
125	108.9	125.0	140	130.0	150	52.0	99.5	100	
150	134.5	147.5	165	167.5	179	58.0	116.0	118	
200	183.0	195.0	216	222.0	235	60.0	154.0	155	

備考 1. 呼び径 40~125 のシールゴムは Oリングで、材質は EPDM です。
2. 呼び径 150、200 のシールゴムは平パッキンで、材質は SBR です。

フランジ形掃除口

(略号 CO) 呼び径 50、75



品番 2161

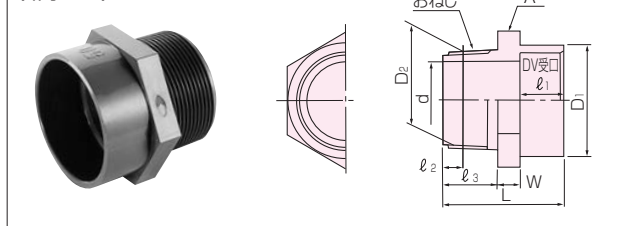
単位: mm

呼び径	D	Do	D1	L	T1	T2	ボルト数	規格
50	60	100	85	38	5	8	4	⊗
65	76	120	106	80	10	-	4	
75	89	130	115	55	5	8	4	
100	114	177	161	100	10	-	6	
125	140	205	191	112	10	-	6	
150	165	240	223	130	10	-	8	

備考 1. 都市再生機構標準品です。
2. ボルト・ナットは SUS 製です。
3. 呼び径 50、75 のゴムの材質は SBR です。
4. 呼び径 65、100~150 の Oリングの材質はクロロブレンゴム (CR) です。

排水用バルブソケット

(略号 DVS)



DV 継手

品番 2166

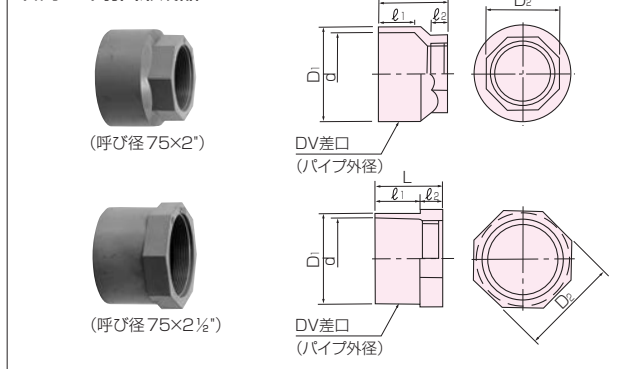
単位: mm

呼び径	D1	d	ℓ1	W	L	ネジ部			規格
						D2	ℓ2	ℓ3	
40×1½"	54	40	22	10	58	47.803	12.70	26	AS64
50×2"	67	51	25	12	68	59.614	15.88	31	
65×2½"	83	68	35	15	85	75.184	17.46	35	
75×3"	97	77.2	40	16	95	87.884	20.64	39	
100×4"	124	98.8	50	18	115	113.030	25.40	47	

備考 1. 都市再生機構標準品です。
2. おねじは JIS B 0203 (管用テーパねじ) のテーパおねじ (R) に準じます。
3. A 部は、呼び径 50 以下は 6 角、呼び径 65 以上は 8 角とします。

鋼管用アダプター

(略号 DA) 射出成形品



射出成形品

品番 2160

単位: mm

呼び径	ℓ1	ℓ2	L	D1	D2	d	ねじの呼び径	規格
75×2"	40	16	65	89	72	77.2	Rc2	⊗
75×2½"	45	20	65	89	90	77.2	Rc2½	

備考 都市再生機構標準品です。

二次加工品

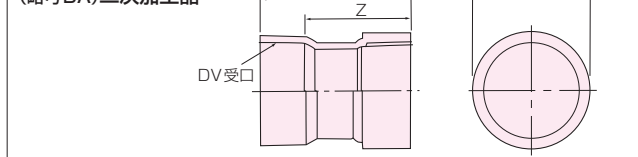
品番 2160

単位: mm

呼び径	Z	L	D	ねじの呼び径	規格
30×1¼"	62	80	45.2	Rc1¼	⊗
40×1½"	68	90	56.3	Rc1½	
50×2"	85	110	69.3	Rc2	
65×2½"	90	125	85.4	Rc2½	
75×3"	95	135	101.2	Rc3	
100×4"	100	150	128.0	Rc4	

備考 1. 都市再生機構標準品です。
2. めねじは JIS B 0203 (管用テーパねじ) のテーパめねじ (Rc) に準じます。
3. DV 受口寸法は JIS K 6739 (排水用硬質ポリ塩化ビニル管継手) に準じます。

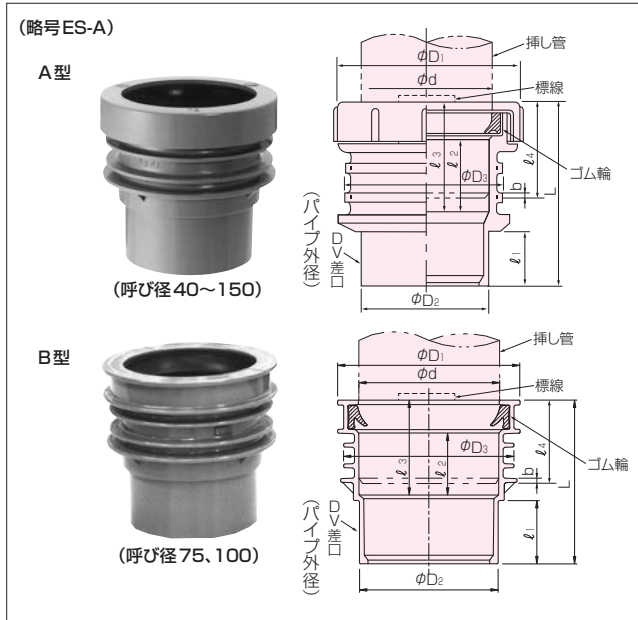
(略号 DA) 二次加工品



I タフカラーおよび一般ビニルパイプ・継手

2 一般ビニルパイプ・継手

差込ソケット(伸縮継手)



品番 2162

単位: mm

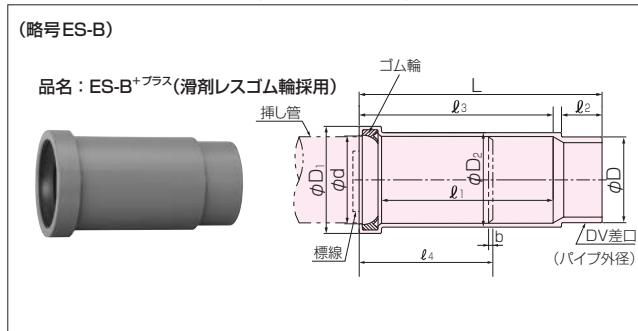
呼び径	型式	D ₁	D ₂	D ₃	d	L	ℓ ₁	ℓ ₂	ℓ ₃	規格
40	A	69	48	60	48.9	80	23	34	48	⊗
50	A	85	60	76	60.8	85.5	26	35	51	
65	A	110	76	86	77.1	103.5	36	37	58	
75	B	120	89	114	91.0	114	42	43	65	
100	B	150	114	140	115.8	134.5	52	51	78	
125	A	181	140	165	141.2	160.5	66	53	83	
150	A	211	165	191	167.0	191.5	83	62	96	

- 備考
- 都市再生機構標準品です。
 - ゴム輪の材質は、A型はSBR、B型はEPDMです。
 - 挿し管には面取りが必要です。また、接合には専用滑剤(VスプレーかVソープ)をご使用ください。
 - 立て配管、横引配管の双方に使用できます。ただし、横引配管の場合は、ゴム輪接合部奥に僅かな汚水溜まりが生じます。
 - 呼び径75、100はタフカラー継手(グレー色)です。

挿入長さ・伸縮量・面取り幅

呼び径	40	50	65	75	100	125	150
挿入長さ ℓ ₄	35	40	50	55	65	70	75
伸縮量	±13	±11	±8	±10	±13	±13	±21
面取り幅 b	1	2		3	4		

やりとりソケット(伸縮継手)



挿入長さ・伸縮量・面取り幅

呼び径	50	65	75	100	125	150
挿入長さ ℓ ₄	70	80	95	115	140	170
伸縮量	±31	±46	±52	±64	±72	±87
面取り幅 b	2	3	4			

品番 2163

単位: mm

呼び径	D	d	L	ℓ ₁	ℓ ₂	ℓ ₃	D ₁	D ₂	規格
50	60	62	135	85	26	101	78	68	⊗
65	76	78	170	107	36	126	97	86	
75	89	91	198	125	42	147	111	98	
100	114	116	240	152	52	179	140	124	
125	140	142	291	183	67	212	172	151	
150	165	167	351	223	82	257	201	178	

- 備考
- 都市再生機構標準品です。
 - ゴム輪の材質は、EPDM(シリコン系潤滑剤塗布済)又は自己潤滑性クロロレン(CR)です。
 - 挿し管には面取りが必要です。ゴム輪は滑剤レスゴム輪ですが、挿入困難な場合は、専用滑剤(VスプレーかVソープ)をご使用ください。また、やりとり施工の場合は専用滑剤を挿し管の伸縮長さ全体に多めに塗布してください。
 - 立て管、横引配管の双方に使用できます。ただし、横引配管の場合は、ゴム輪接合部奥に僅かな汚水溜まりが生じます。
 - 本製品はタフカラー継手(グレー色)です。

やりとりソケット(ES-B)による補修方法

I. 切り取り長さL₁、補修短管長さL₂、余裕代Sの最小長さについて

L₁、L₂、Sの計算式は以下の通りです。

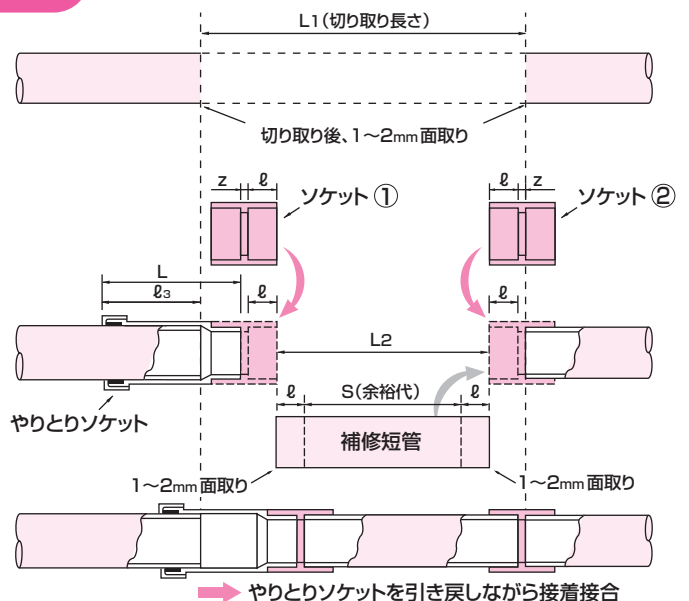
$$L_2 = L_1 - (L - \ell_3) - 2(\ell + Z) \quad S = L_2 - 2\ell$$

最小のL₁、L₂、Sを各製品の許容差中心寸法で計算した結果は、下表の通りです。ただし、実製品の許容差は少しバラツキがあります。そのため、下表の数値は目安の寸法であることをご承知いただき、参考としてください。

呼び径	50	65	75	100	125	150
L ₁	160	210	240	290	370	450
L ₂	70	90	101	121	153	188
S	20	20	21	21	23	28

II. 補修作業手順

- 補修部分を上表L₁寸法の長さで切り取り、面取りしてください。
- ソケット①をやりとりソケットの下流挿し口側に接着接合してください。
- ソケット②を切り取り部の下流側に接着接合してください。
- やりとりソケットゴム輪部に専用滑剤を塗布してください。
- 切り取り部の上流側やりとり(ℓ₃)範囲に、やりとり困難とならないように専用滑剤を多めに塗布してください。
- やりとりソケットを、切り取り部の上流側に挿し込み、受口の奥端まで完全に挿入してください。
- 右図のL₂を測定した上で補修短管を用意し、面取りしてください。
- 補修短管と下流側ソケット②とを接着接合してください。
- やりとりソケットを引き戻しながら、補修短管と上流側ソケット①とを接着接合してください。

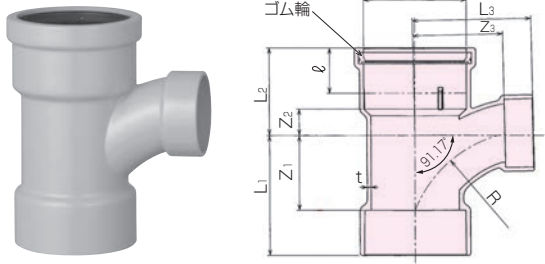


1 タフカラーおよび一般ビニルパイプ・継手

2 一般ビニルパイプ・継手

スロップシンク用伸縮機能付90°大曲がりY

(略号ELT-SK)



DV継手

品番2175

単位: mm

呼び径	Z ₁	Z ₂	Z ₃	L ₁	L ₂	L ₃	ℓ	d	t	R	規格
75×50	66	23	79	106	77	104	40	90	3.6	110	☒

- 備考
1. 挿し管には1~2mmの面取りが必要です。ゴム輪は自己潤滑性クロロプレン(CR)製の滑剤レスゴム輪ですが、挿入困難な場合は、専用滑剤(VスプレーかVソープ)をご使用ください。
 2. 挿し管接合時には、受口端面から寸法位置のストッパーに挿し管先端を止めることにより±14mmの伸縮量を確保できます。
 3. 挿し管を過大な力で押し込みますと挿し管先端はストッパーで止まらず乗り越えることがあります。そうなりますと伸縮量は確保できなくなります。
 4. 本製品はタフカラー継手(グレー色)です。

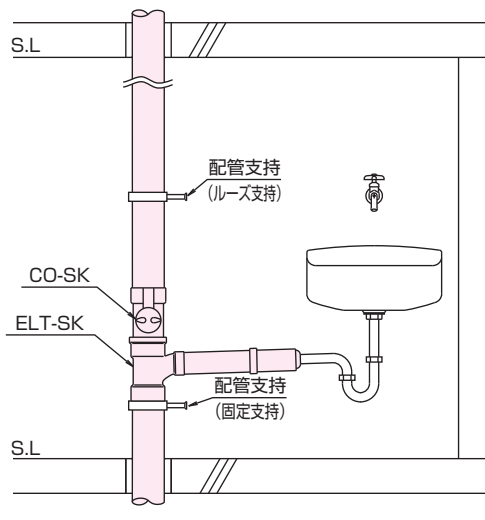
1 タフカラーおよび一般ビニルパイプ・継手

2 一般ビニルパイプ・継手

スロップシンク用継手の施工方法

標準配管方法

施工例



① 管の切断

管(排水立て管・横枝管)は、切断面が管軸に対して直角になるよう切断します。

② 管の面取り

切断面に生じたバリ・カエリはヤスリで平らに仕上げ、管の先端に所定の面取りを行ないます。

③ 継手への接合

【ゴム輪接合】

管をストッパーまで挿入し接合します。

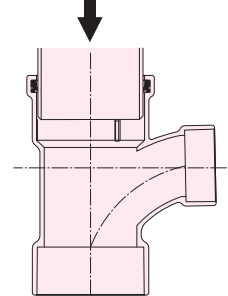
ゴム輪は自己潤滑性クロロプレン(CR)製の滑剤レスゴム輪ですが、挿入困難な場合は、専用滑剤(VスプレーかVソープ)をご使用ください。

【接着接合】

DV継手の受口内面と管の差口外面に接着剤(タフダイナ青)をうすく均一に塗布します。

塗布後は、すみやかに接合してください。なお、詳細はP.75をご覧ください。

面取りを行って管をストッパー部まで挿入



Vソープ(滑剤)
品番: 7000



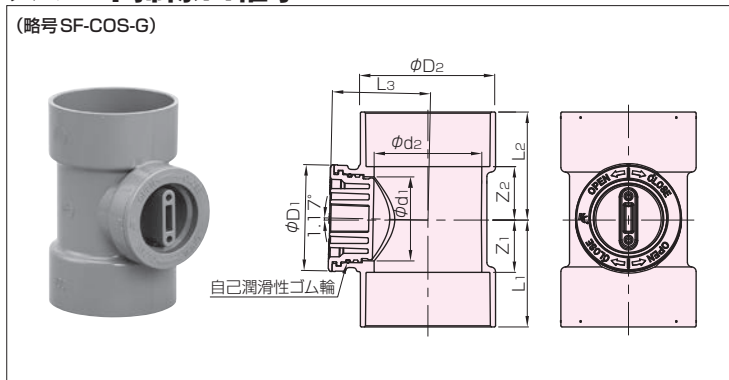
Vスプレー
品番: 7000



タフダイナ青
(接着剤)
品番: 1039
色調: 無色

スマート掃除口継手

(略号 SF-COS-G)



DV継手

品番2180

単位: mm

呼び径	Z ₁	Z ₂	L ₁	L ₂	L ₃	D ₁	D ₂	d ₁	d ₂	規格
75×75	48	49	88	89	79	97	97	77	77.2	⊗
100×75	48	49	98	99	90	97	124	77	98.8	
100×100	62	63	112	113	90	124	124	99	98.8	

備考 1. 接着剤を多量に塗布し、垂れが発生すると掃除口が開閉できなくなる可能性があります。
2. ゴム輪に埃などが付着すると漏水する可能性があります。

スマート掃除口開閉治具

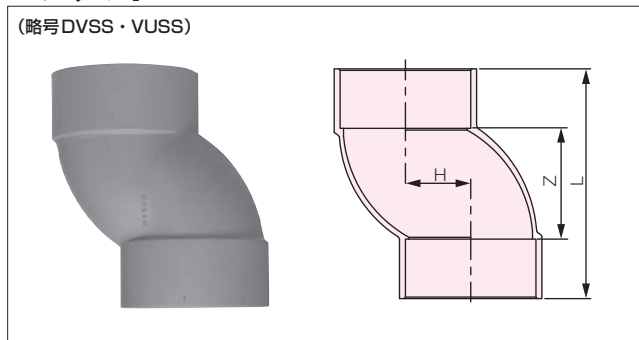
品番2180

⊗



Sソケット

(略号 DVSS・VUSS)



DV継手

品番2358

単位: mm

呼び径	Z	H	L	規格
75	75	44.5	155	AS64
100	95	57	195	

備考 本製品はタフカラー継手(グレー色)です。

VU-DV継手

品番5437

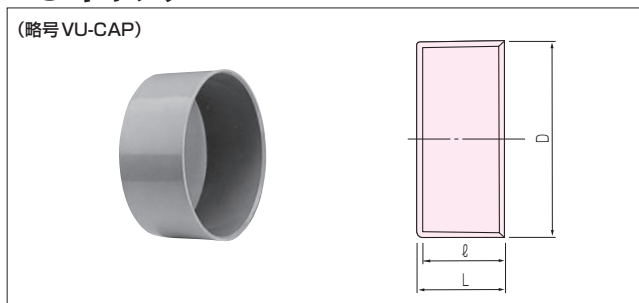
単位: mm

呼び径	Z	H	L	規格
40	40	24	84	⊗
50	50	30	100	
65	64	38	134	AS38
75	75	44.5	155	
100	95	57	195	
Ⓛ125	120	70	250	
Ⓛ150	137	82.5	297	

備考 Ⓛ印は東栄管機(株)製品です。

VUキャップ

(略号 VU-CAP)



VU-DV継手

品番2354

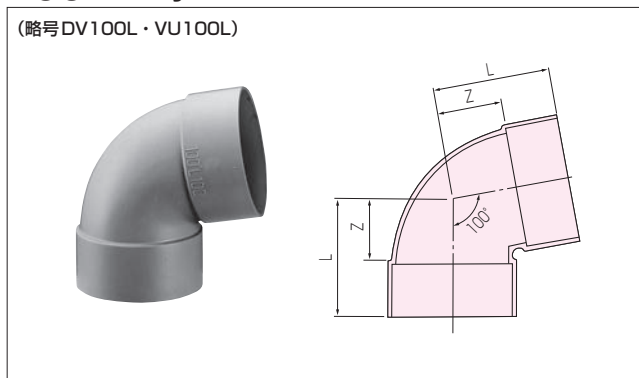
単位: mm

呼び径	L(参考)	ϕ	D	規格
40	25	24	52	⊗
50	27	25	67	
65	37.5	35	83	
75	43	40	97	
100	53.5	50	124	
125	69	65	150	
150	85	80	178	
200	115	110	227	
250	138	128	280	
300	154	145	333	

備考 1. 本製品を埋設する場合、鉛直方向埋設管の蓋には使用厳禁です。また、横引き埋設管の蓋として使用する場合でも、埋設深さは次の通りです。
許容埋設深さ(車道下)土被り 1.2~2m、(歩道下)土被り 0.6~2m
2. 呼び径 40、250、300は形状が異なります。

100°エルボ

(略号 DV100L・VU100L)



DV継手

品番2351

単位: mm

呼び径	Z	L	規格
100	62	112	⊗

備考 本製品はタフカラー継手(グレー色)です。

VU-DV継手

品番2351

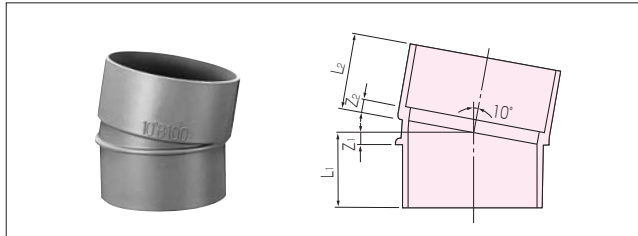
単位: mm

呼び径	Z	L	規格
50	31	56	⊗
75	48	88	
100	62	112	

1 タフカラーおよび一般ビニルパイプ・継手

2 一般ビニルパイプ・継手

VU10°ブッシング

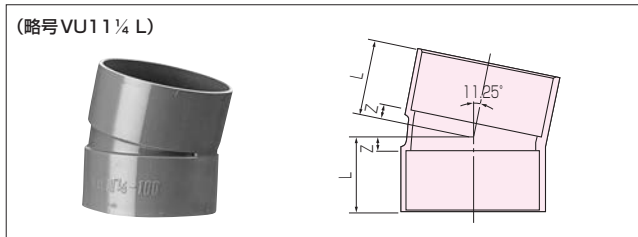


VU-DV 継手 品番2353 単位: mm

呼び径	Z ₁	L ₁	Z ₂	L ₂	規格
50	6.0	31	6.0	31	⊗
75	7.8	47.8	7.8	47.8	
100	2.0	52	14.0	64	

VU11 ¼°エルボ

(略号 VU11¼ L)



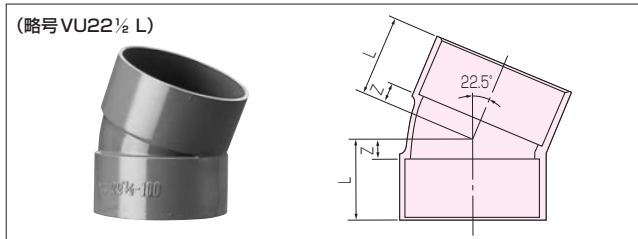
VU-DV 継手 品番5430 単位: mm

呼び径	Z	L	規格
⊗ 75	9	49	⊗
100	11	61	
150	17	97	

備考 ⊗印は前澤化成工業(株)製です。

VU22 ½°エルボ

(略号 VU22½ L)



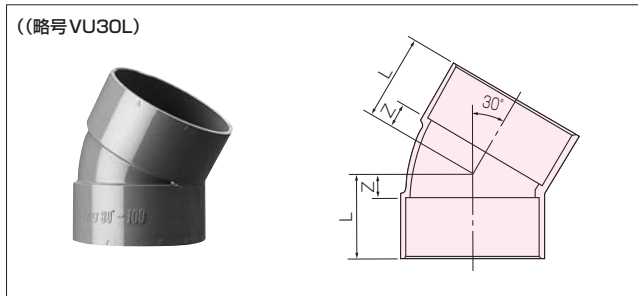
VU-DV 継手 品番5431 単位: mm

呼び径	Z	L	規格
⊗ 50	9	34	⊗
⊗ 75	13	53	
100	16	66	
150	26	106	

備考 ⊗印は前澤化成工業(株)製です。

VU30°エルボ

((略号 VU30L)



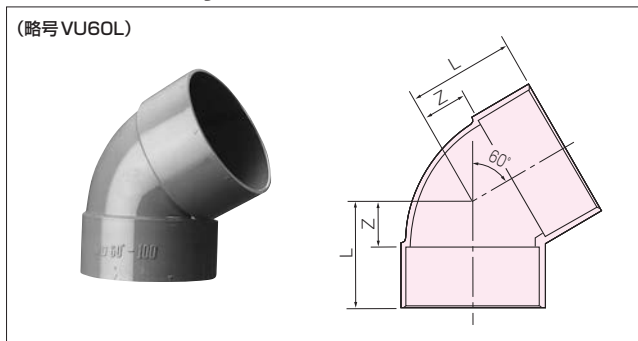
VU-DV 継手 品番5432 単位: mm

呼び径	Z	L	規格
⊗ 50	11	36	⊗
⊗ 75	16	56	
100	19	69	
150	30	110	

備考 ⊗印は前澤化成工業(株)製です。

VU60°エルボ

(略号 VU60L)



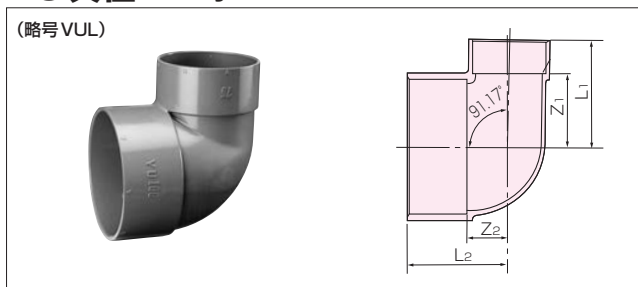
VU-DV 継手 品番5433 単位: mm

呼び径	Z	L	規格
⊗ 75	30	70	⊗
100	37	87	

備考 ⊗印は前澤化成工業(株)製です。

VU異径エルボ

(略号 VUL)



VU-DV 継手 品番5434 単位: mm

呼び径	Z ₁	Z ₂	L ₁	L ₂	規格
50×40	32	26	54	51	⊗
65×50	41	33	66	68	AS38
⊗ 75×40	48	27	70	67	⊗
75×50	47	32	72	72	
⊗ 75×65	48	41	83	81	AS38
100×50	61	34	86	84	
100×75	62	48	102	97	
⊗ 150×100	88	62	138	142	⊗

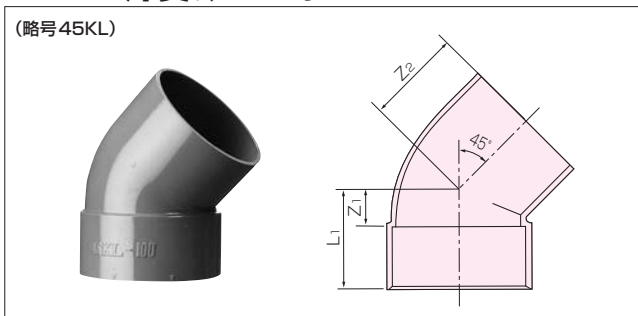
備考 ⊗印は前澤化成工業(株)製です。

I
タフカラーおよび
一般ビニルパイプ・継手

2
一般ビニルパイプ
・継手

VU45°片受けエルボ

(略号 45KL)



VU-DV 継手

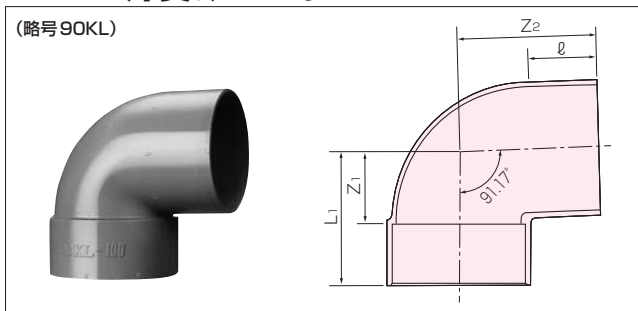
品番 5435

単位: mm

呼び径	Z ₁	L ₁	Z ₂	規格
50	18	43	41	⊗
75	25	65	63	
100	30	80	78	

VU90°片受けエルボ

(略号 90KL)



VU-DV 継手

品番 5436

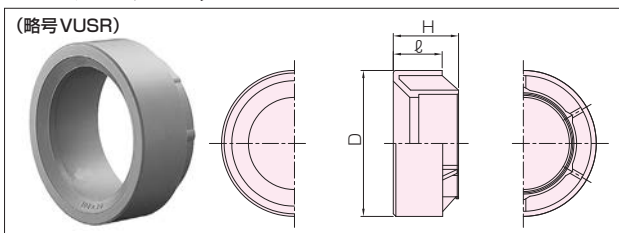
単位: mm

呼び径	Z ₁	L ₁	Z ₂	ℓ	規格
⊗ 40	28	50	52	26	⊗
50	33	58	62	28	
⊗ 65	41	76	81	39	
75	48	88	93	45	
100	62	112	116	52	

備考 ⊗印は前澤化成工業(株)製です。

VU ブッシング

(略号 VUSR)



VU-DV 継手

品番 5474

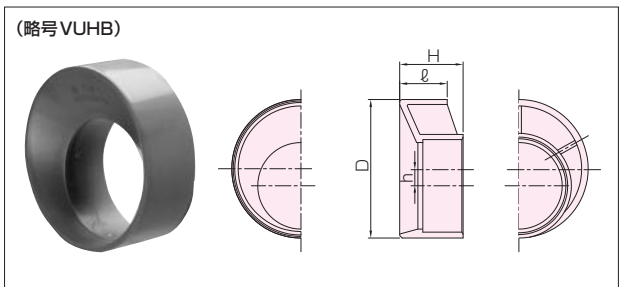
単位: mm

呼び径	D	ℓ	H	規格
⊗ 75×50	88.8	30	40	⊗
⊗ 100×50	113.8	35	50	
⊗ 100×65	113.8	35	50	
⊗ 100×75	113.8	35	50	

備考 ⊗印は前澤化成工業(株)製です。

VU 偏芯ブッシング

(略号 VUHB)



VU-DV 継手

品番 5475

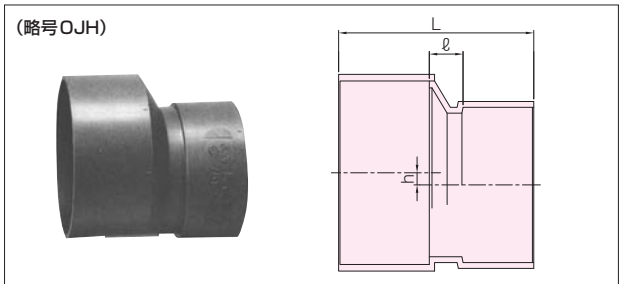
単位: mm

呼び径	D	ℓ	h	H	規格
⊗ 75×40	88.8	30	18	40	⊗
⊗ 75×50	88.8	30	11	40	
⊗ 75×65	89.0	30	3.5	40	
⊗ 100×40	113.8	40	30.5	50	
100×50	113.7	57	23.6	57	
⊗ 100×65	113.8	40	16	50	
100×75	113.7	57	8.8	57	
⊗ 125×100	139.8	55	8.4	65	
150×100	164.2	87	20.5	87	
150×125	164.7	80	7.4	80	

備考 ⊗印は前澤化成工業(株)製です。

VU 偏芯ソケット

(略号 OJH)



VU-DV 継手

品番 5476

単位: mm

呼び径	L	ℓ	h	規格
⊗ 40×50	60	13	6	⊗
50×65	80	20	7	
⊗ 50×75	95	30	13.5	
⊗ 50×100	115	40	25.5	
⊗ 65×75	98	23	6	
⊗ 65×100	122	37	18	
⊗ 75×100	125	35	12	
⊗ 100×125	145	30	12	
100×150	170	40	23	
125×150	175	30	11.5	

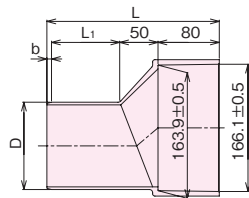
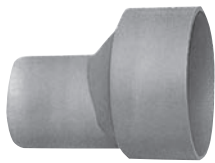
備考 ⊗印は前澤化成工業(株)製です。

I タフカラーおよび
一般ビニルパイプ・継手

2 一般ビニルパイプ
・継手

VU偏芯ソケット(受・差)

(略号 HENSIN-S)



VU-DV 継手

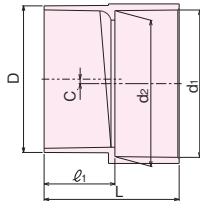
品番 5476

単位: mm

呼び径	D	L ₁	L	b	規格
150-100	114±0.4	89	225	6	⊗
150-125	140±0.5	102	240	8	

VU-VP 変換ソケット

(略号 VU-VPS)



VU-DV 継手

品番 5477

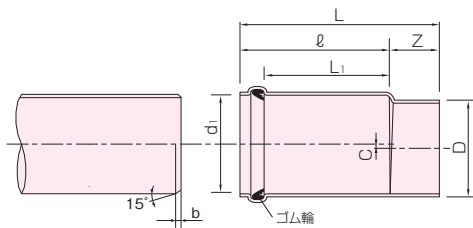
単位: mm

呼び径	D	ℓ ₁	d ₁	d ₂	L	C	規格
100	114	55	114.6	113.5	105	3.5	⊗
⊙ 125	140	72	140.9	139.1	137	2	
⊙ 150	165	110	166.1	163.9	190	4	

備考 ⊙印はタキロンシーアイ(株)製品です。

VU偏芯やりとりソケット

(略号 SLRP)



品番 5531

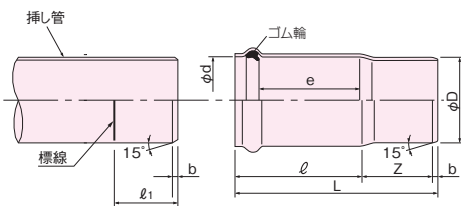
単位: mm

呼び径	D	d ₁	L	L ₁	ℓ	C	Z	b	規格
150	165±0.5	166	355	218	260	5.75	95	10	⊗

備考 1. 挿し管には面取りが必要です。また、接合には専用滑剤(VソープまたはVスプレー)をお使いください。
2. 専用滑剤の塗布量が少ないと、やりとりが困難になります。

伸縮継手

(略号 SLR)



品番 5531

単位: mm

呼び径	d	D	ℓ	e	Z	L	b	規格
100	115.5	114	209	165	125	340	6	⊗
125	141.5	140	227	180	140	375	8	
150	166.5	165	270	215	155	435	10	AS19
200	218.6	216	308	245	180	500	12	

備考 1. 本伸縮継手(SLR)はVU管用です。
2. 挿し管には面取りが必要です。また、接合には専用滑剤(VソープまたはVスプレー)をお使いください。
3. 専用滑剤の塗布量が少ないと、やりとりが困難になります。
4. 立て配管、横引配管の双方に使用できます。ただし、横引配管の場合は、ゴム輪接合部奥に僅かな汚水溜まりが生じます。

△注意 1. 吊り配管では、挿入治具を用いて接合してください。
2. 呼び径200のやりとり補修では、本製品を2個使用する必要があります。詳細は弊社までお問い合わせください。

挿入長さ・伸縮量

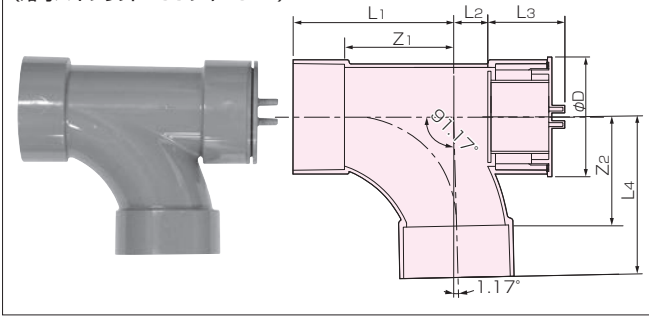
呼び径	100	125	150	200
挿入長さ ℓ ₁	145	155	185	210
伸縮量	±64	±72	±85	±98

I タフカラーおよび
一般ビニルパイプ・継手

2 一般ビニルパイプ
・継手

洗浄ノズルガイド機能付き(兼)点検用掃除口 ハイブリッド型掃除口付 VU-LT

(略号ハイブリッドVCOツキVU-LT)



VU-DV継手

品番5255

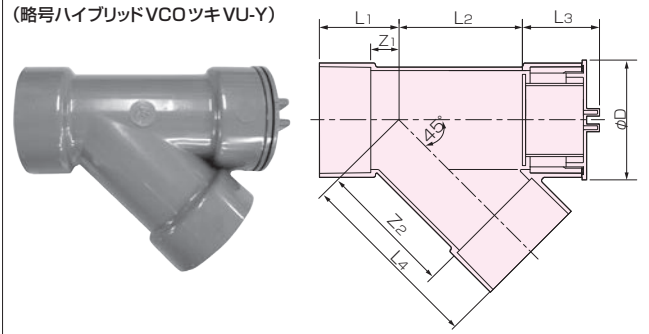
単位: mm

呼び径	Z ₁	Z ₂	L ₁	L ₂	L ₃	L ₄	D	規格
150	170	170	250	53	120	250	179	⊗
200	196	196	301	80	165	301	235	

備考 1. 記載以外のサイズはお問い合わせください。
2. 150X100はDV継手ベースです。

ハイブリッド型掃除口付 VU-Y

(略号ハイブリッドVCOツキVU-Y)



VU-DV継手

品番5257

単位: mm

呼び径	Z ₁	Z ₂	L ₁	L ₂	L ₃	L ₄	D	規格
150	44	210	124	192	120	290	179	⊗
200	42	268	147	244	165	373	235	

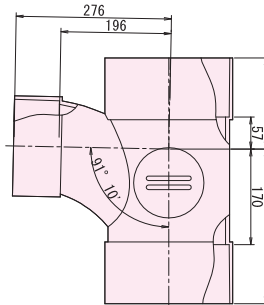
備考 1. 記載以外のサイズはお問い合わせください。
2. 150X100はDV継手ベースです。

掃除口付90°合流継手 VU-LT

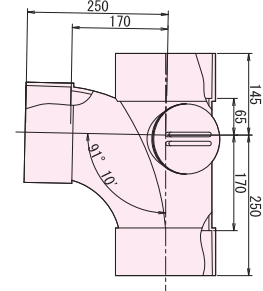
(略号VCO100ツキVU-LT)(左合流、右合流があります)



※写真はVU-LTφ150(L)
左合流タイプです。



VCOφ100ツキ
VU-LT φ200X150
メーカー規格品



VCOφ100ツキ
VU-LT φ150
メーカー規格品

VU-DV継手

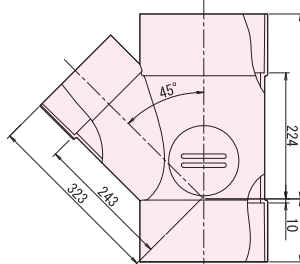
品番5255

掃除口付45°合流継手 VU-Y

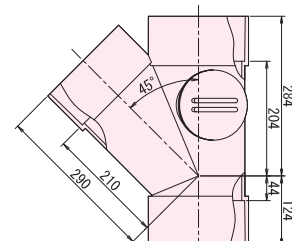
(略号VCO100ツキVU-Y)(左合流、右合流があります)



※写真はVU-Yφ200x150(L)
左合流タイプです。



VCOφ100ツキ
VU-Y φ200X150
メーカー規格品



VCOφ100ツキ
VU-Y φ150
メーカー規格品

VU-DV継手

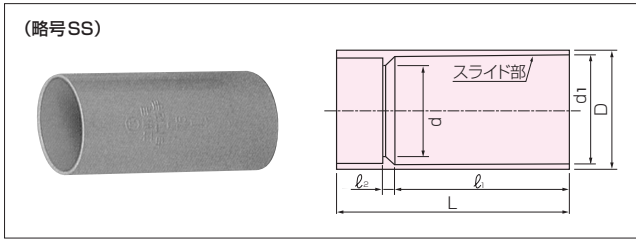
品番5257

1 タフカラーおよび
一般ビニルパイプ・継手

2 一般ビニルパイプ
・継手

2.4 雨水たてとい専用継手

スライドS



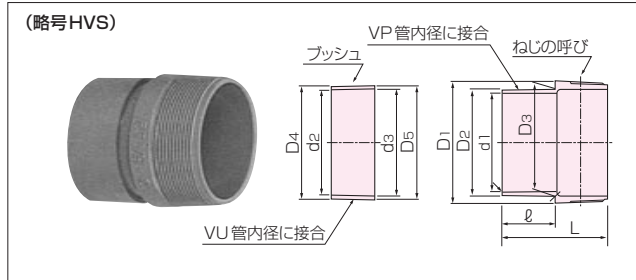
品番 2362

単位：mm

呼び径	d	d ₁	D	L	l ₁	l ₂	規格
75	77.2	92	100	200	150	10	⊗
100	98.8	118	127	240	180	10	
125	132	143	158	315	200	50	
150	155	168	187	370	230	60	

- 備考 1. 本製品は「立とい」専用継手です。
 2. 本製品のスライド部に止水性はありません。
 3. 本製品はタフカラー継手(グレー色)です。
 4. 呼び径 125、150は二次加工品です。

ヘッドVS



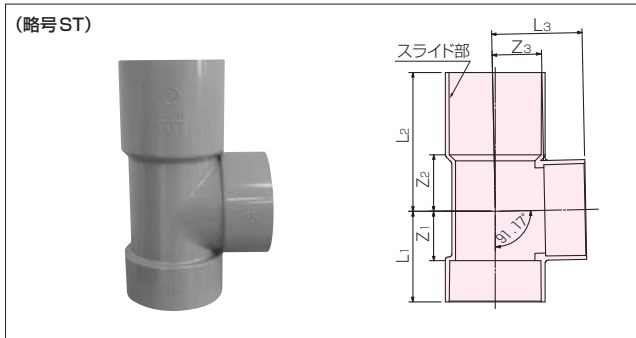
品番 2363

単位：mm

呼び径	ねじの呼び	D ₁	D ₂	D ₃	D ₄	D ₅	d ₁	d ₂	d ₃	L	l	規格
⊕75	R3	89.3	76	77.5	82.4	83.6	70	76	77	85	40	⊗
⊕100	R4	114.3	99	100.5	106	107.5	93	99	100	100	50	

- 備考 1. 本製品は「ルーフドレン」と「とい」を接続する継手です。
 2. 本製品はVP管またはVU管の内径側に接着接合し、片ネジ管とする継手です。
 3. VP管に接合する場合は、「プッシュ」を外してください。
 4. VU管に接合する場合は、まず「プッシュ」を接着接合し、その後VU管と接着接合してください。
 5. ⊕印は東栄管機(株)製品です。

スライドチーズ



品番 2365

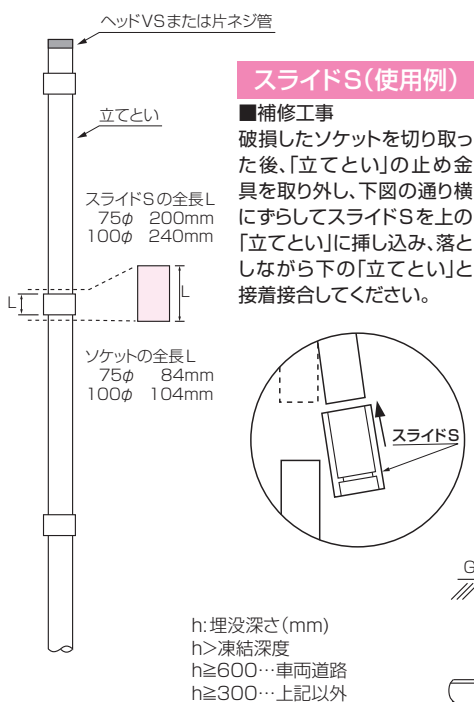
単位：mm

呼び径	Z ₁	Z ₂	Z ₃	L ₁	L ₂	L ₃	規格
75	48	55	48	88	135	88	⊗
100	62	71	62	112	171	112	
100×75	62	71	62	112	171	102	

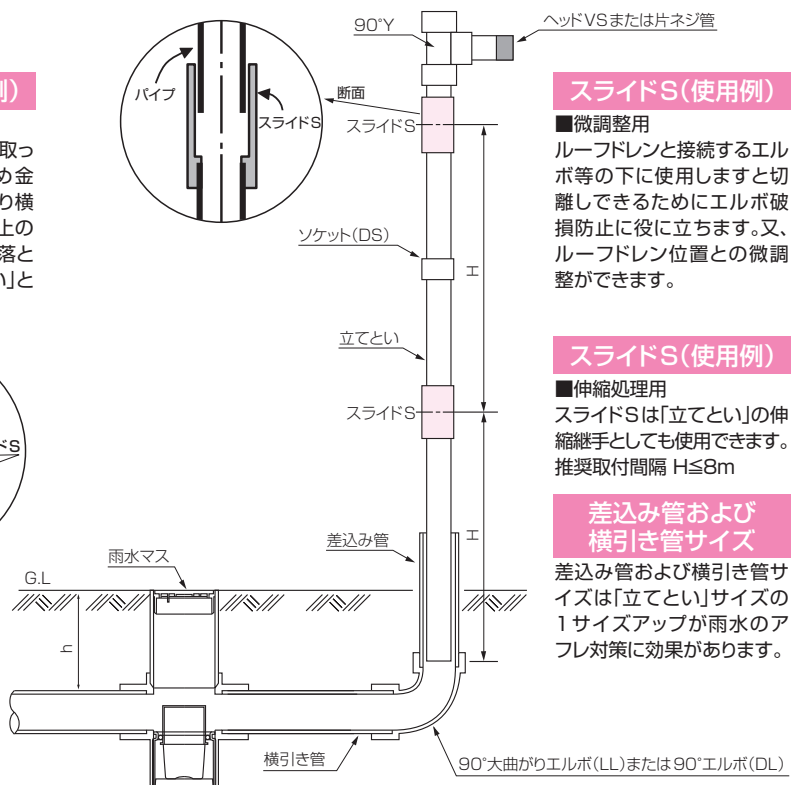
- 備考 1. 本製品は「立とい」専用継手です。
 2. 本製品のスライド部に止水性はありません。
 3. 本製品はタフカラー継手(グレー色)です。

スライドS、ヘッドVSの配管例

立て形ルーフドレンからの配管例



横形ルーフドレンからの配管例

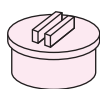


3. 雨水立てといの設計・施工のポイント

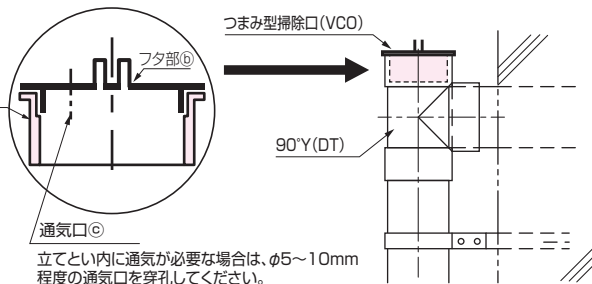
3.1 ビル・マンションルーフドレンからの雨水立てとい

(1) ルーフドレンからの雨水立てとい標準配管例

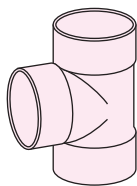
① つまみ型掃除口 (VCO)



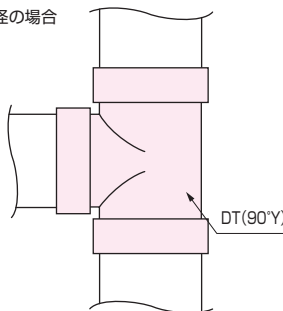
カン合部②
カン合部②をDTなどに、
接続して使用します。
フタ部①は、ネジ方式で
取り外せますのでゴミな
どの掃除ができます。



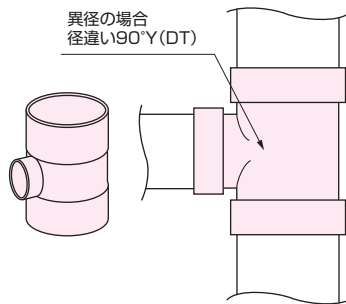
② 90°Y (DT)



同径の場合



異径の場合
径違い90°Y (DT)



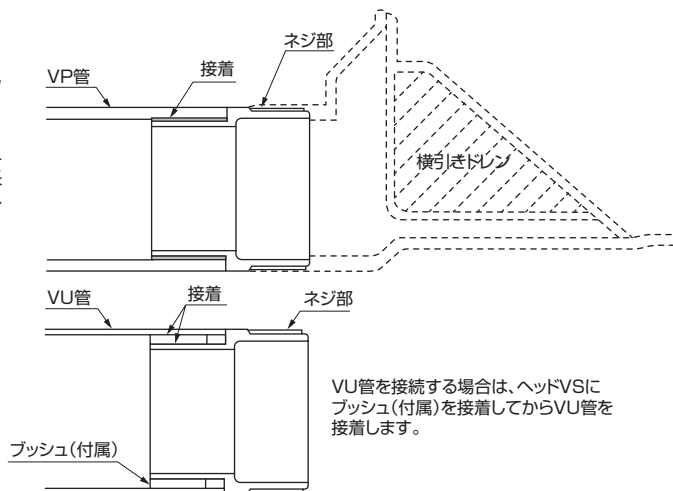
③ ヘッドVS

- ・ 鋳物製ドレン (横引きドレンなど) にタフカラーおよび一般ビニルパイプ (VP、VU) を接続する場合に使用します。
- ・ ヘッドVS にタフカラーおよび一般ビニルパイプ (VP、VU) を現場に合わせた長さに切断して接着することにより、片ネジ管として使用できます。



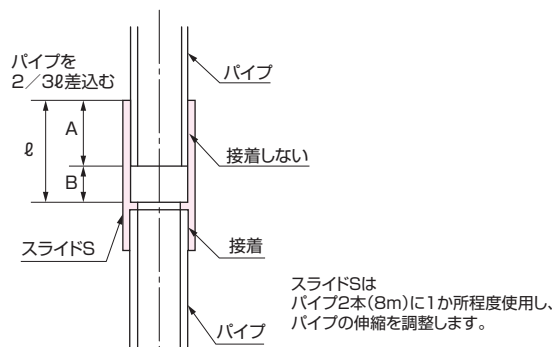
ヘッドVS

呼び径	ネジ部径
50	R2
75	R3
100	R4



④ スライドS

- ・ パイプの使用本数が多ければ、多い程、伸縮の度合いが多く、そのため高層建築には、この「スライドS」の必要性が重要視されます。
- ・ パイプ、継手などの修繕、補修工事にもお使いいただけます。



スライドS		単位:mm	
呼び径	ℓ	A (挿入代)	B (伸び代)
75	150	100	50
100	180	120	60
125	200	135	65
150	230	155	75
200	280	190	90

① つまみ型掃除口 (VCO)

② 90°Y (DT)

④ スライドS

すべり止め

③ ヘッドVS

タフカラーおよび一般ビニルパイプ

タフカラーおよび一般ビニルパイプ

ソケット (DS)

1.2m 以下
約8m

支持具 (受け金物)

支持具 (受け金物)

④ スライドS

すべり止め

Ⅰ タフカラーおよび一般ビニルパイプ・継手

Ⅲ 雨水立てといの設計・施工のポイント

< 参考：スライドS取付け間隔と支持具間隔の推奨標準について >

上記のスライドS取付け間隔と支持具 (受け金物) 設置間隔は、一般社団法人公共建築協会発行「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 建築工事監理指針 令和元年版・下巻・13章・5節」というの項に、硬質ポリ塩化ビニル管製といの工法として示された基準に準拠した弊社としての推奨標準です。

(2) 雨水立てとい支持具箇所での下がり(すべり)止め要否について

雨水立てといの下がり(すべり)止め取り付け基準は、右記の通りの公的基準が示されています。

これらの公的基準を受け、雨水立てとい用の下がり(すべり)止めとして、下図に示す現場でご用意頂くことができる「VUパイプ輪切りの円周一箇所をたて切断する形状の下がり(すべり)止め」を紹介させていただきます。

《公共建築工事標準仕様書(建築工事編) 国土交通省大臣官房官庁営繕部》

令和4年度版13章5節といの項に、硬質ポリ塩化ビニル管製といの工法について、以下の通り記載があります。

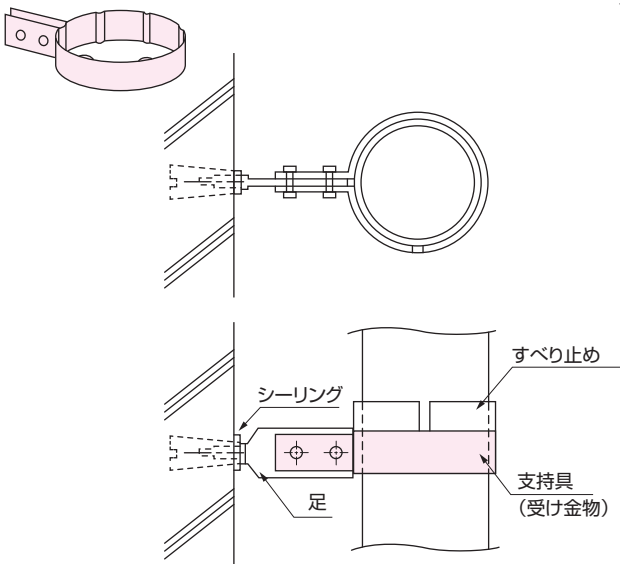
「下がり止めは、といの製造所の仕様により固定する。」

《建築工事監理指針 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修》

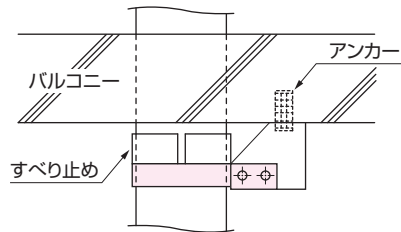
令和元年版13章5節といの項に、硬質ポリ塩化ビニル管製といの工法について、以下の通り記載があります。

「といの下がり止めは、「標仕(公共建築工事標準仕様書)では、製造所の仕様により固定するとしている。製造所の仕様とは、といと同じ材質の部材(例えば、たてどいを輪切りにしたものや、それを細かなピースに切断したものなど)をたてどい受金物の上部のたてどい本体に接着剤を用いて固定する方法等である。」

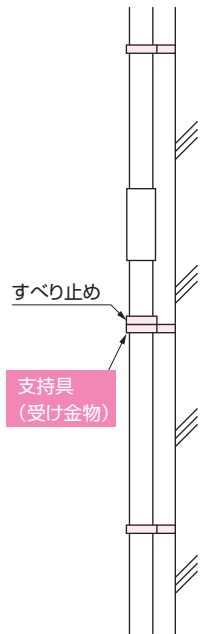
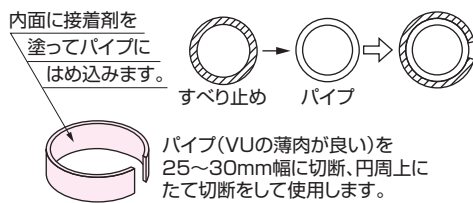
支持具の例
(受け金物)



[1階バルコニー・外廊下等、下部止めの場合]
※左図のように壁面にバンド足が取付けられない場合の施工



すべり止め



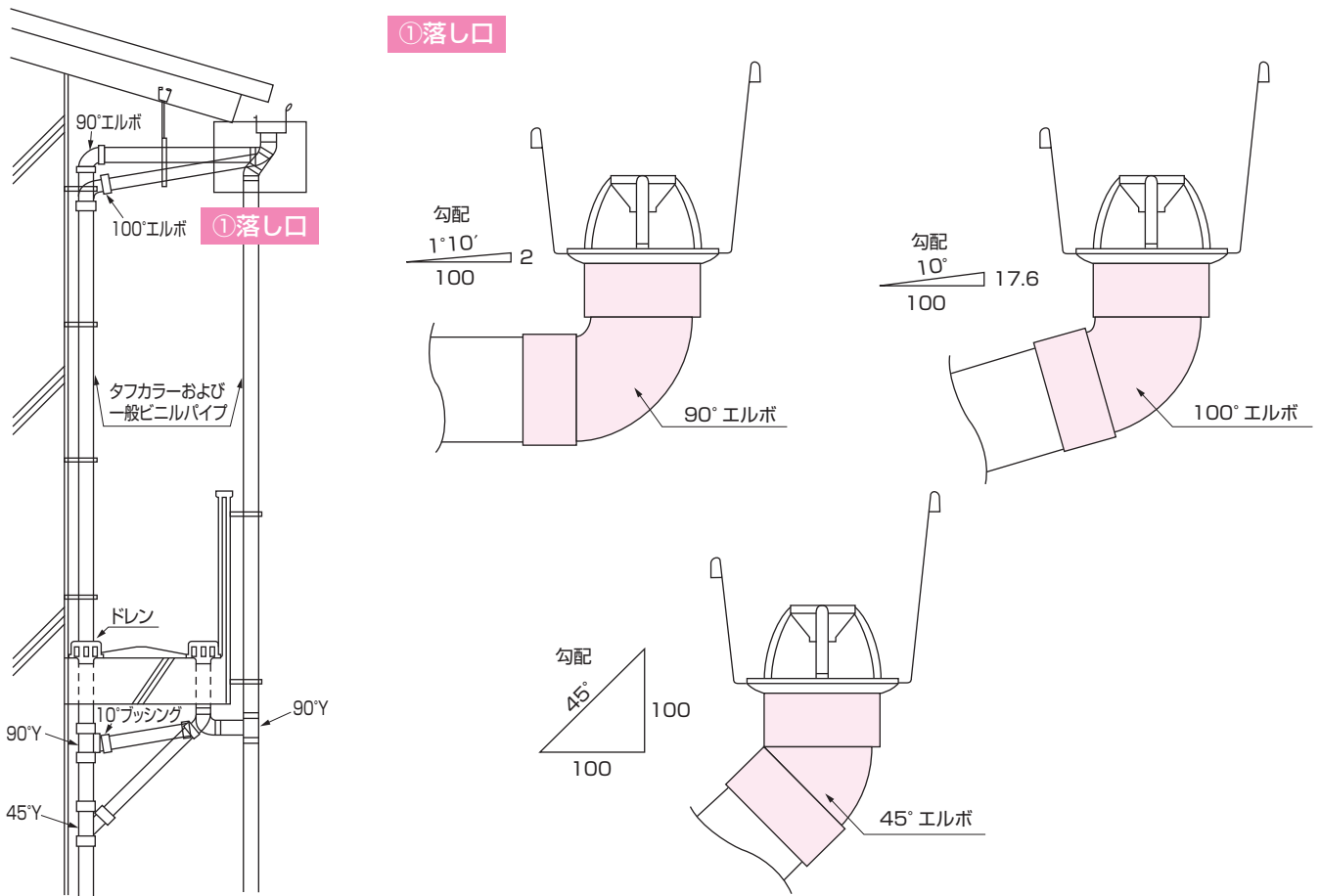
支持具
(受け金物)

雨水立てとい用タフカラーおよび一般ビニルパイプの質量

呼び径	1m長さ当たりの質量(kg)		1.2m長さ当たりの質量(kg)	
	VP	VU	VP	VU
40	0.791	0.413	0.949	0.496
50	1.122	0.521	1.346	0.625
65	1.445	0.825	1.734	0.990
75	2.202	1.159	2.642	1.391
100	3.409	1.737	4.091	2.084
125	4.464	2.739	5.357	3.287
150	6.701	3.941	8.041	4.729
200	10.129	6.572	12.155	7.886

3.2 軒とい落し口やベランダドレンからの雨水立てとい

(1) 軒とい落し口やベランダドレンから雨水立てといへの勾配横走り配管例



I タフカラーおよび一般ビニルパイプ・継手

(2) 軒とい落し口から雨水立てといへの勾配横走り配管偏芯距離の計算例

90°エルボ・2個組合せ勾配横流しS字配管偏芯距離の計算例

項目	計算式
偏芯斜め部の距離	$A=2Z+B$
管切断長さ	$B=2\ell+C$
継手端部間の距離	$C=B-2\ell$
偏芯距離	$W=A\cos 1.16^\circ$
偏芯部の高さ	$H=A\sin 1.16^\circ$
横走管の勾配	$1.16^\circ = 1^\circ 10' = 2/100$

三角関数	
$\sin 1.16^\circ$	0.0202
$\cos 1.16^\circ$	0.9998

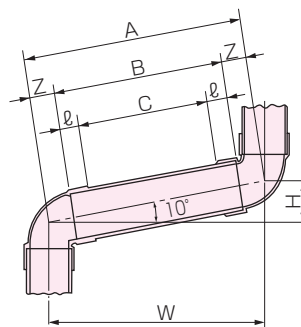
呼び径	90°エルボ寸法		偏芯距離の計算結果(目安の寸法)									
	有効長さ Z	受口長さ ℓ	C=0の場合					W=500mmの場合				
			C	B	A	H	W	C	B	A	H	W
30	22	18	0	36	80	2	80	420	456	500	10	500
40	27	22	0	44	98	2	98	402	446	500	10	500
50	33	25	0	50	116	2	116	384	434	500	10	500
65	42	35	0	70	154	3	154	346	416	500	10	500
75	48	40	0	80	176	4	176	324	404	500	10	500
100	62	50	0	100	224	5	224	276	376	500	10	500
125	75	65	0	130	280	6	280	220	350	500	10	500
150	88	80	0	160	336	7	336	164	324	500	10	500
200	110	105	0	210	430	9	430	70	280	500	10	500

3 雨水立てといの設計・施工のポイント

(注) 上表は Z・ℓ が許容差中心寸法の場合の計算結果です。しかし、実製品の Z・ℓ は必ずしも許容差中心寸法とは限りません。従いまして、上表の計算結果の数値は目安の寸法であることをご承知おきください。

100°エルボ・2個組合せ勾配横流しS字配管偏芯距離の計算例

項目	計算式
偏芯斜め部の距離	$A=2Z+B$
管切断長さ	$B=2\ell+C$
継手端部間の距離	$C=B-2\ell$
偏芯距離	$W=A\cos 10^\circ$
偏芯部の高さ	$H=A\sin 10^\circ$
横走管の勾配	$10^\circ=17.6/100$

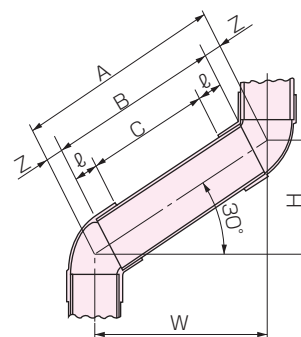


三角関数	
$\sin 10^\circ$	0.1745
$\cos 10^\circ$	0.9848

呼び径	100°エルボ寸法		偏芯距離の計算結果(目安の寸法)										単位: mm
	有効長さ Z	受口長さ ℓ	C=0の場合					W=500mmの場合					
			C	B	A	H	W	C	B	A	H	W	
50	31	25	0	50	112	20	110	396	446	508	89	500	
75	44	40	0	80	168	29	165	340	420	508	89	500	
100	62	50	0	100	224	39	221	284	384	508	89	500	

60°エルボ・2個組合せ勾配横流しS字配管偏芯距離の計算例

項目	計算式
偏芯斜め部の距離	$A=2Z+B$
管切断長さ	$B=2\ell+C$
継手端部間の距離	$C=B-2\ell$
偏芯距離	$W=A\cos 30^\circ$
偏芯部の高さ	$H=A\sin 30^\circ$
横走管の勾配	$30^\circ=57.7/100$

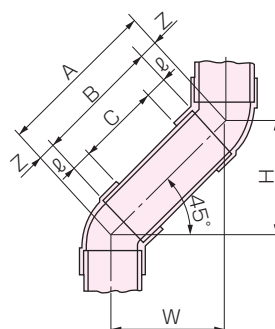


三角関数	
$\sin 30^\circ$	0.5000
$\cos 30^\circ$	0.8660

呼び径	60°エルボ寸法		偏芯距離の計算結果(目安の寸法)										単位: mm
	有効長さ Z	受口長さ ℓ	C=0の場合					W=500mmの場合					
			C	B	A	H	W	C	B	A	H	W	
75	30	40	0	80	140	70	121	437	517	577	289	500	
100	37	50	0	100	174	87	151	403	503	577	289	500	

45°エルボ・2個組合せ横流しS字配管偏芯距離の計算式

項目	計算式
偏芯斜め部の距離	$A=2Z+B$
管切断長さ	$B=2\ell+C$
継手端部間の距離	$C=B-2\ell$
偏芯距離	$W=A\cos 45^\circ$
偏芯部の高さ	$H=A\sin 45^\circ$
横走管の勾配	$45^\circ=100/100$



三角関数	
$\sin 45^\circ$	0.7071
$\cos 45^\circ$	0.7071

呼び径	45°エルボ寸法		偏芯距離の計算結果(目安の寸法)										単位: mm
	有効長さ Z	受口長さ ℓ	C=0の場合					W=500mmの場合					
			C	B	A	H	W	C	B	A	H	W	
30	12	18	0	36	60	42	42	647	683	707	500	500	
40	14	22	0	44	72	51	51	635	679	707	500	500	
50	18	25	0	50	86	61	61	621	671	707	500	500	
65	22	35	0	70	114	81	81	593	663	707	500	500	
75	25	40	0	80	130	92	92	577	657	707	500	500	
100	30	50	0	100	160	113	113	547	647	707	500	500	
125	38	65	0	130	206	146	146	501	631	707	500	500	
150	44	80	0	160	248	175	175	459	619	707	500	500	
200	48	105	0	210	306	216	216	401	611	707	500	500	

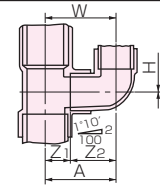
(注) 上表はZ・ ℓ が許容差中心寸法の場合の計算結果です。しかし、実製品のZ・ ℓ は必ずしも許容差中心寸法とは限りません。従いまして、上表の計算結果の数値は目安の寸法であることをご承知おきください。

(3)ベランダドレンから雨水立てといへの勾配横走り配管偏芯距離の計算例

スライドチーズ・90°片受けエルボ組合せ勾配横走り配管偏芯距離の計算例

項目	計算式
偏芯斜め部の距離	$A=Z_1+Z_2$
偏芯距離	$W=A\cos 1.16^\circ$
偏芯部の高さ	$H=A\sin 1.16^\circ$
横走管の勾配	$1.16^\circ = 1' 10'' = 2/100$

三角関数	
$\sin 1.16^\circ$	0.0202
$\cos 1.16^\circ$	0.9998

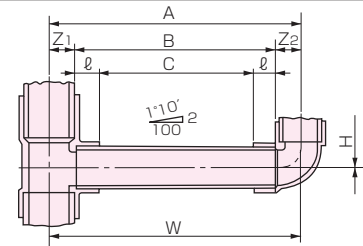


呼び径	スライドチーズ・90°片受けエルボ寸法		偏芯距離の計算結果(目安の寸法)			単位: mm
	Z ₁	Z ₂	A	H	W	
75×75	48	93	141	3	141	
100×75	62	93	155	3	155	
100×100	62	116	178	4	178	

スライドチーズ・90°エルボ組合せ勾配横走り配管偏芯距離の計算例

項目	計算式
偏芯斜め部の距離	$A=Z_1+Z_2+B$
管切断長さ	$B=2\ell+C$
継手端部間の距離	$C=B-2\ell$
偏芯距離	$W=A\cos 1.16^\circ$
偏芯部の高さ	$H=A\sin 1.16^\circ$
横走管の勾配	$1.16^\circ = 1' 10'' = 2/100$

三角関数	
$\sin 1.16^\circ$	0.0202
$\cos 1.16^\circ$	0.9998

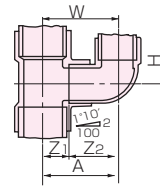


呼び径	スライドチーズ・90°エルボ寸法			偏芯距離の計算結果(目安の寸法)										単位: mm
	有効長さ		受口長さ	C=0の場合					W=500mmの場合					
	Z ₁	Z ₂	ℓ	C	B	A	H	W	C	B	A	H	W	
75×75	48	48	40	0	80	176	4	176	324	404	500	10	500	
100×75	62	48	40	0	80	190	4	190	310	390	500	10	500	
100×100	62	62	50	0	100	224	5	224	276	376	500	10	500	

90°Yチーズ・90°片受けエルボ組合せ勾配横走り配管偏芯距離の計算例

項目	計算式
偏芯斜め部の距離	$A=Z_1+Z_2$
偏芯距離	$W=A\cos 1.16^\circ$
偏芯部の高さ	$H=A\sin 1.16^\circ$
横走管の勾配	$1.16^\circ = 1' 10'' = 2/100$

三角関数	
$\sin 1.16^\circ$	0.0202
$\cos 1.16^\circ$	0.9998

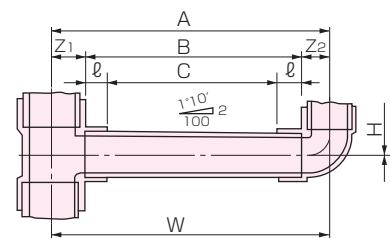


呼び径	スライドチーズ・90°片受けエルボ寸法		偏芯距離の計算結果(目安の寸法)			単位: mm
	Z ₁	Z ₂	A	H	W	
65×50	42	62	104	2	104	
75×50	48	62	110	2	110	
100×50	62	62	124	3	124	
65×65	42	81	123	2	123	
75×65	48	81	129	3	129	
100×65	62	81	143	3	143	
75×75	48	93	141	3	141	
100×75	62	93	155	3	155	
100×100	62	116	178	4	178	

90°Yチーズ・90°エルボ組合せ勾配横走り配管偏芯距離の計算例

項目	計算式
偏芯斜め部の距離	$A=Z_1+Z_2+B$
管切断長さ	$B=2\ell+C$
継手端部間の距離	$C=B-2\ell$
偏芯距離	$W=A\cos 1.16^\circ$
偏芯部の高さ	$H=A\sin 1.16^\circ$
横走管の勾配	$1.16^\circ = 1' 10'' = 2/100$

三角関数	
$\sin 1.16^\circ$	0.0202
$\cos 1.16^\circ$	0.9998



呼び径	90°Yチーズ・90°エルボ寸法			偏芯距離の計算結果(目安の寸法)										単位: mm
	有効長さ		受口長さ	C=0の場合					W=500mmの場合					
	Z ₁	Z ₂	ℓ	C	B	A	H	W	C	B	A	H	W	
65×50	42	33	25	0	50	125	3	125	375	425	500	10	500	
75×50	48	33	25	0	50	131	3	131	369	419	500	10	500	
100×50	62	33	25	0	50	145	3	145	355	405	500	10	500	
65×65	42	42	35	0	70	154	3	154	346	416	500	10	500	
75×65	48	42	35	0	70	160	3	160	340	410	500	10	500	
100×65	62	42	35	0	70	174	4	174	326	396	500	10	500	
75×75	48	48	40	0	80	176	4	176	324	404	500	10	500	
100×75	62	48	40	0	80	190	4	190	310	390	500	10	500	
100×100	62	62	50	0	100	224	5	224	276	376	500	10	500	

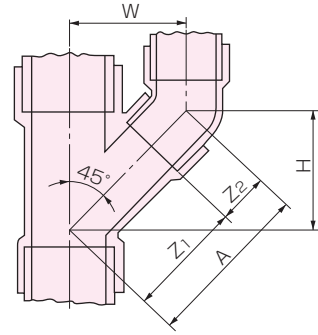
(注)上表はZ₁～Z₂・ℓが許容差中心寸法の場合の計算結果です。しかし、実製品のZ・ℓは必ずしも許容差中心寸法とは限りません。従いまして、上表の計算結果の数値は目安の寸法であることをご承知おきください。

I タフカラーおよび一般ビニルパイプ・継手

3 雨水立てといの設計
・施工のポイント

45°Yチーズ・45°片受けエルボ組合せ勾配横走り配管偏芯距離の計算例

項目	計算式
偏芯斜め部の距離	$A=Z_1+Z_2$
偏芯距離	$W=A\cos 45^\circ$
偏芯部の高さ	$H=A\sin 45^\circ$
横走管の勾配	$45^\circ=100/100$

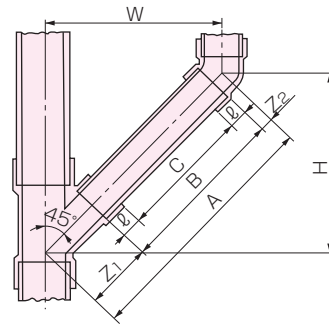


三角関数	
$\sin 1.16^\circ$	0.7071
$\cos 1.16^\circ$	0.7071

呼び径	摘要	45°Yチーズ・45°片受けエルボ寸法		偏芯距離の計算結果(目安の寸法)			単位: mm
		Z ₁	Z ₂	A	H	W	
65×50		42	62	104	74	74	
75×50		48	62	110	78	78	
100×50		62	62	124	88	88	
75×75		48	93	141	100	100	
100×75		62	93	155	110	110	
100×100		62	116	178	126	126	

45°Yチーズ・45°エルボ組合せ勾配横走り配管偏芯距離の計算例

項目	計算式
偏芯斜め部の距離	$A=Z_1+Z_2+B$
管切断長さ	$B=2\ell+C$
継手端部間の距離	$C=B-2\ell$
偏芯距離	$W=A\cos 45^\circ$
偏芯部の高さ	$H=A\sin 45^\circ$
横走管の勾配	$45^\circ=100/100$



三角関数	
$\sin 45^\circ$	0.7071
$\cos 45^\circ$	0.7071

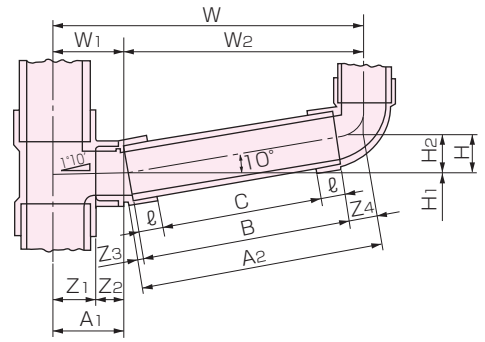
呼び径	摘要	45°Yチーズ・45°エルボ寸法		偏芯距離の計算結果(目安の寸法)										単位: mm	
		有効長さ		受口長さ ℓ	C=0の場合					W=500mmの場合					
		Z ₁	Z ₂		C	B	A	H	W	C	B	A	H		W
65×50		88	18	25	0	50	156	110	110	551	601	707	500	500	
75×50		98	18	25	0	50	166	117	117	541	591	707	500	500	
100×50		118	18	25	0	50	186	132	132	521	571	707	500	500	
65×65		98	22	35	0	70	190	134	134	517	587	707	500	500	
75×65		106	22	35	0	70	198	140	140	509	579	707	500	500	
100×65		125	22	35	0	70	217	153	153	490	560	707	500	500	
75×75		115	25	40	0	80	220	156	156	487	567	707	500	500	
100×75		132	25	40	0	80	237	168	168	470	550	707	500	500	
100×100		144	30	50	0	100	274	194	194	433	533	707	500	500	

(注)上表はZ₁～Z₂・ ℓ が許容差中心寸法の場合の計算結果です。しかし、実製品のZ₁・ ℓ は必ずしも許容差中心寸法とは限りません。従いまして、上表の計算結果の数値は目安の寸法であることをご承知おきください。

90°Yチーズ・10°プッシング・100°エルボ組合せ勾配横走り配管偏芯距離の計算例

項目	計算式		
	1°10' 勾配部	10°勾配部	全体
偏芯斜め部の距離	$A1=Z1+Z2$	$A2=Z3+Z4+B$	—
管切断長さ	—	$B=2 \times \ell + C$	—
継手端部間の距離	—	$C=B-2 \times \ell$	—
偏芯距離	$W1=A1 \cos 1.16^\circ$	$W2=A2 \cos 10^\circ$	$W=W1+W2$
偏芯部の高さ	$H1=A1 \sin 1.16^\circ$	$H2=A2 \sin 10^\circ$	$H=H1+H2$
横走管の勾配	1.16°	10°	—

三角関数			
$\sin 1.16^\circ$	0.0202	$\sin 10^\circ$	0.1736
$\cos 1.16^\circ$	0.9998	$\cos 10^\circ$	0.9848



偏芯距離の計算結果(目安の寸法)

単位：mm

呼び径	90°Yチーズ・10°プッシング・100°エルボ寸法					1°10' 勾配部の計算結果		
	Z1	Z2	Z3	Z4	ℓ	A1	H1	W1
65×50	42	31	6	33	25	73	1.5	73.0
75×50	48	31	6	33	25	79	1.6	79.0
100×50	62	31	6	33	25	93	1.9	93.0
75×75	48	47.8	7.8	48	40	95.8	1.9	95.8
100×75	62	47.8	7.8	48	40	109.8	2.2	109.8
100×100	62	52	14	62	50	114	2.3	114.0

C=0の場合の偏芯距離の計算結果(目安の寸法)

単位：mm

呼び径	10°勾配部の計算結果					全体の計算結果	
	C	B	A2	H2	W2	H	W
65×50	0	50	89	15	88	17	161
75×50	0	50	89	15	88	17	167
100×50	0	50	89	15	88	17	181
75×75	0	80	136	24	134	26	230
100×75	0	80	136	24	134	26	244
100×100	0	100	176	31	173	33	287

W=500mmの場合の偏芯距離の計算結果(目安の寸法)

単位：mm

呼び径	10°勾配部の計算結果					全体の計算結果	
	C	B	A2	H2	W2	H1	W1
65×50	345	395	434	75	427	77	500
75×50	339	389	428	74	421	76	500
100×50	324	374	413	72	407	74	500
75×75	275	355	411	71	405	73	500
100×75	260	340	396	69	390	71	500
100×100	216	316	392	68	386	70	500

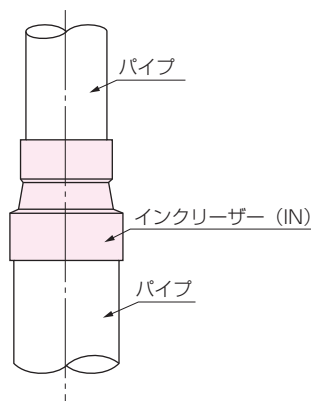
(注)上表はZ1～Z4・ℓが許容差中心寸法の場合の計算結果です。しかし、実製品のZ・ℓは必ずしも許容差中心寸法とは限りません。従いまして、上表の計算結果の数値は目安の寸法であることをご承知おきください。

(4)雨水立てとい途中でのサイズ拡径接合方法

以下のインクリーザー(IN)を用いて拡径接合します。

インクリーザー(IN)

・径の違う雨水立てといビニルパイプを接続する際に使用します。

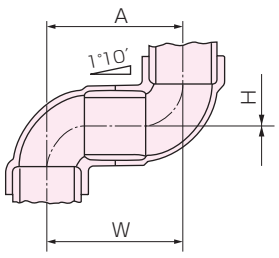
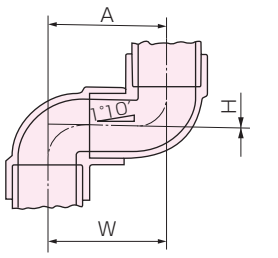
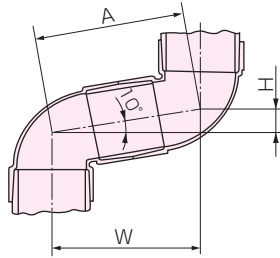
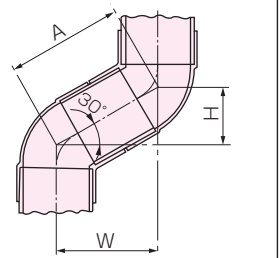
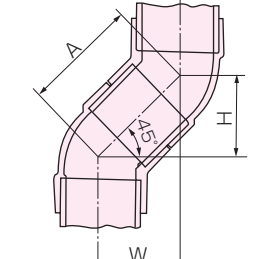
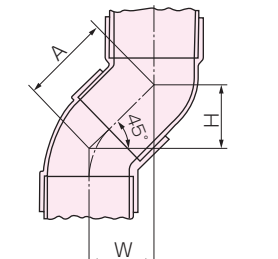
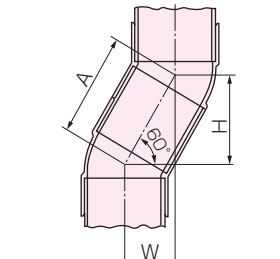
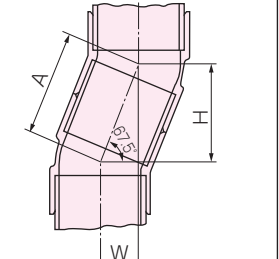
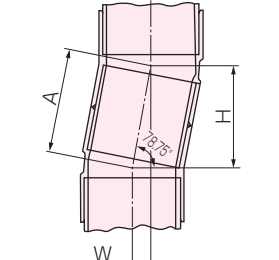
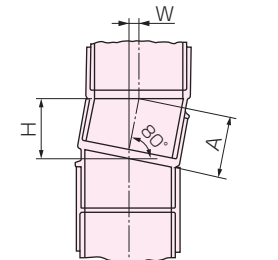
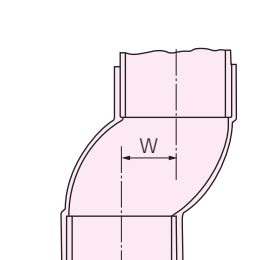


I タフカラーおよび一般ビニルパイプ・継手

3 雨水立てといの設計・施工のポイント

3.3 雨水立てとい途中での偏芯(オフセット)配管について

雨水排水立てとい途中に障害物がある場合にはエルボ2個使用S字偏芯(オフセット)配管が実施されます。そのS字偏芯配管の際のエルボ品種・サイズ毎の最小偏芯距離計算結果は下表の通りです。ただし、下表の数値は、各エルボの製品寸法が許容差中心の場合の計算結果です。しかし、実製品寸法は必ずしも許容差中心寸法とは限りません。従いまして、下表の数値は目安の寸法である事をご承知おき下さい。なお、汚水雑排水立て管の場合には、偏芯(オフセット)配管は好ましくありません。特にマンションなどに多く採用されている「伸長通気方式・排水立て管」には原則として偏芯(オフセット)は設けてはならない。」とされていますのでご注意ください。

雨水立てとい途中でのエルボ2個使用S字配管の最小偏芯距離の計算結果(目安の寸法)												
概要	90°両受けエルボ2個			90°両受け+片受けエルボ			100°両受けエルボ2個			60°両受けエルボ2個		
呼び径												
	$\sin 1.16^\circ$		0.0202	$\sin 1.16^\circ$		0.0202	$\sin 10^\circ$		0.1745	$\sin 30^\circ$		0.5000
	$\cos 1.16^\circ$		0.9998	$\cos 1.16^\circ$		0.9998	$\cos 10^\circ$		0.9848	$\cos 30^\circ$		0.8660
	A	H	W	A	H	W	A	H	W	A	H	W
40	98	2	98	79	2	79	-	-	-	-	-	-
50	116	2	116	95	2	95	112	20	110	-	-	-
65	154	3	154	123	2	123	-	-	-	-	-	-
75	176	4	176	141	3	141	168	29	165	140	70	121
100	224	5	224	178	4	178	224	39	221	174	87	151
125	280	6	280	-	-	-	-	-	-	-	-	-
150	336	7	336	-	-	-	-	-	-	-	-	-
200	430	9	430	-	-	-	-	-	-	-	-	-
概要	45°両受けエルボ2個使用			45°両受け+片受けエルボ			30°両受けエルボ2個			22°1/2両受けエルボ2個		
呼び径												
	$\sin 45^\circ$		0.7071	$\sin 45^\circ$		0.7071	$\sin 60^\circ$		0.8660	$\sin 67.5^\circ$		0.9239
	$\cos 45^\circ$		0.7071	$\cos 45^\circ$		0.7071	$\cos 60^\circ$		0.5000	$\cos 67.5^\circ$		0.3827
	A	H	W	A	H	W	A	H	W	A	H	W
40	72	51	51	-	-	-	-	-	-	-	-	-
50	86	61	61	66	47	47	72	62	36	68	63	26
65	114	81	81	-	-	-	-	-	-	-	-	-
75	130	92	92	103	73	73	112	97	56	106	98	41
100	160	113	113	128	91	91	138	120	69	132	122	51
125	206	146	146	-	-	-	-	-	-	-	-	-
150	248	175	175	-	-	-	220	191	110	212	196	81
200	306	216	216	-	-	-	-	-	-	-	-	-
概要	11°1/4両受けエルボ2個			10°プッシング2個+ソケット			Sソケット			<p><注>マンションなどに多く採用されている伸長通気方式・排水立て管に於ける偏芯(オフセット)配管の原則禁止について</p> <p>(社)空気調和・衛生工学会規格 SHASE-S 206給排水衛生設備基準には、汚水排水設備の配管上の注意事項として、以下の基準が明記されています。</p> <p>「伸長通気方式・排水立て管には、原則として偏芯(オフセット)は設けてはならない。」</p> <p>これは、通気管を設けず排水管内に通気空間を持たせる伸長通気方式の場合、排水立て管に偏芯(オフセット)を設けると、その影響で立て管内に負圧が生じ、その負圧発生部に接続された横引き排水管の排水トラップが破封し、汚水臭が居室に漏れ出す恐れがあるためです。</p>		
呼び径												
	$\sin 78.75^\circ$		0.9808	$\sin 80^\circ$		0.9848						
	$\cos 78.75^\circ$		0.1951	$\cos 80^\circ$		0.1736						
	A	H	W	A	H	W	W					
50	-	-	-	37	36	6	30					
65	-	-	-	-	-	-	38					
75	98	96	19	55.6	55	10	45					
100	122	120	24	66	65	11	57					
150	194	190	38	-	-	-	-					

I タフカラーおよび一般ビニルパイプ・継手

3 雨水立てといの設計・施工のポイント

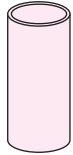
3.4 雨水立てといの伸縮処理について

雨水立てといには、塩ビ管、鋼管、ステンレス管が主に使用されます。この3種管材の線膨張係数は右表の通りです。塩ビ管は線膨張係数が他管材の約4.4～5.8倍で、他管材に比べて夏期冬期ならびに昼夜の温度変化に応じて大きく伸縮します。従いまして、雨水立てといには適切な伸縮処理が必要となります。そのための伸縮継手は以下の通りです。

雨水立てとい材料の線膨張係数(°C)	
塩ビ管	約 7×10^{-5}
ステンレス管	約 1.6×10^{-5}
鋼管	約 1.2×10^{-5}

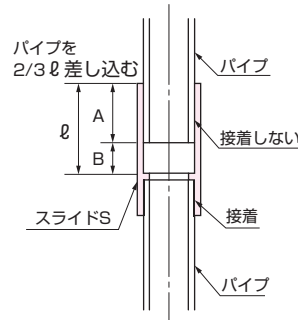
①スライドS(SS)

- ・パイプの使用本数が多ければ多い程、伸縮の度合いが多く、そのため高層建築には、この「スライドS」の必要性が重要視されます。
- ・パイプ、継手などの修繕、補修工事にもお使いいただけます。



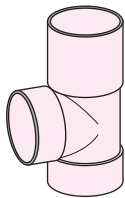
スライドS			
呼び径	ℓ	A(挿入代)	B(伸び代)
75	150	100	50
100	180	120	60
125	200	135	65
150	230	155	75
200	280	190	90

単位:mm



パイプ2本(8m)に1か所程度使用し、パイプの伸縮を吸収します。

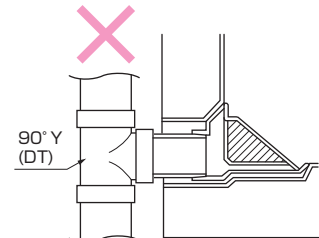
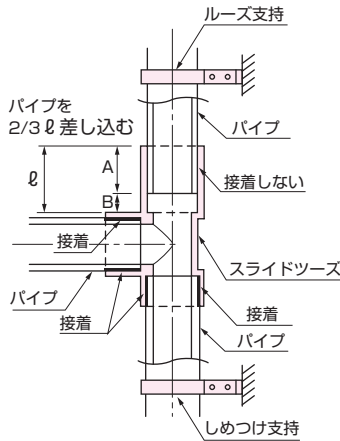
②スライドチーズ(ST)



- ・ベランダ排水を本管のパイプに合流させる場合に各階に使用し、本管のパイプの伸縮を吸収します。
- ・本管上部(長尺部)はテーパがなく、パイプが浮いた形で接続されるように作っており、ここで伸縮を吸収します。接着剤は不要ですが、安全策としてシリコンを注入すると、より効果的です。

スライドチーズ			
サイズ	ℓ(受口深さ)	A(挿入代)	B(伸び代)
75	80	65	15
100	100	75	25
100×75	100	75	25

単位:mm

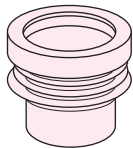


注) ベランダからの横引きの場合は、90°Y (DT) のご使用は避けてください。パイプの伸縮のため、割れる恐れがあります。スライドSとの併用かスライドチーズをお使いください。

③差込ソケット(ES-A)/差込ソケット(格好ES-D)

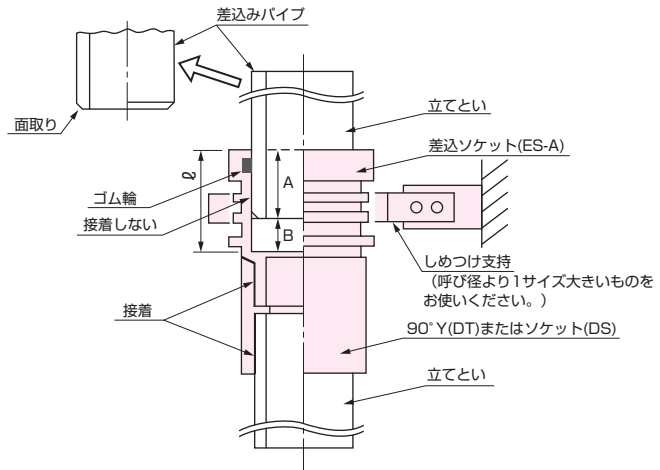
■差込ソケットの使用方法

- ・スライドSおよびスライドチーズの無いサイズのパイプの伸縮対策にご利用ください。
- ・パイプ1本(4m)に1か所程度使用し、パイプの伸縮対策を吸収します。



差込ソケット			
サイズ	ℓ(受口深さ)	A(挿入代)	B(伸び代)
40	48	35	13
50	51	40	11
65	58	50	8
75	65	55	10
100	78	65	13
125	83	70	13
150	96	75	21

単位:mm



<注意事項>

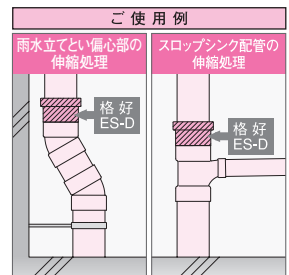
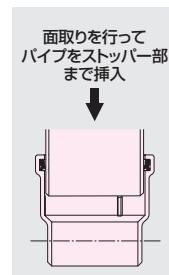
- ①差込ソケットへの挿入代(A)は上表の通りとしてください。
※立てとい伸縮調整のため、突き付けることは避けてください。
- ②差込パイプ先端は面取りをしてください。
- ③ゴム輪は、外さないでください。
- ④差込パイプ先端とゴム輪に専用滑剤(VスプレーまたはVソープ)をつけてください。
- ⑤パイプ下部をコンクリートにやむを得ず埋め込む場合は、その都度1か所お使いください。(ただし、中継用ドレンなどを用い、収縮を吸収する場合は不要です。)

■格好ES-Dの使用方法

- ・本製品は排水立て管および雨水立てとい用の伸縮継手です。
- ・パイプ1本(4m)に1か所程度使用し、パイプの伸縮対策を吸収します。

<注意事項>

- ①ゴム輪受口接合の際は、接続管を面取りし、専用滑剤(VスプレーまたはVソープ)をご使用ください。
- ②差口側はVU-DV継手またはDV継手と接着接合してください。



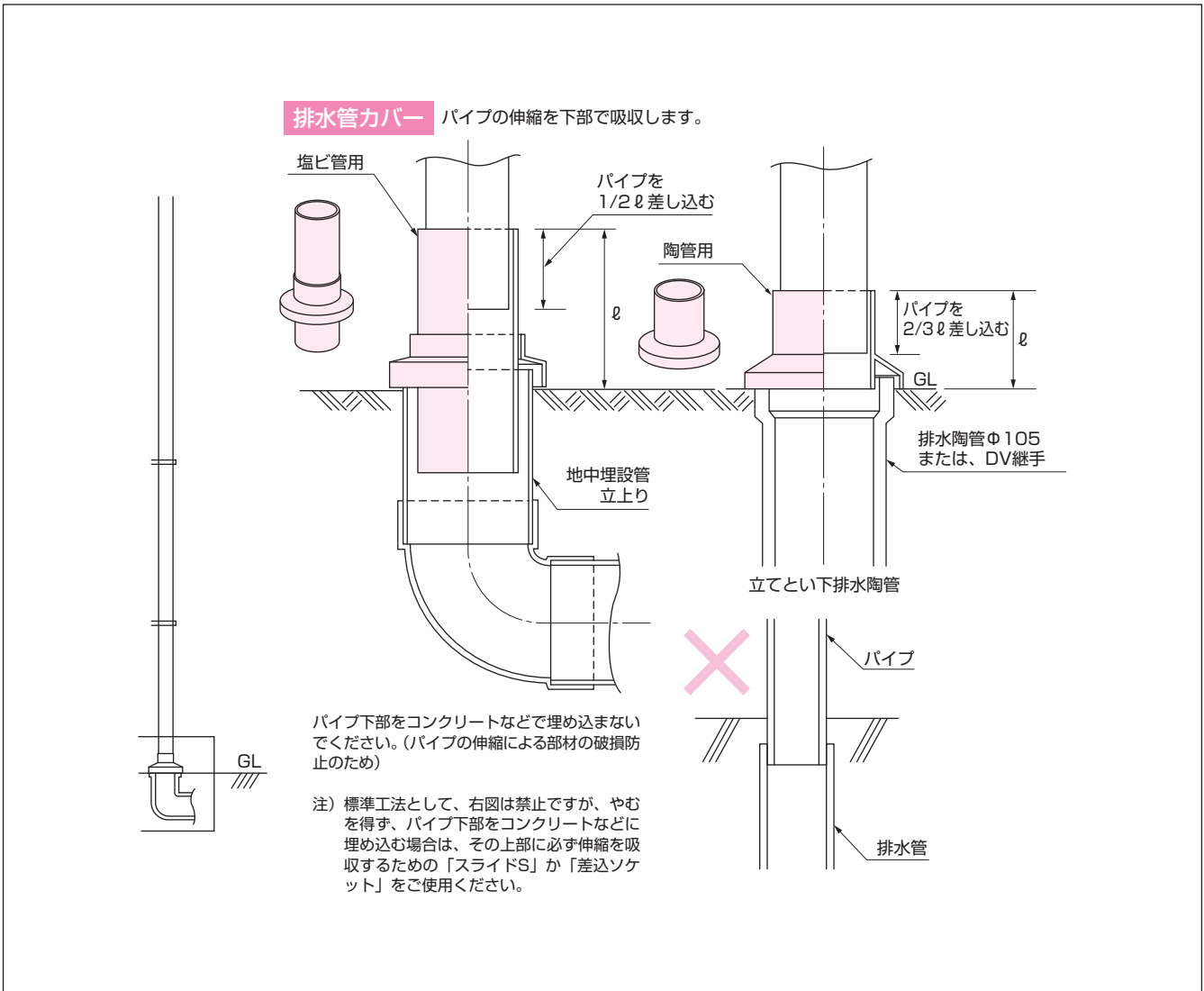
I タフカラーおよび一般ビニルパイプ・継手

3 雨水立てといの設計・施工のポイント

3.5 雨水立てといから埋設排水管への接続方法について

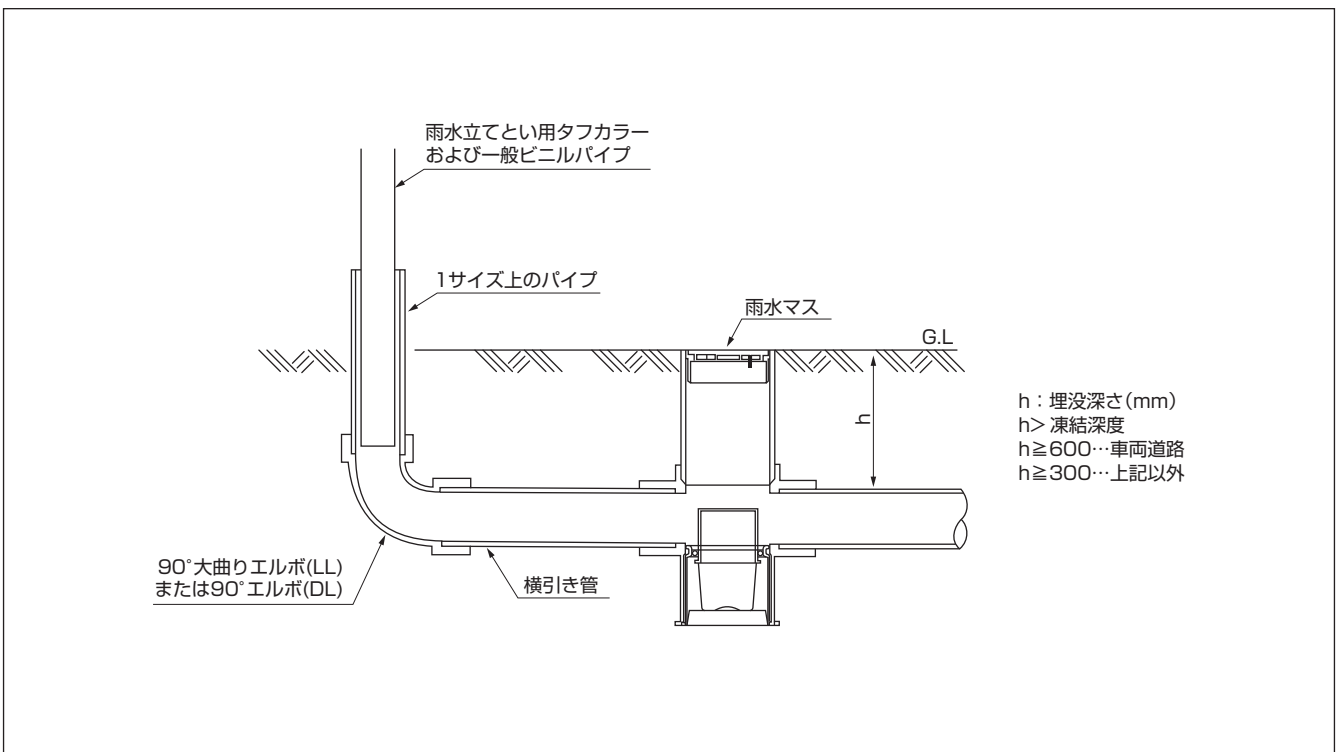
(1) 排水管カバーを使用して埋設排水管と接続する場合

I タフカラーおよび一般ビニルパイプ・継手



(2) 1サイズ上のパイプに差込んで埋設排水管と接続する場合

3 雨水立てといの設計
・ 施工のポイント



4. 排水・通気配管の設計・施工のポイント

4.1 設計留意事項

(1) 管路には伸縮処理が必要です。

ビニルパイプは、温度差 1℃に対して 1mあたり約0.07mm伸縮します。周辺温度や管内流体の温度差が大きな排水管路には、伸縮処理が必要です。とくに、真夏に施工する場合はパイプが伸びきっているため、冬場にパイプが縮んだとき、継手部に大きな力がかかって破損等の事故が発生することがあります。必ず伸縮継手を設計に織り込んでください。

(2) 排水温度は 60℃ 以下です。

排水温度は 60℃ 以下にしてください。また高温の雑排水の流出する雑排水管路では、部分的に避けるか、60℃以下となるように処置をしてください。(※原則として 45℃未満に冷却した後、排出してください。)

(3) 防火区画の貫通部での使用について

建設省告示第 1422 号(平成 12 年)では、防火区画を貫通する排水管および排水管に附属する通気管に使用する硬質塩化ビニル管の肉厚と外径を規定しています。また、消防法関連として、53号通知(令八区画及び共住区画の構造ならびに当該区画を貫通する配管等の取扱いについて)が通知されています。

(4) DV 継手を圧送管に使用しないでください。

DV 継手は、排水・通気用に設計された継手です。圧送管に用いると、漏水したり破損することがありますので、使用しないでください。

4.2 配管工法

4.2.1. 排水立管の配管

立管の切断長さは、排水横枝管の合流点を左右し、勾配に影響しますので正確に切断してください。

LTなどの接合箇所は、横枝管の延長と勾配(1 / 50)から正確に決定し、あらかじめマークしておき、これに一致するように配管してください。(図 1 参照)

(1) 立管の最上部

最上部は、一般には伸頂通気管に連結します。

通気立主管を結合させる場合は、Yを用いて最上層の通気横枝管または最上層の器具あふれ面より 15cm 以上上部に接続してください。

通気立主管の下部は、排水立管の最下部排水横枝管(低位排水管を除く)の合流点から、下方へ 50cm 以上離れた位置で排水立管と連結します。取出しは Y を用いて上向きに行い、ビニル短管と 45L を組合せて、排水立管と近接して平行に立上げます。(図 1 参照)

(2) 立管下部の施工

排水立管の下部は、45LとY、あるいはLLとYを組合せて排水横主管に連結します。

また、その下部には、管自重および汚水落下の衝撃エネルギーを支えるため、架台やアンカーブロックを施してください。

(図 2 参照)

図1 排水立管の設置

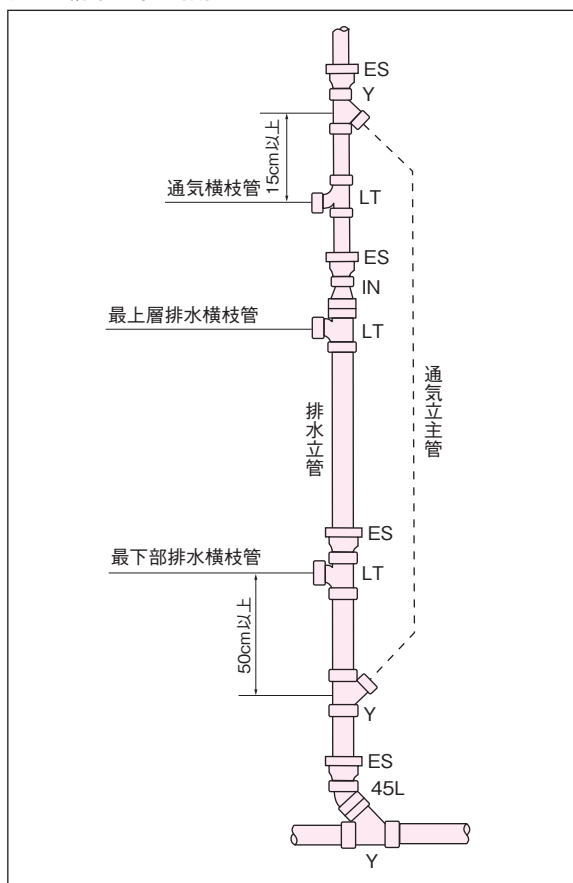
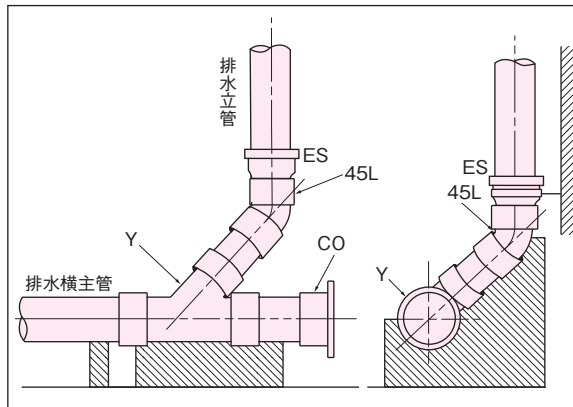


図2 排水立管の下部



↑
タフカラーおよび
一般ビニルパイプ・継手

4 排水・通気配管の設計
・施工のポイント

4.2.2. 排水横枝管の配管

排水横枝管は、排水立管のLTから1/50の上り勾配をもたせて、必ず直線で配管します。管路延長は30m以下とし、提灯バンドなどで支持してください。(図3参照)

(1) 横枝管の接続順序

排水横枝管と器具排水管との合流には、Yを推奨します。LTは横枝管の上流側に逆流する場合があります。

また、横枝管だけを先に取付けてしまうと、器具排水管の寸法出しが困難になりますから、下流側から一つ一つ器具排水管まで接続を完了させて、順次横枝管を伸ばしてください。(図3参照)

(2) 通気管の接続

排水横枝管から、回路通気管・逃し通気管を立上げる場合は、LTを用いてください。

LTは垂直方向に立上げ、排気が上流に向かって流れるよう、湾曲を上流に向けて接続します。

通気管が、排水横枝管の垂直面と同一平面にない時(壁などに埋込むため)でも、垂直に立上げてから横走りさせてください。(図4参照)

(3) 掃除口の設置

排水横主管および排水横枝管の最上流には、必ず掃除口を取付けてください。

また、呼び径100mm以下の横走管では、15mごとにYを入れ分岐側に設置します。掃除口付近は、掃除作業を行うためのスペースを確保してください。(図5参照)

4.2.3. 排水横主管の配管

排水横主管は、45LとYによって排水立管と接続します。支持は通常、架台によって行い、1/100以上の勾配をもたせ、建物トラップを通して敷地下水道に連結します。

建物トラップは、公共下水道からのガスの逆流を防ぐために必要であり、鋳鉄トラップを用います。また、トラップの上流には封水部を保護するための逃し通気管を取付けてください。

逃し通気管の取付けは、LTの分岐管を垂直方向に用いて、排気が上流に向かって流れるようにします。ただし、排水横主管が短い場合は、通気立主管で兼ねることができます。(図5参照)

(1) 低位排水管の接続

排水横主管の下流側は、45LとYを組合せて落差をつけ、下段の最上流に掃除口を取付けます。また、上段の最上流にも掃除口を設置してください。

排水横主管に低位排水管を結合する場合は、45LとYで落差をつけて接続し、必ず逆止弁を設けてください。(図6参照)

(2) 低位排水管

排水横主管よりも低位にある、地下室などの排水横枝管は、自然流下によって一旦排水マスに受けます。ここから、ポンプ・エゼクタなどによって、排水横主管または敷地下水道に揚水してください。(図7参照)

排水横管のこう配

管径(mm)	こう配
65以下	最小1/50
75,100	最小1/100
125	最小1/150
150以上	最小1/200

(SHASE-S 206-2009・P104より)

図3 排水横枝管の設置

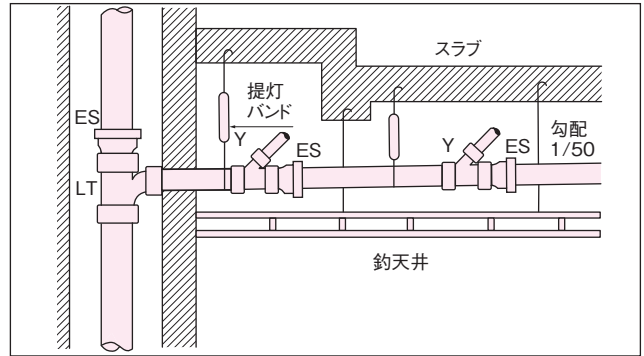


図4 排水横枝管から通気管の立上げ

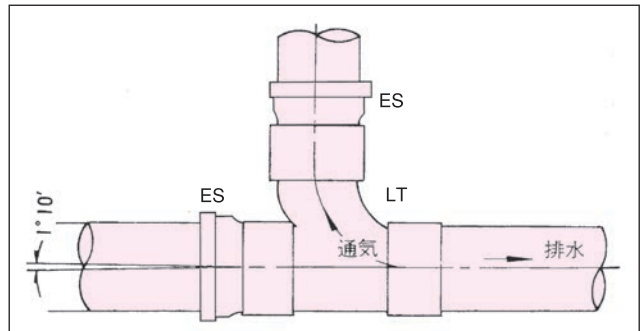


図5 排水横主管

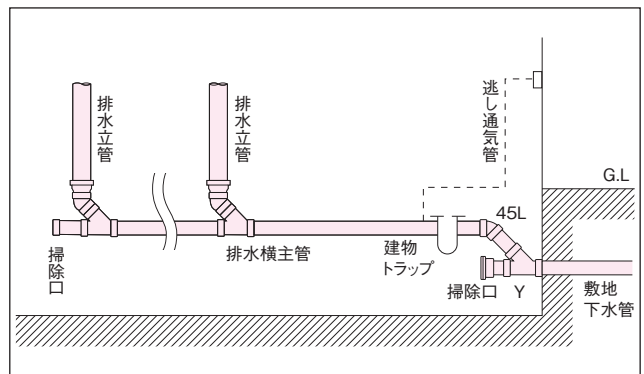


図6 低位排水管の接続

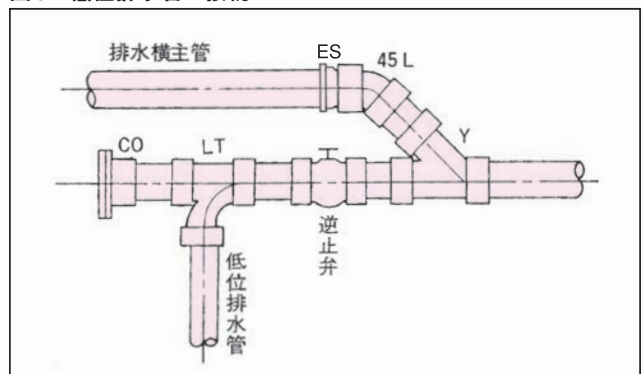
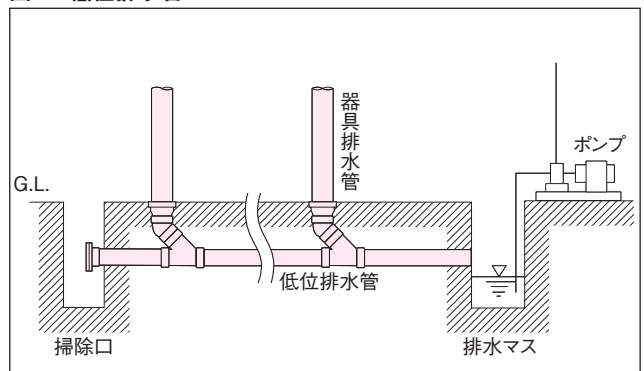


図7 低位排水管



4.2.4. 管の支持

排水管を支持する場合は、標準支持間隔を目安にして施工してください。ただし、分岐部・伸縮管・管路の両端部は、支持間隔を問わず、必ず固定支持を行ってください。

特に、伸縮作用による力が分岐継手部に集中すると、事故につながりますので、真夏の施工などでは、伸縮処理についての注意が必要です。屋外配管では、排水横枝管との合流点およびこれらスパンの中間部で、枝管間隔ごとに二ヶ所以上支持してください。

ビニルパイプの標準支持間隔

立管	呼び径	横走管
各階1箇所以上	40以下	1.0m以内
	50	1.2m以内
	65, 75	1.5m以内
	100~300	2.0m以内

(SHASE-S 010-2013・P.25-26より)

4.2.5. 伸縮処理

ビニルパイプは、金属管に比べて温度変化による伸縮作用が大きくなります。

〈参考：建築設備・排水用管材の線膨張係数〉

管種	線膨張係数(1/°C)
塩ビ管	約 7×10^{-5}
排水用塩ビライニング鋼管	約 1.2×10^{-5}
排水用ノントールエポキシ塗装鋼管	約 1.2×10^{-5}
排水 鋳鉄管	約 1.04×10^{-5}

(塩ビ管の線膨張係数は、上表の通り鋼管の約5~6倍です。)

このため管路には原則として伸縮処理が必要です。

その伸縮処理として差込みソケットなどの伸縮継手を、合流部や曲り部継手の上流側またはその付近へ、必ず受口を上流に向けて設置してください。

また、設置に際しては、次の諸点に注意してください。

- ①設置箇所は、直管部の伸縮によって生じる、合流部・曲り部への応力集中または移動を阻止できる箇所であること。
- ②固定部から固定部までの1スパンの全伸縮量を吸収できること。
- ③伸縮継手自体が移動しないこと。また、伸縮部自体が伸縮の繰り返しによって振動しないよう固定すること。
- ④差込みソケット1コの受けもつ管路長は、4m以内とすること。

⚠注意

公共住宅建設工事共通仕様書解説書(総則編・機械編)によれば、「配管延長が2.5mを超えて、躯体などの貫通で両端が固定される場合は、管の伸縮を吸収できる伸縮ソケットを取付ける」と記載されています。

ただし、管路延長が2.5m以下でも、高温流体の排水頻度が多い場合や、温度変化が大きい配管環境下(特に夏場配管)では、必ず伸縮継手を使用してください。

〈参考：悪い配管例〉

図11は立て配管の場合の悪い配管例です。

図9の伸縮処理配管例と各々の配管例番号①~④を比較していただきますと、図11は差込みソケットの取付け位置が間違っていることをご確認いただけます。

すなわち、図11の場合は直管部の熱伸縮により、継手が上下に繰り返し移動することとなり、継手の本管と分岐部コーナーに応力集中が繰り返し発生することになります。

支持方法

支持金具には、蝶つがいバンドや提灯バンドを使用します。また、口径の大きい排水管では、スラブの貫通部を利用し、支持金具を使わない場合もあります。

なお、固定支持で管を締めつける場合は、管に傷をつけないようバンド内側にフェルトなどを使用してください。

図8 支持金具

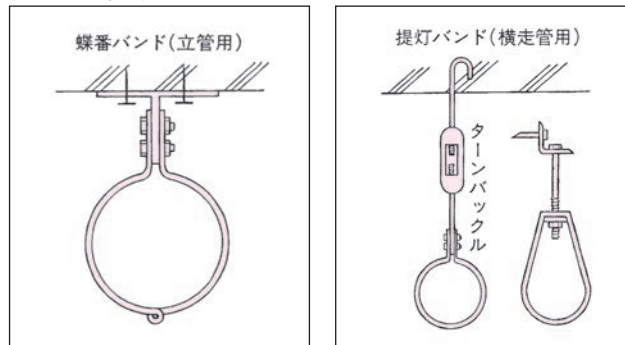


図9 差込みソケットによる立て配管の場合の伸縮処理配管例

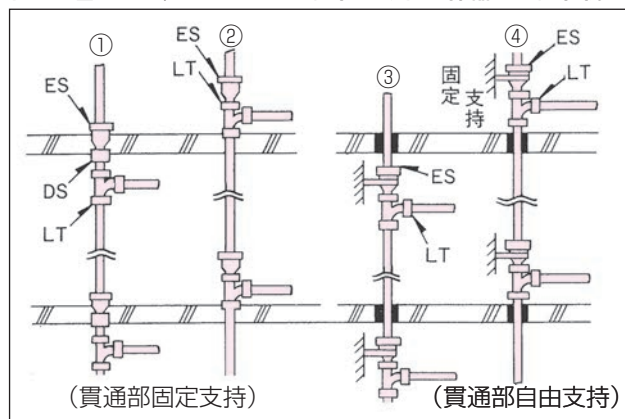


図10 差込みソケットによる横引き配管の場合の伸縮処理配管例

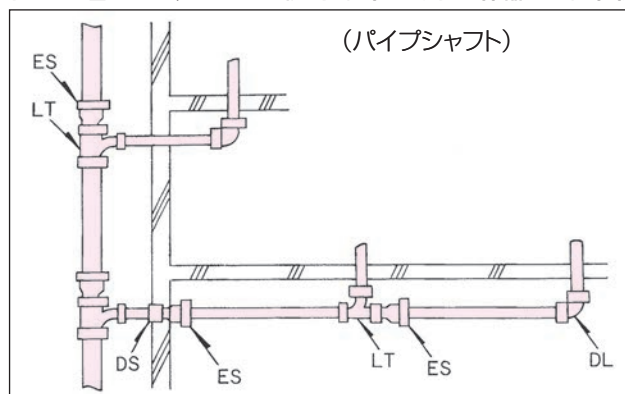
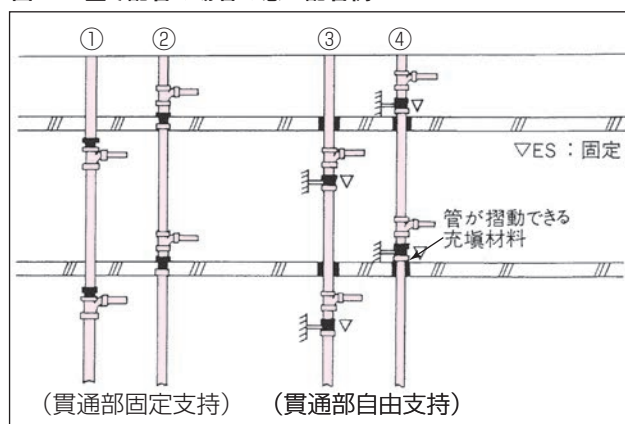


図11 立て配管の場合の悪い配管例



II

高温排水用HTパイプ・継手

目次

1. エコキュート高温排水用タフカラーHTパイプ・継手	55
2. エコキュートおよび家庭食器洗浄機高温排水用HTパイプ・継手	56
2.1 HTパイプ	56
2.2 HTDV継手・付属品	56
3. エコキュート高温排水システムの設計施工マニュアル	62
3.1 設計上の留意事項	62
3.2 システム構成	62
3.3 設計	63
3.4 施工	67
3.5 耐熱排水トラップの維持管理について	70

受注生産品について

本カタログ掲載の製品には受注生産品があります。
受注生産品は設計積算価格表に示していますのでご確認ください。
設計積算価格表の最新版は、当社ホームページでご覧いただけます。

Ⅱ. 高温排水用HTパイプ・継手

表中記号
 ⊗印：メーカー規格品

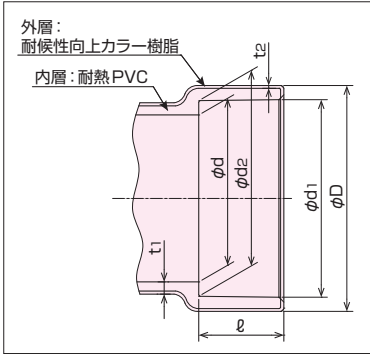
1. エコキュート高温排水用タフカラーHTパイプ・継手



1. 最高使用温度は90℃です。それ以上の温度では使用できません。
2. 接着剤は「タフダインHT」をご使用ください。また、一般ビニルパイプ・継手と接合する場合も「タフダインHT」をご使用ください。
3. 給水・給湯用途などの圧力の加わる配管には使用できません。

接合部共通寸法

単位：mm

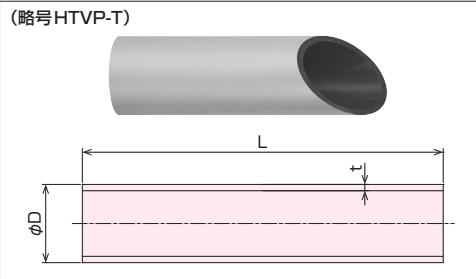


呼び径	d1		d2		ℓ	D	d		t1	t2
	基準寸法	許容差	基準寸法	許容差	基準寸法	参考寸法	基準寸法	許容差	最小寸法	最小寸法
50	60.35	±0.30	59.75	±0.30	26	69	51.0	±0.9	4.0	1.0
75	89.45	±0.30	88.65	±0.30	41	99	77.2	±0.9	4.6	1.0

タフカラーHTパイプ

品番2002

単位：mm

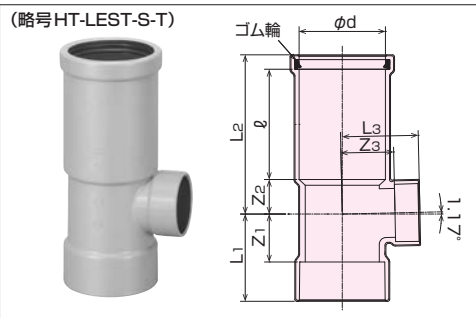


呼び径	外径 D	厚さ t	長さ L±10	参考質量 (kg/m)	色調				規格
					シルバーグレー	ココアブラウン	アイボリー	ミルクホワイト	
50×4m	60±0.4	4.5±0.4	4000	1.15	○	○	○	○	⊗
75×4m	89±0.5	5.9±0.4	4000	2.25	○	○	○	○	
75×3m	89±0.5	5.9±0.4	3000	1.70	○	○	○	○	

タフカラーヤリトリ機能付き90°Y

品番2196

単位：mm



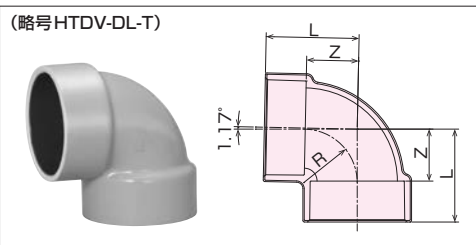
呼び径	Z1	Z2	Z3	L1	L2	L3	ℓ	d	色調				規格
									シルバーグレー	ココアブラウン	アイボリー	ミルクホワイト	
75×50	50	36	55	91	166	81	115	90	○	○	○	○	⊗

備考 挿し管には1~2mmの面取りが必要です。ゴム輪は自己潤滑性クロロブレン(CR)製の滑剤レスゴム輪ですが、挿入困難な場合は、専用滑剤(VスプレーかVソープ)をご使用ください。また、やりとり施工の場合は、専用滑剤を挿し管の伸縮長さ全体に多めに塗布してください。

タフカラー90°エルボ

品番2191

単位：mm

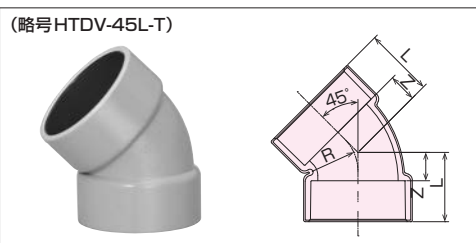


呼び径	Z	L	R	色調				規格
				シルバーグレー	ココアブラウン	アイボリー	ミルクホワイト	
50	33	59	34	○	○	○	○	⊗

タフカラー45°エルボ

品番2193

単位：mm



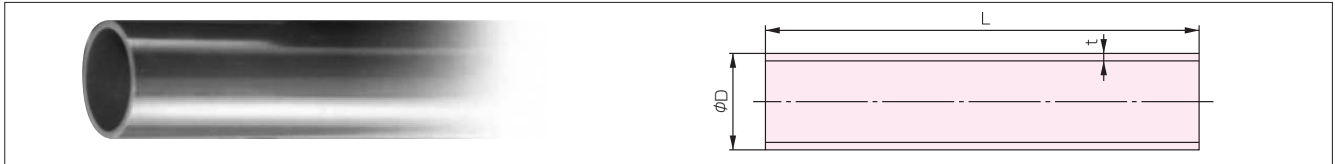
呼び径	Z	L	R	色調				規格
				シルバーグレー	ココアブラウン	アイボリー	ミルクホワイト	
50	18	44	29	○	○	○	○	⊗

2. エコキュートおよび家庭食器洗浄機高温排水用HTパイプ・継手

- !**
1. 業務用厨房排水配管にHT管材は使用できません。(多くの業務用洗剤は、HT管材を侵す成分を含有するため)
 2. 最高使用温度は90℃です。それ以上の温度では使用できません。
 3. 接着剤は「タフダイナHT」をご使用ください。また、一般ビニルパイプ・継手と接合する場合も「タフダイナHT」をご使用ください。
 4. 給水・給湯用途など圧力の加わる配管には使用できません。

2.1 HTパイプ

HTパイプ 品番 2002



単位: mm

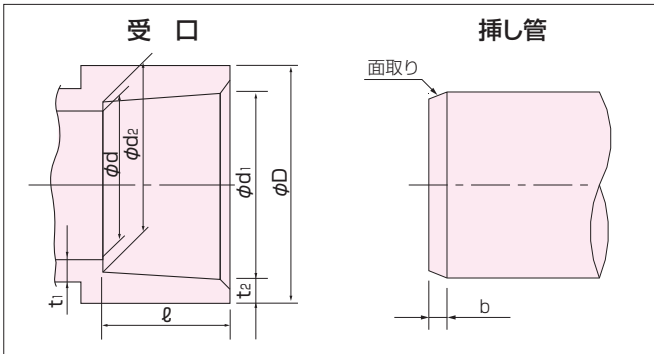
呼び	外径 D			厚さ t		近似内径 (参考)	長さ L	許容差	参考質量		規格
	基準寸法	最大・最小径許容差	平均外径許容差	厚さ	厚さの許容差				(kg/m)	(kg/本)	
20×4m	26.0	±0.2	±0.2	3.0	±0.3	20	4000	+30 -10	0.340	1.36	JIS K 6776
25×4m	32.0	±0.2	±0.2	3.5	±0.3	25	4000		0.492	1.97	
40×4m	48.0	±0.3	±0.2	4.0	±0.3	40	4000		0.868	3.47	
50×4m	60.0	±0.4	±0.2	4.5	±0.4	51	4000		1.232	4.93	
75×4m	89.0	±0.5	±0.3	5.9	±0.4	77	4000		2.380	9.52	
100×4m	114.0	±0.6	±0.4	7.1	±0.5	100	4000	+10 0	3.743	14.97	⊗
75×3m	89.0	±0.5	±0.3	5.9	±0.4	77	3000		2.380	7.14	

備考 1. 参考質量は、管の寸法を基準寸法とし、管に使用する材料の密度を 1.48g/cm³として計算したものであって規格の一部ではありません。
 2. 業務用厨房排水配管には使用できません。

2.2 HTDV継手・付属品

表中記号
 ⊗印 : メーカー規格品

接合部共通寸法



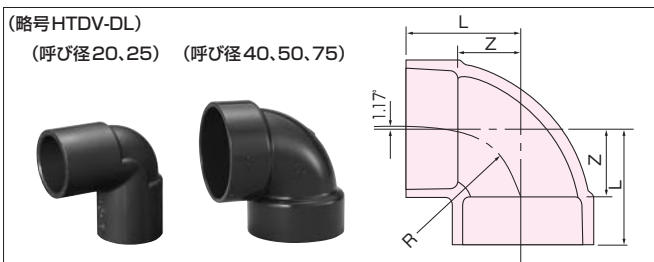
HTDV継手 単位: mm

呼び径	d1		d2		ℓ		D		d		t1	t2	b
	基準寸法	許容差	基準寸法	許容差	基準寸法	許容差	参考寸法	基準寸法	許容差	最小寸法	最小寸法	参考	
20	26.20	±0.15	25.85	±0.15	25	±1	32	21.0	±0.7	-	2.5	-	1
25	32.25	±0.20	31.80	±0.20	25	±1	38	26.0	±0.8	-	2.5	-	
40	48.30	±0.30	47.80	±0.30	22	±1	54	40.0	±0.9	2.7	2.5	-	2
50	60.35	±0.30	59.75	±0.30	25	±1	67	51.0	±0.9	3.1	3.0	-	
75	89.45	±0.30	88.65	±0.30	40	±2	97	77.2	±0.9	3.6	3.4	-	3
100	114.55	±0.35	113.55	±0.35	50	±2	124	98.8	±1.0	4.5	4.3	-	

備考 呼び径40以上はJIS K 6739規格と同一寸法で、呼び径25以下はメーカー規格寸法です。

90°エルボ 品番 2191

単位: mm

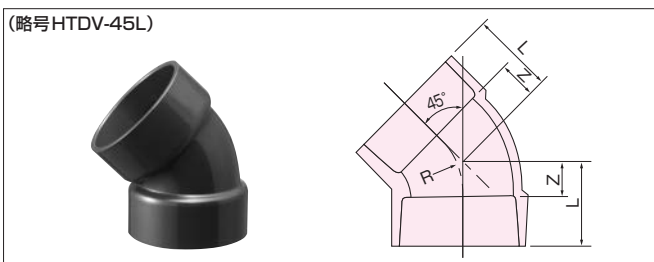


呼び径	Z	L	R(参考)	規格
20	16	41	10.5	⊗
25	19	44	13	
40	27	49	27	
50	33	58	34	
75	48	88	49	
100	62	112	65	

備考 業務用厨房排水配管には使用できません。

45°エルボ 品番 2193

単位: mm



呼び径	Z	L	R(参考)	規格
40	14	36	27	⊗
50	18	43	29	
75	25	65	58	
100	30	80	69	

備考 業務用厨房排水配管には使用できません。

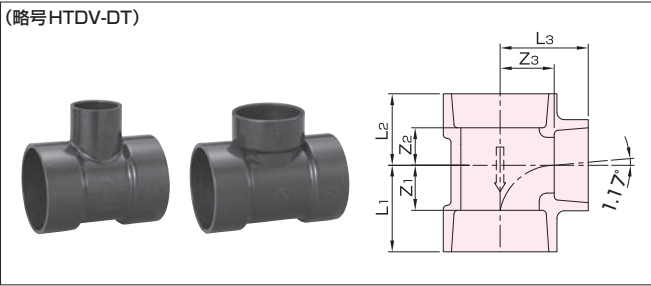
Ⅱ 高温排水用
 HTパイプ・継手

90°Y

品番 2194

単位：mm

(略号HTDV-DT)



呼び径	Z ₁	Z ₂	Z ₃	L ₁	L ₂	L ₃	規格
50	34	34	34	59	59	59	⊗
50×20	20	20	35	45	45	60	
50×25	22	22	35	47	47	60	
50×40	27	27	33	52	52	55	
75	48	49	48	88	89	88	
75×50	34	35	48	74	75	73	

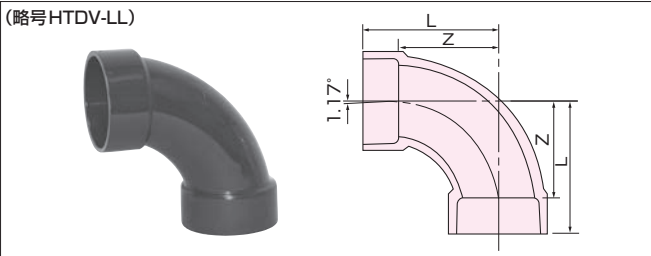
備考 業務用厨房排水配管には使用できません。

90°大曲がりエルボ

品番 2192

単位：mm

(略号HTDV-LL)



呼び径	Z	L(参考)	規格
50	66	91	⊗
75	100	140	
75×50	(75側)101/(50側)100	(75側)141/(50側)125	
100	128	178	

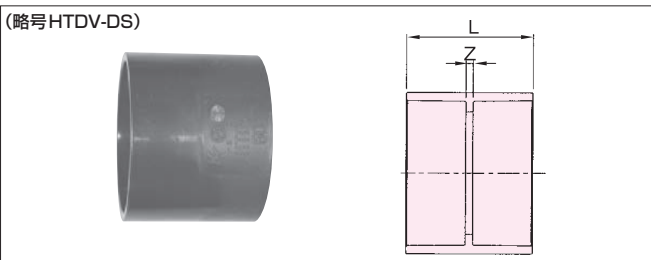
備考 業務用厨房排水配管には使用できません。

ソケット

品番 2198

単位：mm

(略号HTDV-DS)



呼び径	Z	L(参考)	規格
40	3	47	⊗
50	3	53	
75	4	84	
100	4	104	

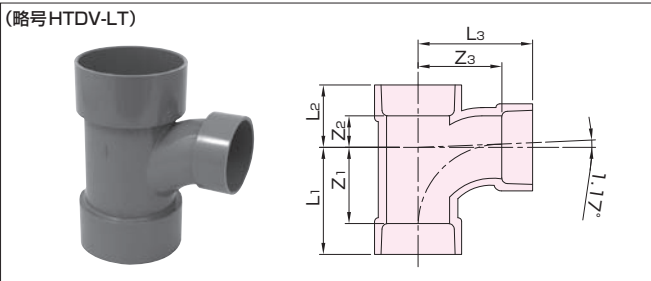
備考 業務用厨房排水配管には使用できません。

90°大曲がりY

品番 2195

単位：mm

(略号HTDV-LT)



呼び径	Z ₁	Z ₂	Z ₃	L ₁	L ₂	L ₃	規格
75	100	30	100	140	70	140	⊗
75×50	66	29	79	106	69	104	
100	128	45	128	178	95	178	
100×75	100	33	110	150	83	150	

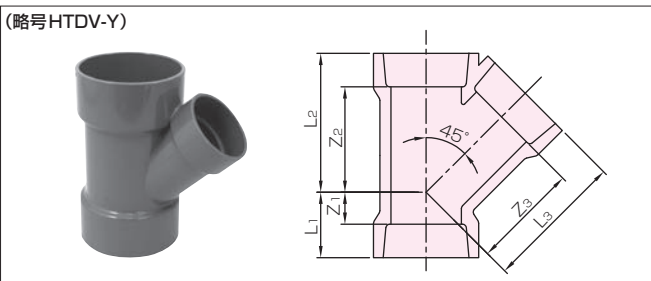
備考 業務用厨房排水配管には使用できません。

45°Y

品番 2197

単位：mm

(略号HTDV-Y)



呼び径	Z ₁	Z ₂	Z ₃	L ₁	L ₂	L ₃	規格
75	26	106	115	66	146	155	⊗
75×50	3	86	98	43	126	123	
100	32	134	144	82	184	194	
100×75	19	118	132	69	168	172	

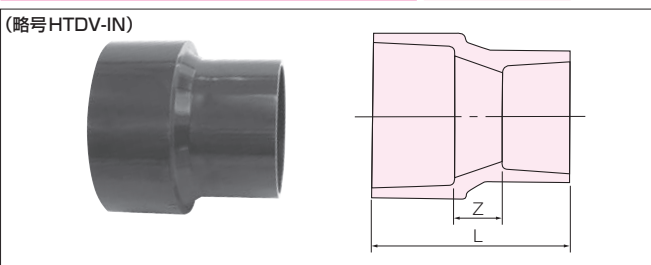
備考 業務用厨房排水配管には使用できません。

インクリーザー

品番 2199

単位：mm

(略号HTDV-IN)



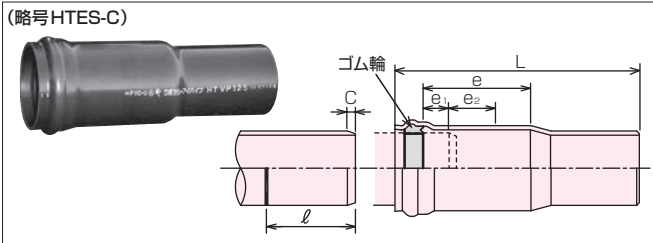
呼び径	Z	L	規格
100×75	30	120	⊗

備考 業務用厨房排水配管には使用できません。

伸縮ソケット

品番 2192

単位: mm



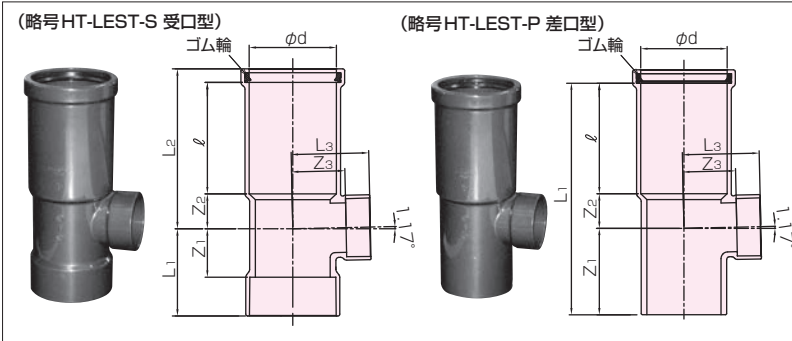
呼び径	L	ℓ	C	e ₁	e ₂	e	規格
50	192	100	8	20	31	94	⊗
75	420	140	11	45	79	180	
100	457	120	13	45	79	137	
125	450	165	15	45	79	195	

- 備考
1. ゴム輪の材質はEPDMです。
 2. 接合には専用滑剤(Vスプレー)をご使用ください。
 3. 立て配管、横引配管の双方に使用できます。但し、横引配管の場合は、ゴム輪接合部奥に僅かな汚水溜まりが生じます。
 4. eは伸縮代、e₁は収縮代、e₂は伸張代です。
 5. 業務用厨房排水配管には使用できません。

やりとり機能付90°Y

品番 2196

単位: mm



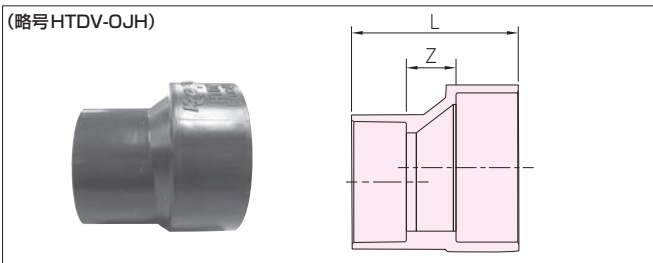
	呼び径	Z ₁	Z ₂	Z ₃	L ₁	L ₂	L ₃	ℓ	d	規格
受口型	75×50	50	36	55	90	165	80	115	90	⊗
差口型		90	36	55	255	-	80	115	90	

- 備考
1. 挿し管には1~2mmの面取りが必要です。ゴム輪は自己潤滑性クロロブレン(CR)製の滑剤レスゴム輪ですが、挿入困難な場合は、専用滑剤(Vスプレー)かVソープをご使用ください。また、やりとり施工の場合は、専用滑剤を挿し管の伸縮長さ全体に多めに塗布してください。
 2. 業務用厨房排水には使用できません。

偏芯インクリーザー

品番 2476

単位: mm



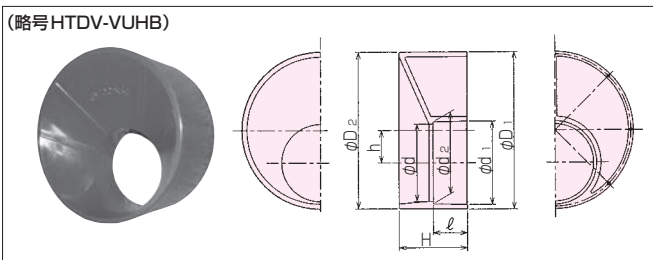
呼び径	Z	L(参考)	規格
50×40	20	67	⊗

備考 業務用厨房排水配管には使用できません。

VU偏芯プッシング

品番 2475

単位: mm



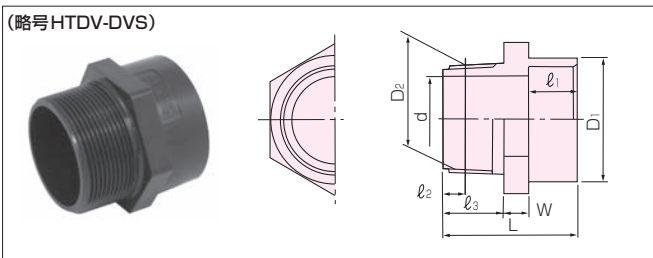
呼び径	D ₁	D ₂	d ₁	d ₂	d	ℓ	h	H	規格
100×50	114.2	113.8	60.5	59.5	56	25	23.6	50	⊗

備考 業務用厨房排水配管には使用できません。

排水用バルブソケット

品番 2199

単位: mm



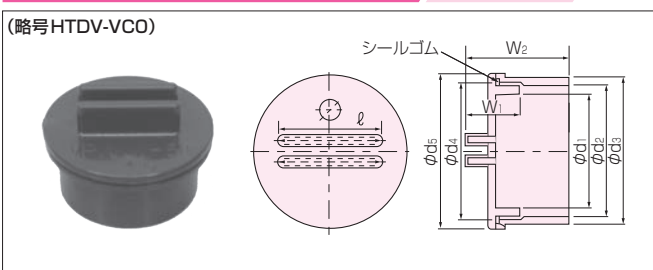
呼び径	D ₁	d	ℓ ₁	W	L	ネジ部				規格
						D ₂	ℓ ₂	ℓ ₃	ネジ山数 25.4mm	
40×1 1/2"	54	40	22	10	58	47.803	12.70	26	11	⊗
50×2"	67	51	25	12	68	59.614	15.88	31	11	

- 備考
1. 呼び径40のおねじはJIS B 0203(管用テーパねじ)です。
 2. 呼び径50のおねじはJIS B 0203(管用テーパねじ)に準じたメーカー規格です。
 3. 受口寸法はJIS K 6739(排水用硬質ポリ塩化ビニル管継手)に準じます。
 4. ねじ接合には弊社指定の無溶剤系のシリコン系シーリング材をご使用ください。詳細は次ページをご覧ください。
 5. 業務用厨房排水配管には使用できません。

つまみ型掃除口

品番 2394

単位: mm



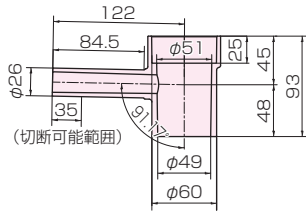
呼び径	d ₁	d ₂	d ₃	d ₄	d ₅	W ₁	W ₂	ℓ	規格
50	45	52.2	60	55.5	69	28.5	44.0	40	⊗
75	70	78.5	89	82.5	100	36.0	65.5	65	

- 備考
1. シールゴムはOリングです。
 2. 業務用厨房排水配管には使用できません。

耐熱排水用片受チーズ(ショート)

品番 2194

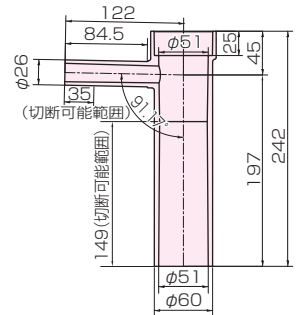
(略号HTDV-片受DT)



耐熱排水用片受チーズ(ロング)

品番 2194

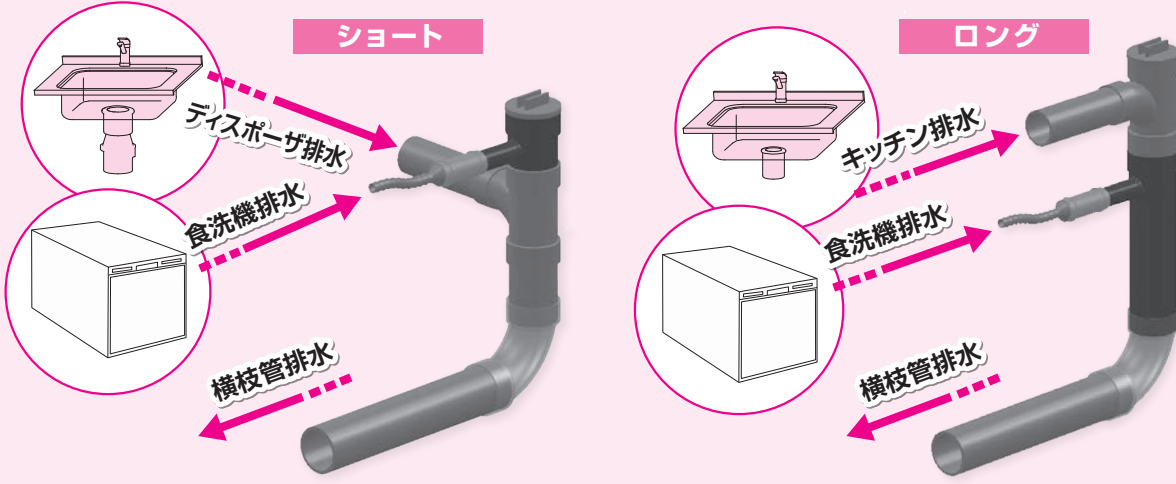
(略号HTDV-片受DT)



配管例

ショート

ロング



II 高温排水用
HTパイプ・継手

使用上のご注意

- ①業務用厨房排水では使用できません。
- ②圧力の加わる配管には使用できません。
- ③接着剤はタフダインHTを使用してください。
- ④HTDV継手以外の一般塩ビ管・継手の使用温度範囲は、無圧において5～60℃です。

ねじ部施工方法

- ①HTDV-DVSとねじ込み式継手のねじ部をウエス等で清掃し、ゴミ、油等をふき取ります。
- ②HTDV-DVSのねじ部に弊社指定の無溶剤のシリコン系シーラントを塗布します。
- ③HTDV-DVSをパイプレンチ等で締め込みます。(標準締め付けトルク 10N・m)
- ④シーラントが硬化するまで養生します。

弊社推奨シリコン系シーラント(無溶剤系)

品名	スリーボンド 4230 	ヘルメチック F-119 
メーカー	株式会社スリーボンド	株式会社ヘルメチック

HTDVは業務用厨房排水配管に使用しないでください。

厨房機器の一つであるスチームコンベンションオープン(スチコン)などに使用される業務用洗剤には、HT配管材を侵す成分(有機溶剤等)が含まれている場合が多く、配管材に亀裂が発生して、漏水事故につながる恐れがあります。

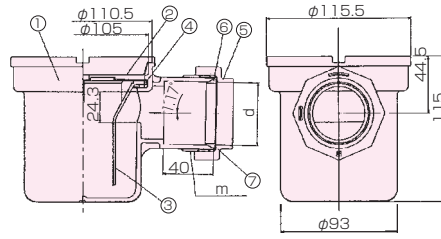
耐熱排水トラップ II型

品番 2477(目皿付)

品番 2479(目皿なし)

単位: mm

(略号 THT-II/ THT-II MN)
(目皿付) (目皿なし)

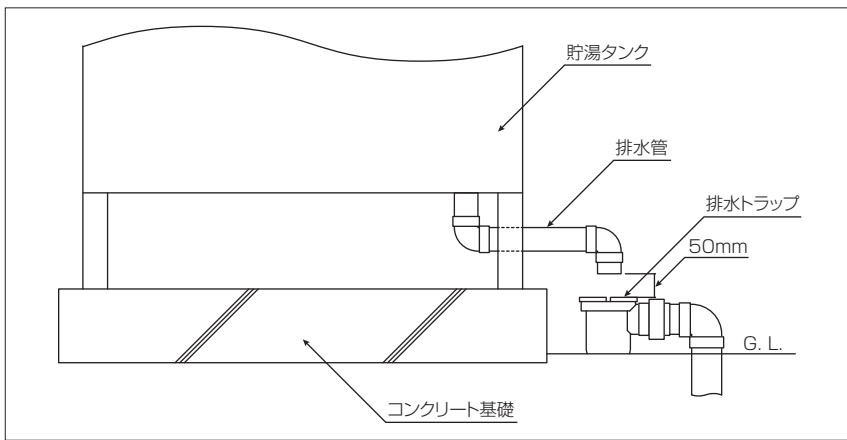


呼び径	d	m	規格
40	49.5	2"ネジ(P=2.309)	⊗
50	61.5	2" 1/2ネジ(P=2.309)	

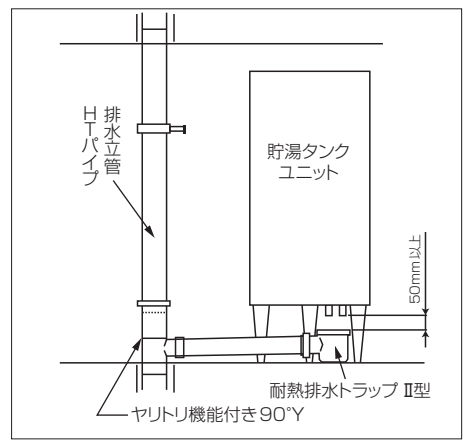
番号	部品名称	材質
①	本体	耐熱ABS
②	目皿	SUS304
③	防臭パイプ	耐熱ABS
④	防臭ゴムパッキン	EPDM
⑤	ナット	耐熱ABS
⑥	ゴムパッキン	呼び径40: CR, 呼び径50: EPDM
⑦	ポリパッキン	PP

備考 1. THT-II には専用目皿が付属しております。
2. THT-II MN には目皿は付属していません。
3. 直射日光が当たるような場所での使用は避けてください。

**■電気温水器やエコキュートからの高温排水配管例
戸建住宅向配管例**



集合住宅向配管例



II 高温排水用
HTパイプ・継手

■耐熱排水トラップ II型の接続方法

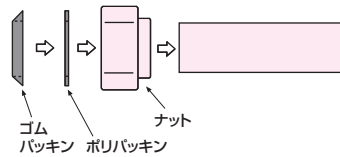
●開封後、本体接続部のナット内に下記部品が入っていることを確認してください。

- (1) ゴムパッキン 1個
 - (2) ポリパッキン 1個
- 以上2点



接続手順

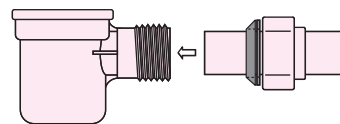
(1) ゴムパッキン、ポリパッキン、ナットを本体から取り外し、図の通り排水管に部品を取付けます。



△注意

- ・ゴムパッキンの向きに注意してください。
- ・ポリパッキンは必ず取付けてください。
- ・管に傷や汚れのないことを確認してください。

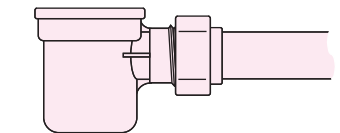
(2) 排水管を本体受口の奥まで差し込みます。



△注意

- ・ゴムパッキンにねじれないようにしてください。
 - ・滑剤や接着剤等は使用しないでください。
 - ・差込み不足のないように接続してください。
- ※50A・40Aとも差し込み長さ40mmとなっております。

(3) ナットを締め付けて接続完了。



△注意

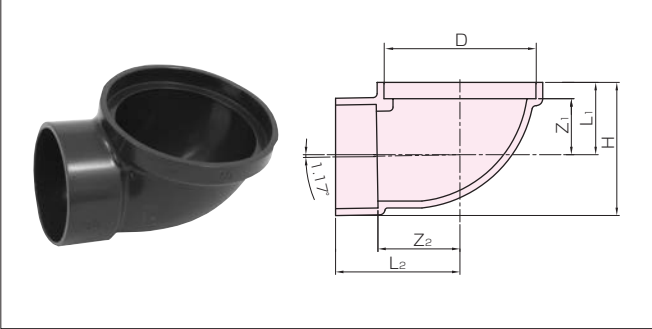
- ・締め付けは手で強く締めつけてください。
 - ・パイレン等の製品を傷つける恐れのある工具は使用しないでください。
- 参考：締め付けトルク

40A 5~6N・m (0.51~0.61kgf・m)
50A 8~10N・m (0.82~1.02kgf・m)

耐熱排水エルホッパー

品番 2195

(略号 TH-LHP)



単位：mm

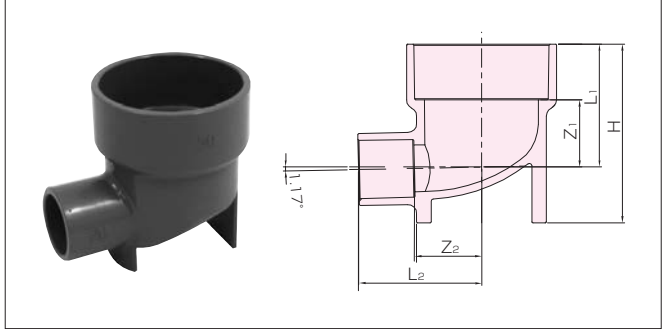
呼び径	H	L ₁	L ₂	Z ₁	Z ₂	D	規格
75×50	77	42	72	32	47	89.5	⊗

備考 本製品にはトラップ機能はありません。別途トラップを設けてください。

耐熱排水エルホッパー

品番 2195

(略号 TH-LHP)



単位：mm

呼び径	H	L ₁	L ₂	Z ₁	Z ₂	規格
50×20	80	55	55	30	30	⊗

備考 本製品にはトラップ機能はありません。別途トラップを設けてください。

■耐熱排水エルホッパーの施工・使用上の注意

1. 耐熱排水エルホッパーにはトラップ機能はありません。別途トラップを設けてください。
2. 耐熱排水エルホッパー上部の排水口空間を50mm以上確保してください。
3. 耐熱排水エルホッパー 75×50は排水位置により排水性能が変わります(詳しくは設計・施工マニュアルをご参照ください)。タンクからの排水は耐熱排水エルホッパーの中心より流出側に寄せて配管してください(図1)。
4. 耐熱排水エルホッパーの施工50×20の場合、タンクからの排水はできるだけ耐熱排水エルホッパーの中心に持ってくるように配管してください(図2)。
5. 耐熱排水エルホッパーにゴミなどが溜まっていないか、定期的に点検と清掃を行ってください。

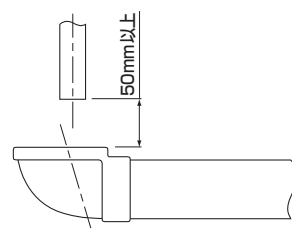


図1. 耐熱排水エルホッパー 75×50排水位置

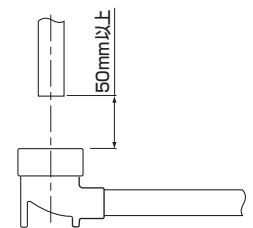


図2. 耐熱排水エルホッパー 50×20排水位置

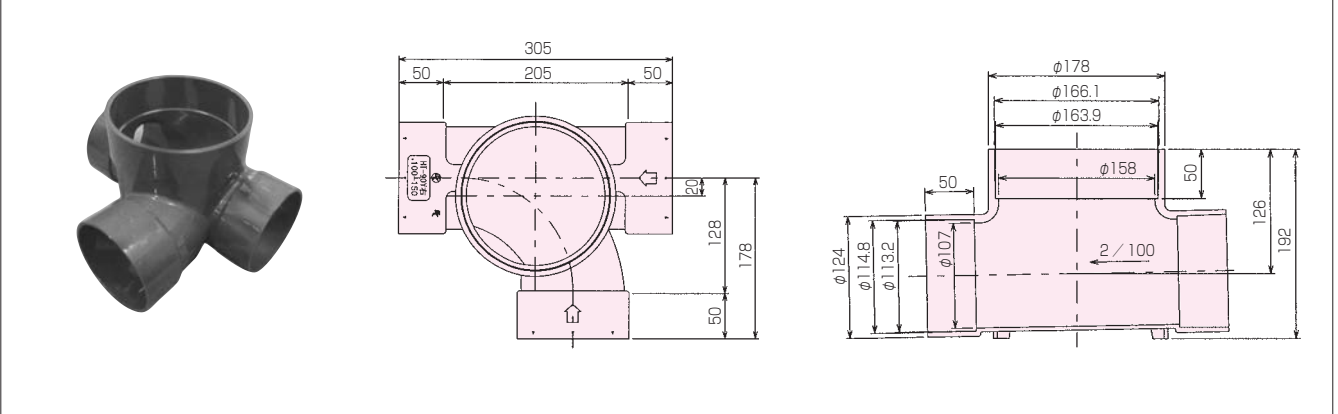
Ⅱ 高温排水用
HTパイプ・継手

HT 宅地マス90度合流

品番 2205

(略号 HT-90Yヒタリ100-150)
(略号 HT-90Yミギ100-150)

(本図は90Yミギ)



備考 メーカー規格品です。

3. エコキュート高温排水システムの設計施工マニュアル

3.1 設計上の留意事項

- (1) 高温排水システムはエコキュート・電気温水器用専用です。
その他の用途には使用できません。特に業務用厨房排水では、調理用機器の洗浄剤にHTパイプ・継手を侵す成分が含まれている場合があります、使用できません。
- (2) HTDV継手の使用圧力と排水温度は以下の通りです。
使用圧力：無圧用 排水温度：90℃以下
- (3) 高温排水システムの配管部位について
高温排水システムの配管部位は、エコキュート・電気温水器から、排水横枝管、排水立て管、排水横主管までの系統(戸建ては排水マス合流まで)です。
- (4) 防火区画の貫通部での使用について
所轄の消防署にご確認ください。
- (5) 高温排水システム配管の伸縮処理について
HTパイプの線膨張係数はステンレスパイプの約4.4倍であり、温度差1℃に対して1mあたり約0.07mmの熱伸縮を生じ、その熱伸縮力はHTDVに熱応力として働きます。HTDVはこの熱応力を継続的に受け続けた場合、最終的に疲労破壊に至る恐れがあります。従いまして、伸縮ソケットを適切な位置に配置する伸縮処理配管設計が重要となります。

〈参考：高温排水用管材の線膨張係数〉

管 種	線膨張係数(1/℃)
HTパイプ	約7×10 ⁻⁵
ステンレスパイプ	約1.6×10 ⁻⁵
鋼 管	約1.2×10 ⁻⁵

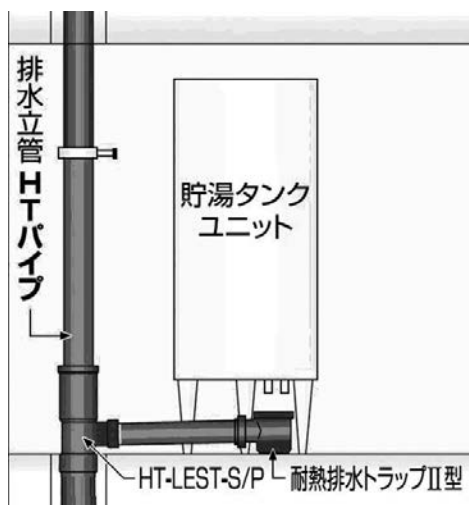
■ HTDVは業務用厨房排水管として使用しないでください。

厨房機器の一つであるスチームコンベクションオープン(スチコン)などに使用される業務用洗浄剤には、HT配管材を侵す成分(有機溶剤等)が含まれる場合が多く、配管材に亀裂が発生して漏水事故につながる恐れがあります。(HTDV継手は、業務用厨房排水管材としては使用できません。)

Ⅱ 高温排水用
HTパイプ・継手

3.2 システム構成

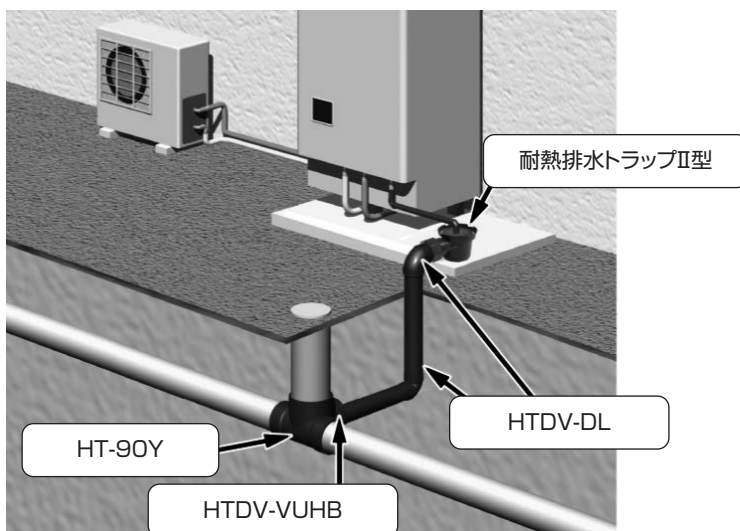
■ 集合住宅の配管例



■ 集合住宅の配管例(タフカラー HTの場合)



■ 戸建住宅の配管例



3.3 設計

(1) 口径と排水許容流量

膨張水の排水量は少量(貯湯槽の容量によりますが0.03～0.05 l/min程度)のため問題ありませんが、メンテナンス等での貯湯槽からの排水量は、機器メーカーにより、異なりますので確認が必要です。一般的には、20～40 l/minとなり、下表より計算します。

①横枝管

呼び径	許容流量(l/sec [l/min])	勾配
40	0.69[41]	1/50
50	1.25[75]	1/50

②立て管

呼び径	許容流量(l/sec [l/min])	備考
50	0.61[37]	
75	1.80[108]	

③横主管

呼び径	許容流量(l/sec [l/min])	勾配
50	0.63[38]	1/50
75	1.85[111]	1/50
75	1.31[79]	1/100
100	2.80[168]	1/100
125	5.10[306]	1/100

④排水トラップおよびエルホッパー

呼び径	許容流量(l/sec [l/min])	勾配
排水トラップ	0.67[40]	1/50
エルホッパー 75×50	0.16～0.42[10～25]	1/50
エルホッパー 50×20	0.13[8]	1/50

(2) 許容同時使用台数

系統	呼び径	許容同時使用台数		勾配
		排水量20l/minの場合	排水量40 l/minの場合	
立て管	50	1.83(台)	0.91(台)	
	75	5.40(台)	2.70(台)	
横主管	50	1.89(台)	0.94(台)	1/50
	75	5.55(台)	2.77(台)	1/50
	75	3.93(台)	1.96(台)	1/100
	100	8.40(台)	4.20(台)	1/100
	125	15.30(台)	7.65(台)	1/100

許容できる同時使用台数は上表のようになります。立て管管径及び横主管管径は、設計で同時使用を2台とした場合、上表の数値で2台以上での管径を決定することになります。

例えば、40l/min排水量の機器で同時使用を2台とすると、立て管径75、横主管径75(勾配1/50)か100となります。

(3) 伸縮処理について

1) 排水管における伸縮処理の考え方

高温排水がもたらす排水管の伸長・収縮について、伸縮継手の差込深さ(伸長代・収縮代)と使用温度範囲、施工時温度により熱伸縮の吸収量が異なります。

伸縮処理の考え方を下記に示します。

<使用条件>

使用温度範囲：-10～90℃(流体温度5～90℃)

施工時温度：5～35℃(常温)

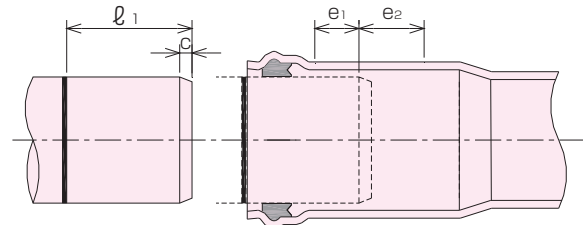
この場合、温度変化の最大量は、

管が熱伸長する場合： $\Delta t=85^\circ\text{C}$ (施工時5℃→使用温度90℃)

管が熱収縮する場合： $\Delta t=45^\circ\text{C}$ (施工時35℃→使用温度-10℃)

となります。

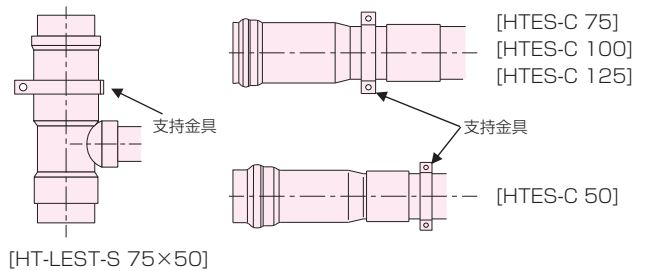
継手の熱伸縮受け持ち長さをLとし、伸縮代をe(収縮代 e_1 ・伸長代 e_2)とすると、管が伸長、収縮する場合を考え熱伸縮受け持ち長さ L と伸縮代 e の関係は、



$$7 \times 10^{-5} (\text{塩ビ管線膨張係数}) \times \Delta t (\text{温度変化}) \times L (\text{m}) \leq e (\text{mm})$$

となり、小さい方の値のLが継手1個の熱伸縮処理できる配管長になります。

また、継手本体又はその下流側にて支持固定することで上流側の熱伸縮を吸収することになります。



支持固定位置例

伸縮力は、温度、サイズによりますが、10kN以上の力が掛かる場合が有ります。この力を逃がし管路に悪影響を与えないために、伸縮処理が必要になります。

伸縮継手はゴム輪接合であり、サイズによりますが、300～500N程度で可動、伸縮し、管体応力を低減します。

従いまして、固定支持力が伸縮継手の伸縮可動力以上の支持金具で固定支持することが必要になります。

2) 継手 1 個の熱伸縮受け持ち長さについて

①高温排水用ヤリトリ機能付継手(HT-LEST) 75×50の75ゴム輪受口での熱伸縮受け持ち長さは、HT-LESTの差込標線位置(ℓ_1)を32mmとすると、収縮代(e_1)は15mm、伸張代(e_2)は100mmとなり、

- ・管が収縮する場合
 7×10^{-5} (塩ビ管の線膨張係数) $\times 45$ (温度変化) $\times L$ (m)
 $\leq 15\text{mm}(e_1)$
 $\therefore L \leq \text{約} 4.7\text{(m)}$
- ・管が伸長する場合
 7×10^{-5} (塩ビ管の線膨張係数) $\times 85$ (温度変化) $\times L$ (m)
 $\leq 100\text{mm}(e_2)$
 $\therefore L \leq \text{約} 16.9\text{(m)}$

となります。よって、安全を見て、HT-LEST75×50の75ゴム輪受口での熱伸縮受け持ち長さは4mとしています。

②高温排水用HT伸縮ソケット(HTES-C) 50での熱伸縮受け持ち長さは、HTES-C 50の差込標線位置(ℓ_1)を100mmとすると、収縮代(e_1)は20mm、伸長代(e_2)は31mmとなり、

- ・管が収縮する場合
 7×10^{-5} (塩ビ管の線膨張係数) $\times 45$ (温度変化) $\times L$ (m)
 $\leq 20\text{mm}(e_1)$
 $\therefore L \leq \text{約} 6.3\text{(m)}$
- ・管が伸長する場合
 7×10^{-5} (塩ビ管の線膨張係数) $\times 85$ (温度変化) $\times L$ (m)
 $\leq 31\text{mm}(e_2)$
 $\therefore L \leq \text{約} 5.2\text{(m)}$

3) 立て管の熱伸縮処理方法

立て管での伸縮処理は、

- ①立て管と横枝管の接続は、高温排水用ヤリトリ機能付継手 HT-LEST75×50をご使用下さい。
- ②各階毎に、合流の場合はHT-LEST75×50を、合流のない場合は、高温排水用HT伸縮ソケットHTES-C75をご使用下さい。

となります。よって安全を見てHTES-C50での熱伸縮受け持ち長さは4mとしています。

③高温排水用HT伸縮ソケット(HTES-C) 75での熱伸縮受け持ち長さは、HTES-C 75の差込標線位置(ℓ_1)を140mmとすると、収縮代(e_1)は45mm、伸張代(e_2)は79mmとなり、

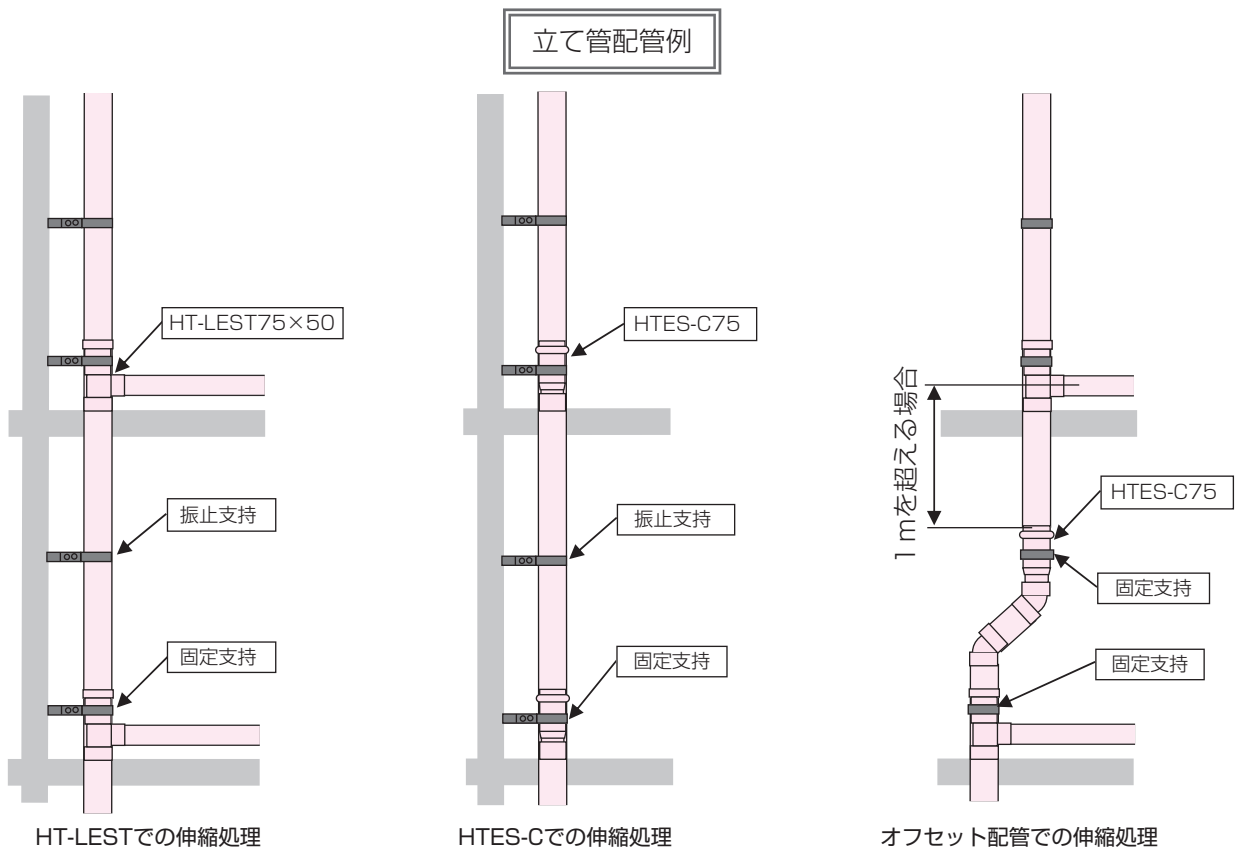
- ・管が収縮する場合
 7×10^{-5} (塩ビ管の線膨張係数) $\times 45$ (温度変化) $\times L$ (m)
 $\leq 45\text{mm}(e_1)$
 $\therefore L \leq \text{約} 14.2\text{(m)}$
- ・管が伸長する場合
 7×10^{-5} (塩ビ管の線膨張係数) $\times 85$ (温度変化) $\times L$ (m)
 $\leq 79\text{mm}(e_2)$
 $\therefore L \leq \text{約} 13.2\text{(m)}$

となります。よって、安全を見て、HTES-C 75での熱伸縮受け持ち長さは12mとしています。

また、HTES-C 75と同様にHTES-C 100、125での熱伸縮受け持ち長さは12mとしています。

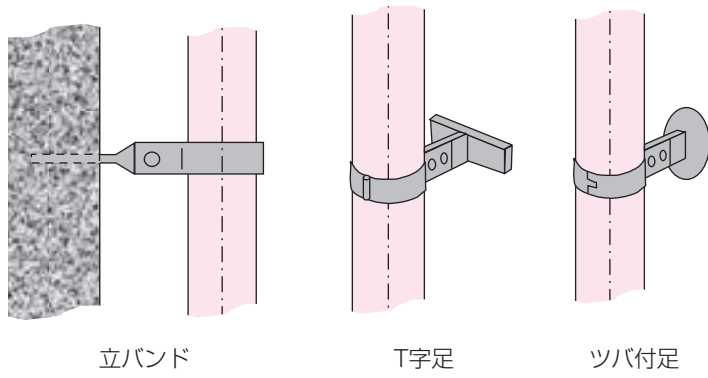
高温排水用HT伸縮ソケットの熱伸縮受け持ち長さ

品種	HT-LEST 75×50	HTES-C			
		50	75	100	125
継手1個の受持長[m]	4	4	12	12	12



●支持金具

立て管の振止支持、固定支持の支持金具例を示します。
HT-LEST75×50の固定支持には耐火二層管用立て管バンド TN75とツバ付足を推奨します。



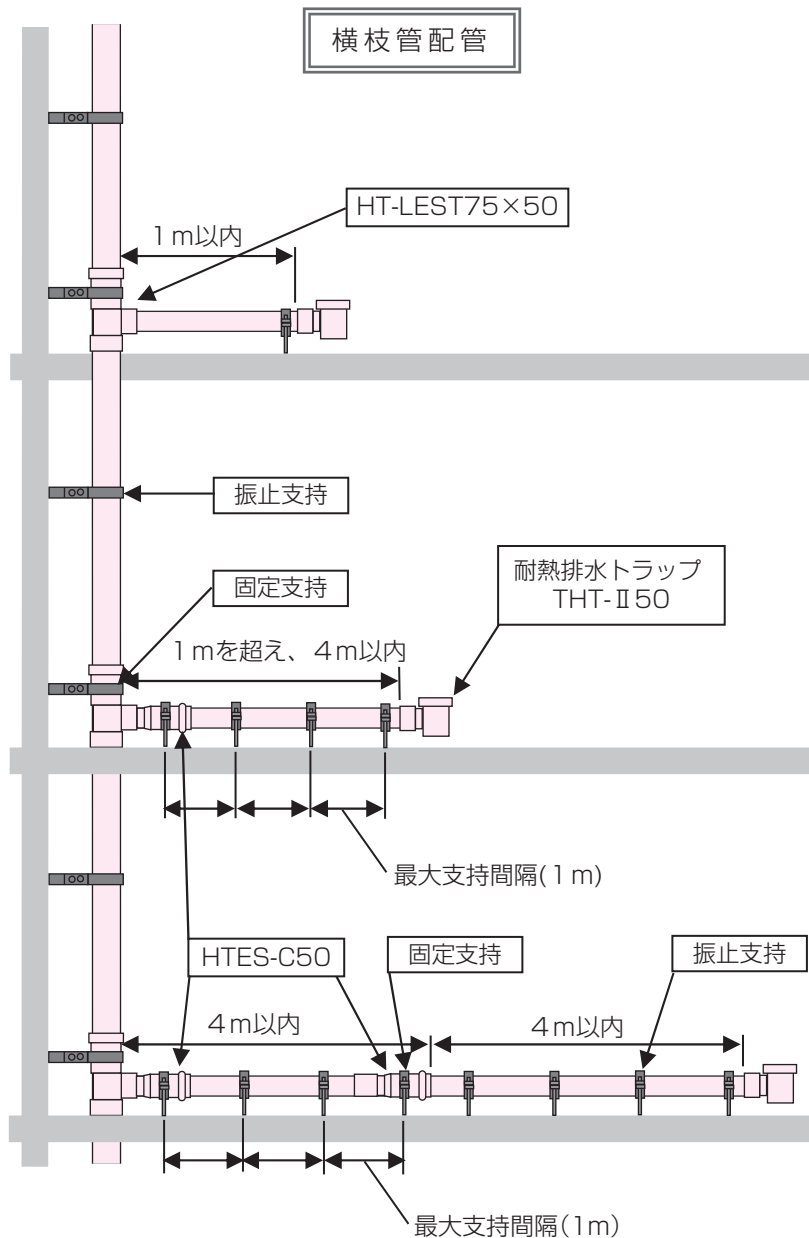
伸縮継手部固定支持例

4)横枝管の熱伸縮処理方法

横枝管での伸縮処理は、

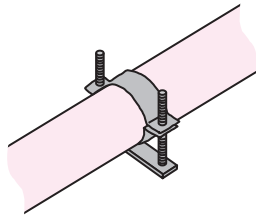
- ①横枝管が1m以内は、伸縮継手は不要です。
- ②横枝管が1mを越え4m以内は、高温排水用HT伸縮ソケット HTES-C50をご使用下さい。
- ③横枝管が4mを越える場合は、4m以内毎に高温排水用HT伸縮ソケットHTES-C50をご使用下さい。

Ⅱ 高温排水用 HTパイプ・継手



●支持金具

横枝管の支持金具を示します。フロアバンドを使用します。伸縮継手固定支持の場合、継手本体または継手下流側のパイプ部を支持固定することになります。



フロアバンドによる
管路の振止支持例



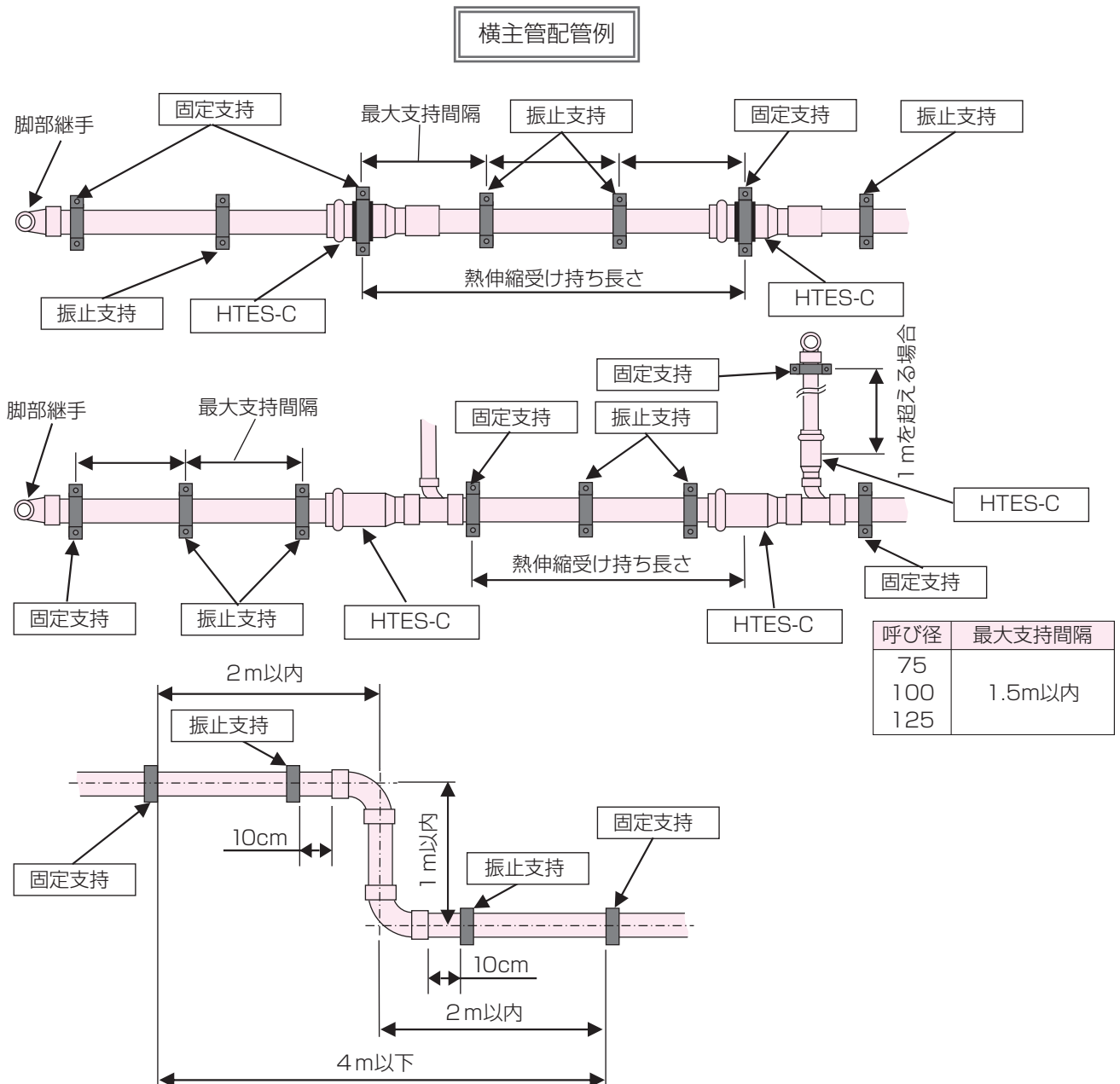
フロアバンドによる
伸縮継手の固定支持例

5)横主管の熱伸縮処理方法

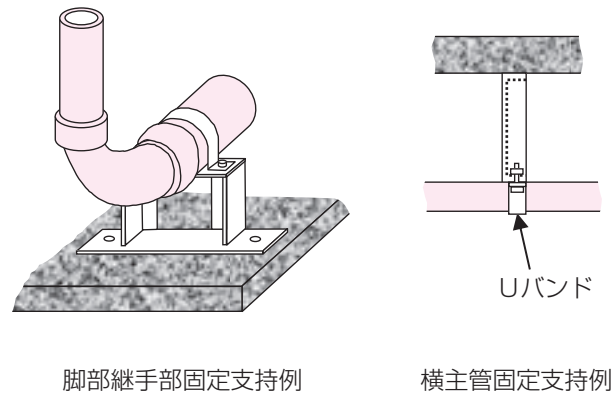
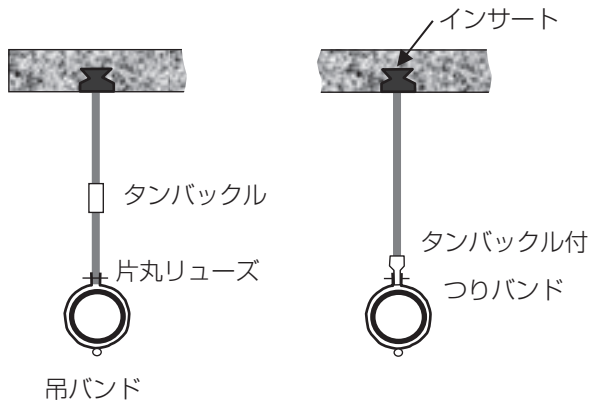
横主管での伸縮処理は、

- ①高温排水用HT伸縮ソケットの熱伸縮受け持ち長さ毎に伸縮ソケットをご使用下さい。
- ②横主管合流部では、合流継手上流側に伸縮ソケットをご使用下さい。
- ③エルボで伸縮をとる場合、エルボの間隔を1m以内とし、直線部の長さ2m以内を固定支持して下さい。
- ④立て管から脚部継手横主管の近くを固定支持して下さい。

Ⅱ 高温排水用
HTパイプ・継手



●支持金具



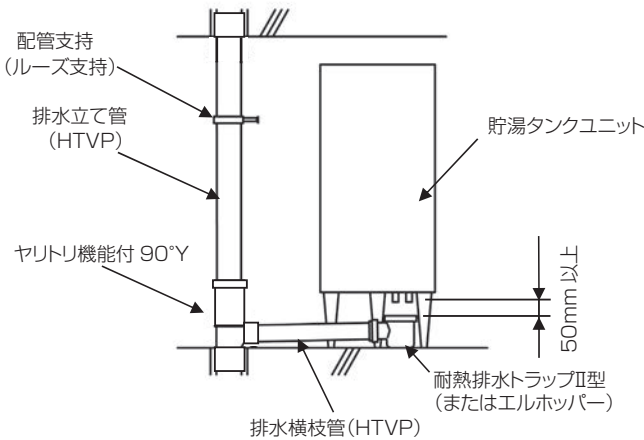
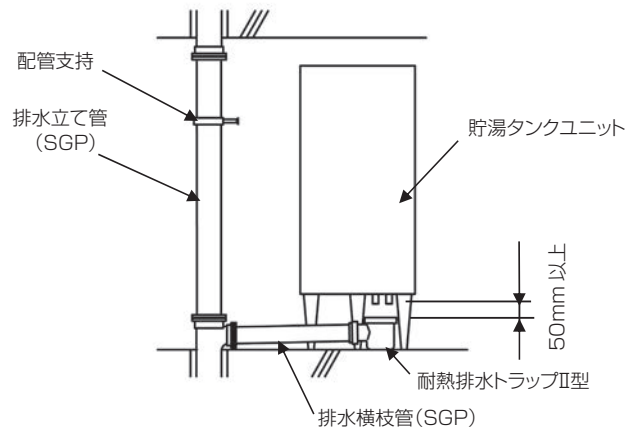
3.4 施工

(1)集合住宅向けの配管施工

1)排水立て管が耐熱塩ビ管(HTVP)の場合

【施工手順】

- ①排水立て管(HTVP)を配管する。
- ②貯湯タンクユニットの設置位置を仮決める。
- ③排水立て管から耐熱塩ビ排水横枝管(HTVP)を配管する。
- ④貯湯タンクユニットを設置する。
- ⑤排水横枝管に耐熱排水トラップⅡ型(またはエルホッパー)を接続する。



b)排水用バルブソケット(HTDV-DVS)を使用する場合

【施工手順】

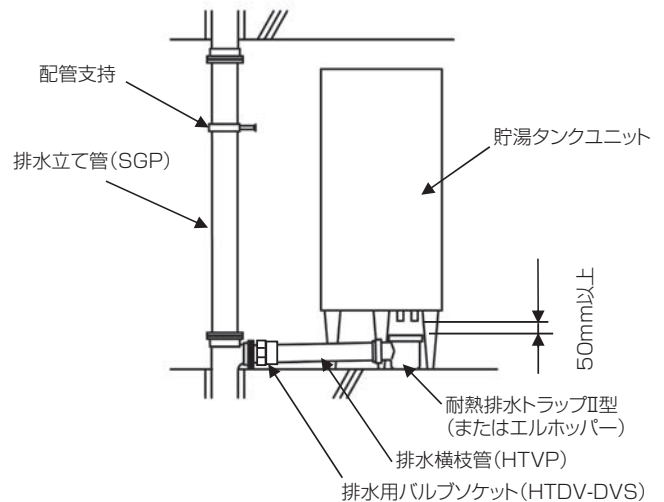
- ①排水立て管(SGP)を配管する。
- ②貯湯タンクユニットの設置位置を仮決める。
- ③排水立て管の分岐側受口にHTDV-DVSを接合し、排水横枝管(HTVP)を配管する。
- ④貯湯タンクユニットを設置する。
- ⑤排水横枝管に耐熱排水トラップⅡ型(またはエルホッパー)を接続する。

2)排水立て管が配管用炭素鋼管(SGP)の場合

a)横枝管は配管用炭素鋼管(SGP)のままで耐熱排水トラップⅡ型のみを使用する場合

【施工手順】

- ①排水立て管(SGP)を配管する。
- ②貯湯タンクユニットの設置位置を仮決める。
- ③排水立て管から排水横枝管(SGP)を配管する。
- ④貯湯タンクユニットを設置する。
- ⑤排水横枝管(SGP)に耐熱排水トラップⅡ型を接続する。



Ⅱ 高温排水用
HTパイプ・継手

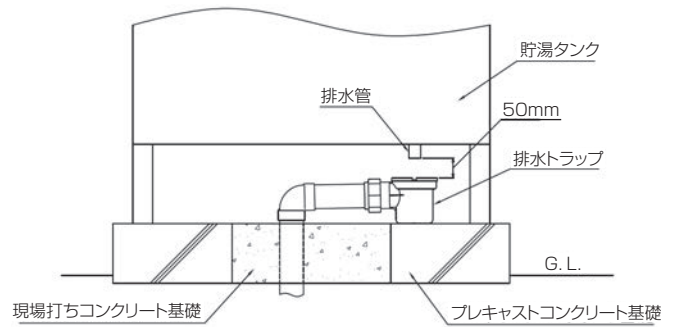
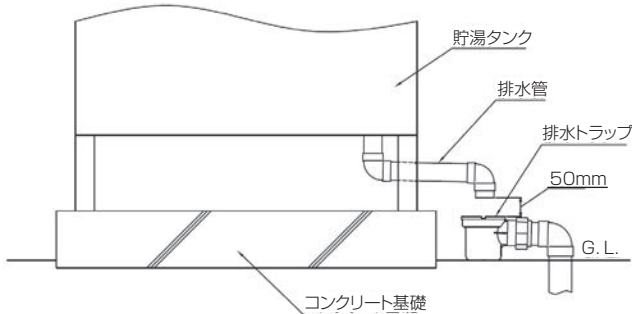
(2) 戸建住宅向けの配管施工

1) 基礎逃がし方式(その1)

・排水管路を貯湯タンク基礎から逃がして配管する一般的な施工方法

【施工手順】

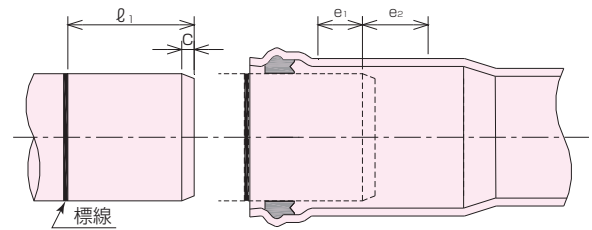
- ①基礎近くに排水管を立ち上げ、排水トラップとの間に50mmの排水口空間ができるように排水トラップと排水管を設置する。



(3) 各配管材料の施工要領

1) HT伸縮ソケットゴム輪受口の施工

- ①HT伸縮ソケットのゴム輪が溝からはずれていない事を確認して下さい。
- ②挿入する管の端部を面取りした後、標線を記入して下さい。(面取り幅および標線位置は下表を参照して下さい。)



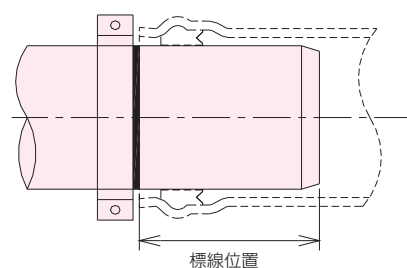
高温排水用HT伸縮継手の形状寸法
(標線位置と熱伸縮受け持ち長さ)

単位：mm

品種	HT-LEST	HTES-C			
		50	75	100	125
口径	75×50	50	75	100	125
ℓ1 (標線位置)	32	100	140	120	165
c (面取り幅)	2	8	11	13	15
e1 (収縮代)	15	20	45	45	45
e2 (伸長代)	100	31	79	79	79
継手1個の受持長[m]	4	4	12	12	12

- ③ゴム輪の表面および管の先端に「専用滑剤[Vスプレー]」を塗布します。
- ④HT伸縮ソケットへ管を挿入し、標線がHT伸縮ソケットの受口端面まで入ったところで止めます。(挿入困難な場合は挿入機をご使用下さい)
下図のように標線部分に吊バンド、または床バンドを取り付けて挿入すると便利です。(バンドが当たるまで挿入します)

ご注意：バンドは挿入後に必ずはずして下さい。

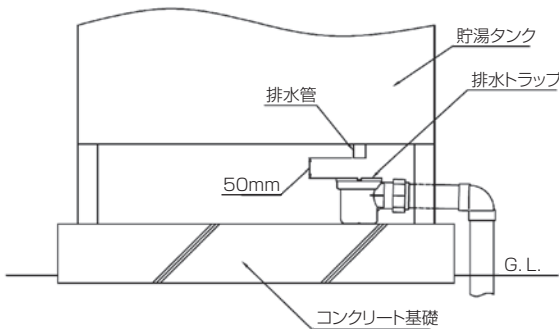


2) 基礎逃がし方式(その2)

・排水管路を貯湯タンク基礎から逃がして配管する施工方法
・排水トラップと貯湯タンクの排水管の間に50mmの排水口空間が確保できる場合のみ適用可能

【施工手順】

- ①基礎近くに排水管を立ち上げる。
- ②貯湯タンクを設置し、排水管の下に排水トラップを設置する。
このとき、排水トラップと排水管の間に50mmの排水口空間があることを確認する。
- ③基礎近くに立ち上がった埋設配管と排水トラップを接合する。



3) 基礎埋め込み方式

・貯湯タンク専用基礎を用いた施工方法で、基礎の中に排水トラップ下流の排水管を埋め込む施工方法
・排水トラップと貯湯タンクの排水管の間に50mmの排水口空間が確保できる場合のみ適用可能

【施工手順】

- ①排水トラップ下流側の排水管を設置する。
- ②タンク用プレキャストコンクリート基礎を設置する。
- ③コンクリート打設。
- ④排水トラップを貯湯タンクの排水管の下に設置する。
- ⑤貯湯タンクの設置。
このとき、タンクの排水管と排水トラップ上部に50mmの排水口空間が確保されていることを確認する。
- ⑥立ち上がった埋設配管と排水トラップを接合する。

⑤HT伸縮ソケットを支持金具(立てバンド等)で支持・固定します。継手本体 又はその下流側にて支持・固定して下さい。支持・固定の際は、HT伸縮ソケットが壁面および床面に接触しないように施工して下さい。

2)ヤリトリ機能付継手 ゴム輪受口の施工

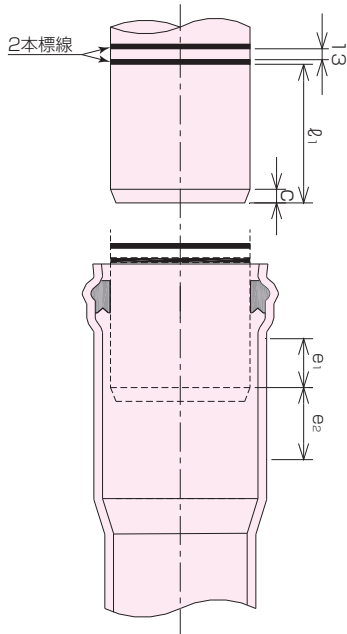
基本は、HT伸縮ソケットゴム輪受口の施工の手順と同様に施工して下さい。

なお、ヤリトリ機能付継手のゴム輪は自己潤滑性ですので専用滑剤は不要です。

3)立て管での施工

基本は、HT伸縮ソケットゴム輪受口の施工の手順と同様に施工して下さい。

なお、熱伸縮受け持ち長さは4mとしています。各階での使用のため、伸縮代に余裕があるため、以下の様に、管端から反対側に13mmのところにもう一本標線を記入し、2本の標線の間に受口管端を合せる事により、2本標線管理をすれば、伸縮量の確保が確実になります。



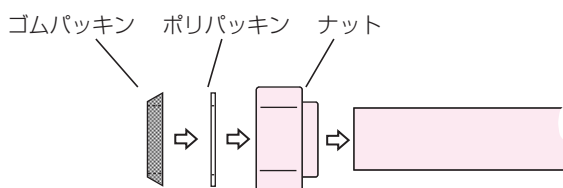
HT伸縮ソケット、ヤリトリ機能付継手の2本標線管理

4)耐熱排水トラップII型の施工および注意事項

a)施工手順

①開封後、本体接続部のナット内に部品ゴムパッキン、ポリパッキン各1個が入っていることを確認して下さい。

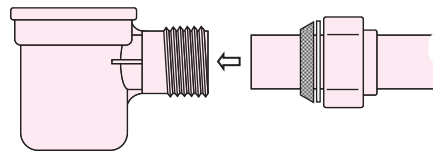
②ゴムパッキン、ポリパッキン、ナットを本体から取り外し、図の通り耐熱塩ビ横枝管(HTVP)または排水用鋼管横枝管(SGP)に部品を取付けます。



⚠注意

- ・ゴムパッキンの向きに注意して下さい。
- ・ポリパッキンは必ず取付けて下さい。
- ・管に傷や汚れのないことを確認して下さい。

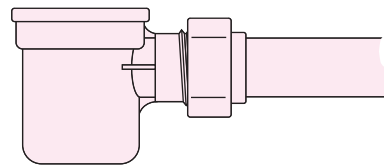
③耐熱塩ビ横枝管(HTVP)または排水用鋼管横枝管(SGP)を本体受口の奥まで差し込みます。



⚠注意

- ・ゴムパッキンにねじれないようにして下さい。
- ・滑剤や接着剤等は使用しないで下さい。
- ・差込み不足のないように接続して下さい。
※50A・40Aとも差し込み長さ40mmとなっております。

④ナットを締め付けて接続を完了します。



⚠注意

- ・締め付けは手で強く締めつけて下さい。
- ・パイレン等の製品を傷つける恐れのある工具は使用しないで下さい。

〈参考：締め付けトルク〉

40A 5 ~ 6N・m(0.51 ~ 0.61kgf・m)

50A 8 ~ 10N・m(0.82 ~ 1.02kgf・m)

b)施工上の注意事項

- ・排水トラップ上部の空間を50mm以上確保して下さい。
- ・タンクからの排水管は、できるだけ排水トラップの中心に持ってくるように配管して下さい。
- ・できる限り設置機器の近くに排水トラップを設置して下さい。
- ・排水トラップは定期的にゴミなどが溜まっていないか点検及び清掃を行って下さい。
- ・排水トラップII型はコンクリートへの埋め込みはできません。

5)耐熱排水エルホッパーの施工および注意事項

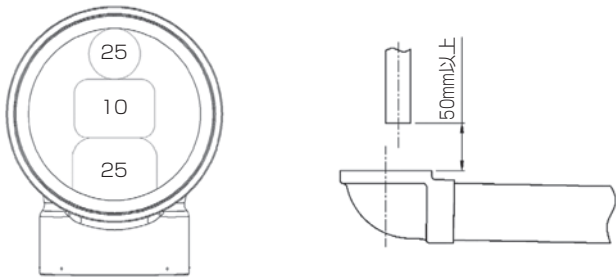
・耐熱排水エルホッパーにはトラップ機能はありませんので別途トラップを設けて下さい。

・耐熱排水エルホッパー上部の空間を50mm以上確保して下さい。

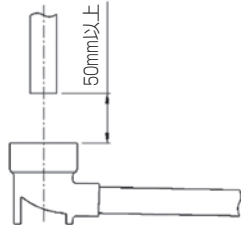
・できる限り設置機器の近くに耐熱排水エルホッパーを設置して下さい。

・耐熱排水エルホッパーはゴミなどが溜まっていないか定期的に点検と清掃して下さい。

・50×20の場合、タンクからの排水管はできるだけ受口の中心に持ってくるように配管して下さい。75×50の場合は排水位置により性能が異なるので、タンクからの排水管は流出側に近い位置に持ってくるように配管して下さい(次頁上図参照)。



耐熱排水エルホッパー 75×50 排水性能と排水位置
(図中の数字は枠内の排水性能[l/min]を示す)



耐熱排水エルホッパー 50×20
排水位置

5) HTDV-DVS(排水用バルブソケット)の 施工および注意事項

a) 施工手順

- ①HTDV-DVSと、ねじ込み式継手のねじ部をウエス等で清掃し、ゴミ、油等をふき取ります。
- ②HTDV-DVSのねじ部に弊社指定の無溶剤のシリコン系シーラント剤を塗布します。

表 弊社指定 無溶剤シリコン系シーラント剤

品名	メーカー
スリーボンド4230	株式会社スリーボンド
ヘルメチックF-119	株式会社ヘルメチック

- ③HTDV-DVSをパイプレンチ等で締め込みます。(標準締め付けトルク 10N・m)
- ④シーラント剤が硬化するまで養生します。

b) 施工上の注意事項

- ・HTDV-DVSはエコキュート・電気温水器排水専用です。厨房排水などの他用途では使用しないで下さい。
- ・ねじ込み式継手との接合には、弊社指定の無溶剤のシリコン系シーラント剤を使用して下さい。シーラントテープでは漏水する恐れがあります。
- ・シーラント剤の詳しい使用方法や注意事項については、各シーラント剤の取扱説明書をご確認下さい。
- ・給水給湯用途など圧力のかかる配管では使用できません。

■HTDVは業務用厨房排水管として 使用しないでください。

厨房機器の一つであるスチームコンベクションオープン(スチコン)などに使用される業務用洗剤には、HT配管材を侵す成分(有機溶剤等)が含まれる場合が多く、配管材に亀裂が発生して漏水事故につながる恐れがあります。
(HTDV継手は、業務用厨房排水管材としては使用できません。)

3.5 耐熱排水トラップの 維持管理について

(1)耐熱排水トラップの使用上の注意事項

- ・耐熱排水トラップには目皿付と目皿なしがあります。使い分けの基準は特になく、ユーザー様の仕様により異なりますが、目皿付の方が維持管理がしやすくなっています。
- ・いずれの排水トラップも、定期的にゴミなどが溜まっていないか点検と清掃をして下さい。
- ・トラップが詰まった場合、(2)の要領でトラップを分解し、内部のゴミ等を取り除いて下さい。

(2)耐熱排水トラップの維持管理方法

- ・トラップが詰まった場合、下記要領でトラップを分解し、内部のゴミ等を取り除いて下さい。

【トラップの分解手順】

- ①目皿を外す(排水トラップには目皿なしもあります)。



- ②防臭パイプを反時計方向に回し、抜く。(パッキンをなくさない様にご注意下さい。)



- ③作業が終わったら、上記と逆の手順でトラップを元の状態に戻して下さい。

Ⅲ

接合用品

目次

- 1. ビニル系接着剤 73
- 2. ビニル系接着剤の使い分け 74
- 3. ゴム輪受口接合用滑剤 74
- 4. 接着剤・滑剤の使用量 74

Ⅳ

接着接合方法

目次

- 1. DV、VU-DVおよびHTDV継手の接着接合方法 75

Ⅲ. 接合用品

1. ビニル系接着剤

⚠ 接着剤を混ぜて使用することは厳禁です。接着剤や溶剤を混ぜて使用した場合、接着力は著しく低下します。

備え付けハケの使用呼び径範囲

缶	呼び径範囲の目安
100g・250g	13~50
500g	13~50
1kg	65~150

※500gのハケは、100g・250gのハケより太くなっています。

タフダイナ青

品番 1039

日本水道協会規格品 JWWA S 101 準拠品

用途 一般接着受口の接合用
性状 低粘度 (A) 速乾性 (粘度 150mPa・s)
色調 無色



100g缶 (ハケ付) 250g缶 (ハケ付) 1kg缶 (ハケ付)

⚠ **注意** ● 乾きやすいため、呼び径200以上の接合には適しません。
 ● HIの接着受口には使用できません。

タフダイナHT

品番 2039

メーカー規格品

用途 HT接着受口の接合用
性状 低粘度速乾性 (粘度 500mPa・s)
色調 無色



100g缶 (ハケ付) 250g缶 (ハケ付) 500g缶 (ハケ付)

⚠ **注意** ● 一般管およびHIの接着受口には使用できません。

(注) タフダイナHTに限り有効期限を缶に表示していますのでご確認ください。

カラータフダイナブルー

品番 1039

メーカー規格品

用途 DV継手、二管路管継手の接合用
性状 低粘度速乾性 (粘度 500mPa・s)
色調 青色



500g缶 (ハケ付) 1kg缶 (ハケ付)

⚠ **注意** ● 呼び径200以上の排水管にはタフダイナ黄をご用意ください。
 ● 水道などの飲料水用管路には絶対に使用しないでください。
 ● 下地材に付着した接着剤は必ず拭き取ってください。接着剤の染料が時間の経過とともにシートを浸透し青い染料がシート表面に浮き出します。

カラータフダイナブルー 150N

品番 1039

メーカー規格品

用途 DV継手、二管路管継手の接合用
性状 低粘度速乾性 (粘度 150mPa・s)
色調 青色



500g缶 (ハケ付)

⚠ **注意** ● 呼び径200以上の排水管にはタフダイナ黄をご用意ください。
 ● 水道などの飲料水用管路には絶対に使用しないでください。
 ● 下地材に付着した接着剤は必ず拭き取ってください。接着剤の染料が時間の経過とともにシートを浸透し青い染料がシート表面に浮き出します。

タフダイナ黄

品番 1039

メーカー規格品

用途 一般接着受口の接合用 (呼び径200以上用)
性状 高粘度遅乾性 (粘度 1,000mPa・s)
色調 無色



1kg缶 (ハケ付)

3kg缶

⚠ **注意** ● 水道などの飲料水用管路には絶対に使用しないでください。
 ● 大口径の場合には、缶から別の金属容器に必要分だけ取出し、大きめのハケで塗布してください。

2. ビニル系接着剤の使い分け

◎推奨 ×使用不可

管路区分 用途区分	無圧管路 排水・通気		
管種製品区分	HT管系	一般管系	
呼び径区分	150以下	150以下	200以上(注1)
タフダイナ青	×	◎	×(注2)
タフダイナHT	◎(注3)	×	×
カラータフダイナブルー	×	◎	×(注2)
タフダイナ黄	×	×	◎

注1. 呼び径200以上の大口径の場合には、缶から別の金属容器に必要分だけ取出し、大きめのハケで塗布してください。

注2. 「タフダイナ青」と「カラータフダイナブルー」は乾きやすい為、呼び径200以上の大口径の接着接合には適しません。

注3. エコキュート高温排水管などで、HT-DVと一般管とを接合する場合には「タフダイナHT」をご使用ください。

3. ゴム輪受口接合用滑剤

Vソープ 品番 7000 メーカー規格品



1kg樹脂容器 (ハケ付)



2kg樹脂容器

用途 ゴム輪受口接合用

性状 液状

主成分 カリ石けん

※HTDV継手の伸縮ソケット (HTES-C) にはVスプレーをご使用ください。

Vスプレー 品番 7000 メーカー規格品



340ml

用途 ゴム輪受口接合用

性状 スプレー状

主成分 シリコンオイル

4. 接着剤・滑剤の使用量

※1. ここでの使用量は目安を示す参考数値です。発注時には現場のロスを見込んで2~3割多めにしてください。

2. 各数値は受口、挿し口両面塗布1ヶ所あたりの使用量です。

ビニル系接着剤の使用量(参考数値)

DVおよびHTDV受口の場合

g / 1ヶ所

呼び径	20	25	30	40	50	65	75	100	125	150	200	250	300	350	400
タフダイナ青	—	—	3	4	5	7	10	15	20	30	—	—	—	—	—
カラータフダイナブルー	—	—	3	4	5	7	10	15	20	30	—	—	—	—	—
タフダイナHT	0.8	1.1	—	4	5	—	10	15	—	—	—	—	—	—	—
タフダイナ黄	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	55	90	125	175	220

備考 HTDV受口にはタフダイナHT以外の接着剤は使用できません。

ゴム輪受口接合用滑剤の使用量(参考数値)

g / 1ヶ所

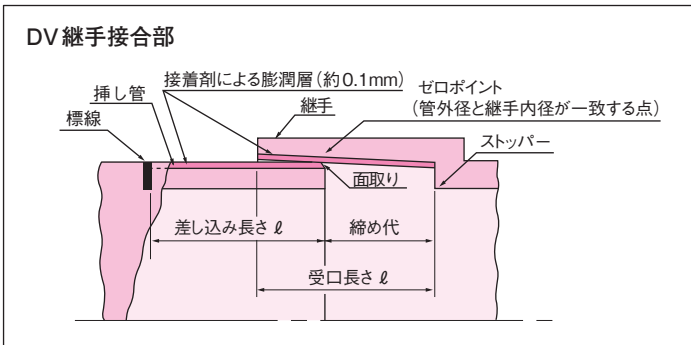
呼び径	40	50	65	75	100	125	150	200	250	300
Vソープの使用量	5	5	6	7	10	15	20	25	35	50

ヶ所 / 缶

呼び径	40	50	65	75	100	125	150	200	250
Vスプレー 1缶当たりの接合ヶ所数	110ヶ所	90ヶ所	70ヶ所	60ヶ所	50ヶ所	40ヶ所	35ヶ所	23ヶ所	15ヶ所

1. DV、VU-DVおよびHTDV継手の接着接合方法

1.1 接着接合方法について



⚠ 注意 DV、VU-DVおよびHTDV継手は圧送用としては使用しないでください。

- DV、VU-DVおよびHTDV継手の接着接合方法は、一般にTS接合と呼ばれ、受口をテーパにして、接着剤による塩ビの膨潤と塩ビの弾力性を利用したものです。
- ビニル系接着剤をパイプと継手に塗れば、その表面に厚さ約0.1mmの膨潤層が形成されます。この層によりパイプはスムーズに挿入できます。挿し込み後、パイプと継手の各膨潤層がからみ合い、接合面を一体溶着させて高い水密性をもたらします。
- DV継手は、圧力管用継手に比べ、受口長さを短くし、テーパを緩くしているため、パイプは継手のストッパーまで確実に差し込み、段差が生じません。なお、呼び径が大きくなるに連れ、人力では奥まで入りづらくなります。またVU-DV継手はDV継手よりテーパがきつく、挿入抵抗が大きくなります。その場合は挿入機をご使用ください。

1.2 切断・面取り

①寸法出しは、継手の受口長さなどを考慮して行ってください。切断線は、切断面が管軸に対して直角になるように注意して、油性ペンなどで全周に記入します。幅のひろいテープなどを利用すれば確実に行えます。

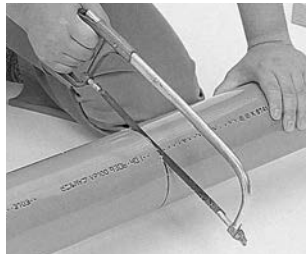


③切断面に生じたバリ・カエリは、ヤスリで平らに仕上げます。また、外周は面取り機またはヤスリで面取りしてください。

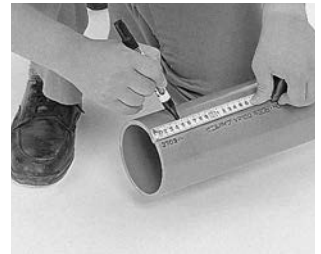


面取り代(目安)		
呼び径	20~40	50, 65
面取り代	1mm	2mm
呼び径	125, 150	200~400
面取り代	4mm	5mm

②切断には、目の細かい鋸を用います。部分的に切込まずに、管を回しながら切断線に沿って全周に均等鋸をいれてください。



④管端の仕上げが済めば、継手受口長さを測り、油性ペンなどで標線を記入してください。



1.3 接着接合

①受口内面と挿し口外面を、乾いたウエスできれいにします。油などが付着している場合は、エタノールなどで必ずふき取ってください。この時、管端の仕上げと挿し込長さを示す標線の記入が行われているか確認してください。



②接着剤を、まず継手内面に、次に管挿し口に薄く均一に塗布します。呼び径が大きい場合は、接着剤を別の金属容器に必要分だけ取り出し、大きな刷毛を用いれば作業能率があがります。その際の刷毛は動物毛を使用してください。プラスチック製は溶けて接着力を低下させます。



③接着剤の塗布が終了後、直ちに管を継手受口に軽く入れ、管軸を合わせたのち、一気に標線まで差し込みます。呼び径が大きい場合は、作業は2人で行い、管を継手ストッパーまで確実に挿入してください。たたき込みによる挿入は避けてください。

④挿し込み後すぐ力を抜くと、受口内面のテーパの影響で抜け出ることがあります。必ず挿し込力を保持してください。保持時間は、接着剤の塗布量・寸法許容差や接合時の気温などによって異なりますが、標準時間は表のとおりです。なお、接合後はみだした接着剤は、直ちにふき取ってください。



DV、VU-DVおよびHTDV継手の接着接合の標準保持時間

呼び径	150以下	200以上
保持時間	夏期 30秒以上 冬期 60秒以上	夏期 1分以上 冬期 3分以上

備考 呼び径200以上の場合、大口径用高粘度遅乾性接着剤「タフライン黄」の使用が標準ですので保持時間は長くなります。

参考資料

I

排水用途塩ビ管の特性、性能、使用範囲 ならびに施工にかかわる試験について

目次

1. 排水用塩ビ管の特性	77
1.1 VP、VU、HT-VPの一般的性質	77
1.2 VP、VU、HT-VPの耐薬品性(無圧)	77
2. 排水用塩ビ管・継手の性能	78
3. 排水用塩ビ管・継手の使用温度範囲と使用圧力範囲について	78
4. 汚水・雑排水通気系統の試験について	78

II

使用上の注意事項

目次

1. 製品の使用に関する注意点	79
2. 運搬上の注意点	79
3. 保管上の注意点	79
4. 施工上の注意点	80
5. 塩ビ管用接着剤の取扱い上の注意点	81

I. 排水用途塩ビ管の特性、性能、使用範囲ならびに施工にかかわる試験について

排水用塩ビ管は排水用鋼管に比べ、“錆びない”、“軽い”、“安価”などの長所の反面、“外力に弱い”、“高温で軟化、低温で脆化する”、“紫外線で変色・劣化する”、“有機溶剤などの一部薬品に侵される”などの短所があります。従いまして、その長所・短所を考慮した適材適所の設計が必要であり、ここでは、その長所・短所を具体的な

数値で示した「特性」「性能」「使用範囲」を以下に示しますので、ご利用ください。
また、(公社)空気調和・衛生工学会規格SHASE-S206_2019に記載の「汚水・雑排水通気系統の試験」を紹介します。

1. 排水用塩ビ管の特性

1.1 VP、VU、HT-VPの一般的性質

	項目	単位	VP、VU	試験方法	HT	試験方法
物理的性質	色	—	灰色	—	茶色	—
	比重	—	1.43	JIS K 7112 浮沈法 20℃	1.48	ASTM D 792 20℃
	かたさ	ロックウェルR	115	ASTM D 785 20℃	140	JIS K 7202 20℃
機械的性質	吸水率	常温 1週間mg/cm ²	0.15以下	—	0.15以下	—
	引張強さ	MPa	45	JIS K 6815 23℃	50	JIS K 6815 23℃
	縦弾性係数	MPa (kgf/cm ²)	2942(3×10 ⁴)	JIS K 7161 20℃	2942(3×10 ⁴)	ASTM D 747 20℃
	破断時伸び	%	50~150	JIS K 6815 23℃	40~80	JIS K 6815 23℃
	曲げ強さ	MPa (kgf/cm ²)	78.5~98.1(800~1000)	JIS K 7171 20℃ 65%RH	89(900)	ASTM D 970 20℃
	曲げ弾性係数	MPa (kgf/cm ²)	2746(2.8×10 ⁴)	JIS K 7171 20℃ 65%RH	—	—
	圧縮強さ	MPa (kgf/cm ²)	69(700)	JIS K 7181 20℃ 65%RH	69(700)	ASTM D 695 20℃
	ポアソン比	—	0.35~0.40	—	0.38	—
熱的性質	衝撃強さ(シャルピー)	kJ/m ² (kgf·cm/cm ²)	6.9~9.8(7~10)	JIS K 7111 20℃	7.84(8.0)	ASTM D 256 20℃
	ビカット軟化温度	℃	76以上	JIS K 6816	95以上	JIS K 6816
	線膨張係数	1/℃	6~8×10 ⁻⁵	—	6~8×10 ⁻⁵	—
	比熱	J/(kg·K) (cal/g·℃)	1.05×10 ³ (0.25)	—	1.05×10 ³ (0.25)	—
電気的性質	熱伝導係数	W/(m·K) (kcal/m·h·℃)	0.15(0.13)	DIN 8061	0.14(0.12)	DIN 8061
	燃焼性	—	自己消火性	—	自己消火性	—
	耐電圧	kV/mm	40以上	—	40以上	—
	体積固有抵抗	Ω cm	5.3×10 ¹⁵	30℃ 65%RH	5.3×10 ¹⁵	ASTM D 257
	誘電率 60Hz	—	3.2	30℃ 55%RH	3.2	ASTM D 150
電気的性質	// 10 ³ Hz	—	3.1	—	—	—
	// 10 ⁶ Hz	—	3.0	—	—	—
	力率 60Hz	10 ²	1.18	30℃ 55%RH	—	—
	// 10 ³ Hz	10 ²	1.91	—	—	—
	// 10 ⁶ Hz	10 ²	1.72	—	—	—

備考 上表の数値は標準値を示します。

1.2 VP、VU、HT-VPの耐薬品性(無圧)



表中の耐薬品性は参考であり、薬液配管等に使用する場合は、弊社までご相談ください。

薬品名	濃度	温度・管種								薬品名	濃度	温度・管種																
		20℃		35℃		60℃		80℃				20℃		35℃		60℃		80℃										
		VP、VU	HTVP	VP、VU	HTVP	VP、VU	HTVP	HTVP	VP、VU			HTVP	VP、VU	HTVP	VP、VU	HTVP	VP、VU	HTVP	HTVP									
有機溶剤	塩酸	10%以下	○	△	○	△	○	△	×	アセトン	有機溶剤	50%以下	○	△	○	△	○	△	×	エチルアルコール	50%以下	○	△	○	△	○	△	×
		10~25%	○	△	○	△	○	△	×	ケトン類		96%	○	△	○	△	○	△	×	ブチルアルコール	50%以下	○	△	○	△	○	△	×
		25~37%	○	×	○	×	○	×	×	メチルアルコール		40%以下	○	△	○	△	○	△	×	アニリン	50%以下	○	△	○	△	○	△	×
		37%以上	△	×	×	×	×	×	×	エチルエーテル		50%以下	○	△	○	△	○	△	×	ベンゼン	50%以下	○	△	○	△	○	△	×
		50%以下	△	×	○	×	○	×	×	四塩化炭素		40%以下	○	△	○	△	○	△	×	トリクロロメタン(クロロホルム)	50%以下	○	△	○	△	○	△	×
	硫酸	50~70%	△	×	△	×	△	×	×	酢酸エチル		40%以下	○	△	○	△	○	△	×	二硫化炭素	50%以下	○	△	○	△	○	△	×
		70%以上	△	×	△	×	△	×	×	ホルマリン		50%以下	○	△	○	△	○	△	×	アセトアルデヒド	50%以下	○	△	○	△	○	△	×
		30%以下	○	×	○	×	○	×	×	グリセリン		50%以下	○	△	○	△	○	△	×	グーデル	50%以下	○	△	○	△	○	△	×
		30~55%	○	×	○	×	○	×	×	芳香族炭化水素		50%以下	○	△	○	△	○	△	×	クレゾール水溶液	50%以下	○	△	○	△	○	△	×
		55~65%	△	×	△	×	△	×	×	ラッカーシンナー		50%以下	○	△	○	△	○	△	×	ヘキサ	50%以下	○	△	○	△	○	△	×
	アルカリ	フッ化水素酸	10%以下	○	×	○	×	○	×	トリエチルアミン		50%以下	○	△	○	△	○	△	×	ブチルカルビトール	50%以下	○	△	○	△	○	△	×
			10~40%	○	×	○	×	○	×	プロピレングリコール		50%以下	○	△	○	△	○	△	×	エチレングリコール	50%以下	○	△	○	△	○	△	×
			40%以上	×	×	×	×	×	×	エタノールアミン		50%以下	○	△	○	△	○	△	×	塩素ガス 乾性	50%以下	○	△	○	△	○	△	×
			60%以下	○	○	○	△	○	×	芳香族炭化水素		50%以下	○	△	○	△	○	△	×	塩素ガス 湿性	50%以下	○	△	○	△	○	△	×
			60~95%	○	×	○	×	○	×	アンモニアガス		50%以下	○	△	○	△	○	△	×	酸化水素	50%以下	○	△	○	△	○	△	×
ギ酸		0~50%	○	△	○	×	○	×	ガソリン	50%以下	○	△	○	△	○	△	×	石	50%以下	○	△	○	△	○	△	×		
		50~80%	○	×	○	×	○	×	油・脂肪	50%以下	○	△	○	△	○	△	×	油	50%以下	○	△	○	△	○	△	×		
		80%以上	△	×	△	×	△	×	オリーブ油	50%以下	○	△	○	△	○	△	×	過マンガン酸カリウム	50%以下	○	△	○	△	○	△	×		
		0~25%	○	△	○	×	○	×	海	50%以下	○	△	○	△	○	△	×	防	50%以下	○	△	○	△	○	△	×		
		25~60%	○	×	○	×	○	×	藻	50%以下	○	△	○	△	○	△	×	水	50%以下	○	△	○	△	○	△	×		
その他	60%以上	△	×	×	×	△	×	オゾン水	50%以下	○	△	○	△	○	△	×	防	50%以下	○	△	○	△	○	△	×			
	過酸化水素水	○	×	○	×	○	×	水	50%以下	○	△	○	△	○	△	×	水	50%以下	○	△	○	△	○	△	×			
	ポリ塩化アルミニウム(PAC)	○	△	○	△	○	×	防	50%以下	○	△	○	△	○	△	×	水	50%以下	○	△	○	△	○	△	×			
	ポリ硫酸第二鉄	○	△	○	△	○	×	水	50%以下	○	△	○	△	○	△	×	水	50%以下	○	△	○	△	○	△	×			
	塩化第二鉄	○	△	○	△	○	×	水	50%以下	○	△	○	△	○	△	×	水	50%以下	○	△	○	△	○	△	×			
硫酸アルミニウム	○	×	○	×	○	×	水	50%以下	○	△	○	△	○	△	×	水	50%以下	○	△	○	△	○	△	×				
アルカリ	水酸化ナトリウム(苛性ソーダ)	10%以下	○	×	○	×	○	×	水	50%以下	○	△	○	△	○	△	×	水	50%以下	○	△	○	△	○	△	×		
		10~50%	○	×	○	×	○	×	水	50%以下	○	△	○	△	○	△	×	水	50%以下	○	△	○	△	○	△	×		
		50%以上	△	×	△	×	△	×	水	50%以下	○	△	○	△	○	△	×	水	50%以下	○	△	○	△	○	△	×		
	水酸化カルシウム(苛性カリ)	50%以下	○	△	○	×	○	×	水	50%以下	○	△	○	△	○	△	×	水	50%以下	○	△	○	△	○	△	×		
		50%以下	○	△	○	×	○	×	水	50%以下	○	△	○	△	○	△	×	水	50%以下	○	△	○	△	○	△	×		
有機溶剤	次亜塩素酸ソーダ(次亜塩素酸ナトリウム)	10%以下	○	○	○	○	○	×	水	50%以下	○	△	○	△	○	△	×	水	50%以下	○	△	○	△	○	△	×		
		10~25%	○	×	○	×	○	×	水	50%以下	○	△	○	△	○	△	×	水	50%以下	○	△	○	△	○	△	×		
		25~50%	○	×	○	×	○	×	水	50%以下	○	△	○	△	○	△	×	水	50%以下	○	△	○	△	○	△	×		
50%以上	△	×	△	×	△	×	水	50%以下	○	△	○	△	○	△	×	水	50%以下	○	△	○	△	○	△	×				
有機溶剤	クロロメタン(塩化メチル)	50%以下	×	×	×	×	×	×	水	50%以下	○	△	○	△	○	△	×	水	50%以下	○	△	○	△	○	△	×		
		50%以下	×	×	×	×	×	×	水	50%以下	○	△	○	△	○	△	×	水	50%以下	○	△	○	△	○	△	×		
		50%以下	×	×	×	×	×	×	水	50%以下	○	△	○	△	○	△	×	水	50%以下	○	△	○	△	○	△	×		

備考 ○：全くあるいはほとんど影響を受けない ○：若干の影響を受ける △：影響を受ける ×：著しく影響を受ける

2. 排水用塩ビ管・継手の性能

各塩ビ管・継手の主要性能である引張り降伏強さ、耐熱性(ピカット軟化温度)および耐圧性は以下の通り

塩ビ管・継手の品種	規格	性能項目	性能
タフカラー硬質ポリ塩化ビニル管 VP、VU 硬質ポリ塩化ビニル管 VP、VU	日本産業規格 JIS K 6741_2016	引張降伏強さ	23℃において45MPa以上
		ピカット軟化温度	76℃以上
		耐圧性 (VP)2.5MPa×1分間保持 (VU)1.5MPa×1分間保持	破損があってはならない。
リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 RF-VP	日本産業規格 JIS K 9798_2006	外層及び内層の引張降伏強さ	23℃において45MPa以上
		外層及び内層のピカット軟化温度	76℃以上
		耐圧性 0.35MPa×1分間保持	破損があってはならない。
排水用硬質ポリ塩化ビニル管継手 DV	日本産業規格 JIS K 6739_2016 AS64_2019	引張降伏強さ	23℃において45MPa以上
		ピカット軟化温度	76℃以上
		耐圧性 0.35MPa×1分間保持	破損があってはならない。
硬質塩化ビニル管排水継手 屋外排水設備用硬質塩化ビニル管継手 VU-DV	塩化ビニル管・ 継手協会規格 AS 12_2019 AS 38_2018	引張降伏強さ	23℃において45MPa以上
		ピカット軟化温度	76℃以上
		耐圧性 0.35MPa×1分間保持	破損があってはならない。
耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管 HT タフカラー耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管 HT	日本産業規格 JIS K 6776_2016 メーカー規格	引張降伏強さ	23℃において50MPa以上
		ピカット軟化温度	95℃以上
		耐圧性 4MPa×1分間保持	破損があってはならない。
高温排水用耐熱性 硬質ポリ塩化ビニル管継手 HT-DV	メーカー規格	引張降伏強さ	23℃において50MPa以上
		ピカット軟化温度	90℃以上
		耐圧性 0.35MPa×1分間保持	漏れ、その他の欠点がないこと。

参考 1. 圧力単位の換算率：1MPa=10.2kgf/cm²

3. 排水用塩ビ管・継手の使用温度範囲と使用圧力範囲について

塩ビ管の品種	主要な継手	用途	使用温度範囲	使用圧力範囲
タフカラー硬質ポリ塩化ビニル管 VP	タフカラー-DV継手	雨水排水用 汚水・雑排水用	5～60℃	無圧・自然流下
硬質ポリ塩化ビニル管 VP	DV継手			
タフカラー硬質ポリ塩化ビニル管 VU	タフカラー-VU-DV継手			
硬質ポリ塩化ビニル管 VU	VU-DV継手			
タフカラー耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管 HT	タフカラー-HTDV継手	エコキュート・家庭食洗機 高温排水用	5～90℃	無圧・自然流下
耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管 HT	HTDV継手			

(注) 1. 塩ビ管の温度差による線膨張係数は、銅管・鋼管の4～6倍です。従いまして、塩ビ排水管には伸縮処理が重要です。

2. 業務用厨房排水配管にHT管材は使用できません。(多くの業務用洗剤は、HT管材を侵す成分を含有するため)

3. 塩ビ管の敷地内地下埋設深さは、車両道路では管の上端より0.6m以上、それ以外では0.3m以上としてください。ただし、寒冷地では凍結深度以上としてください。

4. 汚水・雑排水通気系統の試験について

(公社)空気調和・衛生工学会規格 SHASE-S 206_2019「給排水衛生設備基準・同解説」に以下の基準が示されています。
「建物内汚水・雑排水通気系統の配管工事の一部又は全部が完

了したときには、満水試験又は気圧試験を行う。なお、汚水・雑排水通気系統の全部が完了した後は、通水試験を行う。」
なお、各試験ごとの試験要領は以下の通り。

試験項目	試験要領
(1) 満水試験	(a) 試験対象部分の最高開口部を除き、他の開口部を全て密閉した後、管内を満水にし、漏水の有無を検査する。 (b) 満水試験の代わりにポンプを用い、水圧試験として行っても差し支えない。 (c) 試験圧力は最小30kPaとし、その保持時間は最小30分とする。 (d) 部分試験を行う場合は、系統中の最高部から下へ3mまでの配管を除き、いかなる部分も30kPa未満の水圧で試験してはならない。なお、試験の最高開口部以下3mまでの部分は、次の上位の部分試験の対象部に組み入れ、最小30kPaの水圧を受けるように、再び試験をする。
(2) 水圧試験	排水ポンプの吐き出し管の試験圧力は、配管の最低部において、設計図書記載のポンプ揚程の最小2倍とし、その保持時間は最小60分とする。ただし、最小0.2MPaとする。
(3) 気密試験	(a) 空気圧縮機又は試験機を排水管の適切な箇所に接続し、開口部を全て密閉した後、管内に空気圧をかけ、空気の漏れの有無を検査する。 (b) 試験圧力は最小35kPaとし、その保持時間は最小15分とする。
(4) 通水試験	通水試験は、各器具の使用状態に適応した水量で排水し、系統の異常の有無を検査する。

参考 1. 圧力単位の換算率：1MPa=1000kPa=10.2kgf/cm²

Ⅱ. 使用上の注意事項

ここでは、クボタケミックスビニルパイプおよび継手の性能を十分に発揮させるために、注意すべき事柄や禁止事項について項目別に説明しています。各種管材を適切かつ安全に使用するためにも、一度よくお読みになり、必要のつど安全マニュアルとしてご活用ください。

●お守りください。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。



行ってはいけない「禁止」の内容です。



必ず実行していただく「強制」の内容です。

1. 製品の使用に関する注意点



他用途への使用は禁止

流体輸送用途以外には使用しないでください。



現場焼却の禁止

塩ビ管・継手は、現場焼却しないでください。有害な塩素ガスが発生し、たいへん危険です。



法令に従った処理を

塩ビ管・継手の残材や使用後の廃材の処分は、法令および地方自治体の条例にしたがって行ってください。また、残材や廃材はハンマーなどで碎かないでください。破片が飛散し危険です。

2. 運搬上の注意点



手袋を着用

作業時は、けが防止のために、必ずすべりにくいゴム引き手袋を着用してください。



安易な荷扱いは危険です

塩ビ管は、大口径管あるいは管の結束単位によっては重くなります。ケガ防止のために、荷扱いにはくれぐれもご注意ください。安易に扱うと危険です。



取り扱いがていねいに

トラックへの積み込み、積み降ろし時は、塩ビ管を投げ込んだり、引きすったりしないでください。管の傷つき、破損防止、ケガ防止のためにていねいに扱ってください。



管の上には乗らない

管の上には乗らないでください。塩ビ管の表面はすべりやすく、事故の原因になります。



クッション材を活用

管の傷つき、変形防止のために、トラックの荷台との接触部、ロープの固定部などには、クッション材をあててください。



運送中の荷くずれ防止

ロープのゆるみやはずれによる管の落下等に充分注意してください。



管の吊り上げ吊り下ろしに注意

クレーン付トラックなどを使用するときは、ケガ防止のために吊りバランスに注意してください。

3. 保管上の注意点



屋内に横置き

塩ビ管の反り、変形などを防止するために、井げた積み、または千鳥積みにして保管してください。また、端部には必ず荷くずれ防止の端止め材を施してください。



屋外保管の場合

屋外で保管する場合は、塩ビ管の反りや変形などを防止するために、簡単な屋根を設けるか、不透明シートをかけて直射日光を避けるようにしてください。シートがけの場合は、風通しがよくなるように注意してください。



立てかけ保管の場合

やむをえず立てかけ保管する場合は、安全確保のために、ロープがけなどの転倒防止策を施してください。



継手の保管

継手の保管も管と同様に屋内保管とし、やむをえず屋外保管する場合は、シートを掛けて保護してください。とくにゴム輪製品については、直射日光が当たるとゴム輪が劣化するので、必ず覆いを掛けてください。

4. 施工上の注意点

施工にあたっては、作業の安全性とパイプラインとしての性能を確保するために、当社の推奨する標準施工法にしたがって施工してください。施工条件などにより、これにしたがえない場合は、当社にお問い合わせください。

- ❗ 適切な工具の使用**

正しい施工と安全のために、切断・せん孔・接合などの作業に用いる工具は、適切な仕様品を選択してください。また、それぞれの取扱説明書の内容を充分理解した上で使用してください。
- ❗ 保護断熱カバーの設置**

高熱による管の変形や破損を防止するために、スチーム配管や熱湯配管との近接配管は避けてください。やむをえず近接させる場合には、保護断熱カバーを巻くなどの処置を行ってください。
- ❗ 接着接合後の換気**

接着接合時は、接合後の管路内の換気を充分行ってください。接合後、管路を密閉状態にすると、ソルベントクラッキングや異臭味の原因になります。ソルベントクラッキングとは接着剤中の残存溶剤蒸気によって塩ビ管に小さな亀裂が発生する現象です。異臭味とは、飲料用配管において、その流体に溶剤臭が接触し、その臭いや味に支障がでる現象です。とくに冬季配管時は溶剤が蒸発しにくく残存しやすいので、ご注意ください。
- ❗ 管の占有に関する取扱い**

公道下に埋設する場合は、道路管理者の埋設基準並びに指示にしたがってください。また、河川の伏せ越し配管や軌道下の横断配管についても、それぞれの管理者の指示にしたがってください。
- ⊘ 有機薬品に注意**

塩ビ管・継手は、有機薬品に対して材質的に侵される恐れがあります。クレオソート(材木用防腐剤)、白アリ駆除剤、殺虫剤、塗料に接触させないでください。配管経路でこれらによる土壌汚染が予想される場所では、迂回配管などの汚染防止対策を施してください。
- ❗ 凍結防止について**

寒冷地での埋設管は、最大凍結深度よりさらに20 cm深く施工してください。
- ⊘ 小口径管の切断**

小口径管の切断にはパイプカッターを使用しないでください。管の切断部に欠けや変形を生じる恐れがあります。
- ⊘ 塩ビ管・継手のねじ切りの禁止**

塩ビ管・継手に直接ネジを切っただけではいけません。塩ビ管はノッチ効果が大きいため、亀裂や切り欠きがあると強度が低下します。
- ❗ 熱伸縮処理**

接着接合配管では、熱伸縮による管の抜けや破損を防止するために伸縮継手を設置してください。
- ⊘ 塩ビ管・継手のねじ切りの禁止**

塩ビ管・継手に直接ネジを切っただけではいけません。塩ビ管はノッチ効果が大きいため、亀裂や切り欠きがあると強度が低下します。
- ❗ 接着接合時の注意**

DVおよびVU-DV接着接合の場合は継手受口奥のストッパー部まで挿入してください。
- ⊘ 生曲げの禁止**

管の生曲げは行わないでください。管の生曲げを行うと歪み残り、破損事故の原因となる恐れがあります。曲がり配管を行う場合は、必ず(バンドなど)を使用してください。
- ❗ ゴム輪接合には専用の滑剤を**

ゴム輪接合時は、専用の滑剤を使用してください。接着剤や油、グリスはゴム輪を傷める恐れがありますので、絶対に使用しないでください。
- ⊘ コンクリートやモルタルでの巻き立て**

管をコンクリートやモルタルで巻き立てる場合は、硬化時の温度が60℃を越えないよう注意してください。60℃を越えた場合、管が軟化し変形を起こす場合がありますのでご注意ください。
- ❗ 露出配管の変色に関する注意**

硬質ポリ塩化ビニル管(サマーバージョンを含む)を雨水立とい等の露出配管に使用すると、塩ビ管製品表面部にチョーキングやヤケといった変色現象(白色や薄茶色)が発生することがあります。よって、以下のような耐候劣化の防止対策を施すか、耐候性カラーパイプ(タフカラーパイプ)をお奨めします。

 - ①屋外配管の外表面に耐候性の塗装を施す。
 - ②屋外配管の外表面に防護カバーを付ける。
- ⊘ 現場での加熱加工は禁止**

施工現場での管の加熱加工は、決して行わないでください。管が焦げたり焼けたりして、強度が低下する恐れがあります。

5. 塩ビ管用接着剤の取扱い上の注意点



他用途への使用は禁止

塩ビ管用接着剤や樹脂系接合剤は、塩ビ管・継手の接合用として開発されたものです。他の用途に流用しないでください。



接着剤の使い分け

接着剤には一般材質用と、HI材質用およびHT材質用とがあり、各々の管ならびに継手の接合強度が適切になるよう配慮されています。したがって、その管の材質に適合する接着剤を使い分ける必要があります。



目に入ったら

誤って目に入った場合は、こすったりしないですみやかに医師の診断を受けてください。



保管は法令に従って

接着剤は消防法の危険物に該当します。保管にあたっては法令および市町村条例を守ってください。



換気・火気に注意

有機系溶剤による中毒と火災を防止するために、作業現場では換気に注意し、火気をさけてください。



手袋の着用を

かぶれ・ただれを防ぐために手袋を着用し、直接皮膚に触れないように注意してください。万一皮膚に触れた場合は、すみやかに石鹸と水で洗い落としてください。



手洗いとうがい

使用後は、手洗いとうがいを充分に行ってください。



火気をさけて冷暗所に

接着剤には有機溶剤が含まれています。使用後は、缶のふたをしっかりと閉め、火気をさけて屋内の冷暗所に保管してください。



古くなったら使わない

古くなってゼリー状や溶剤の刺激臭がしない接着剤は使用しないでください。また、シンナーなどでうすめて使用することはさけてください。接着効果が低下し、配管の抜けや漏水の原因になります。



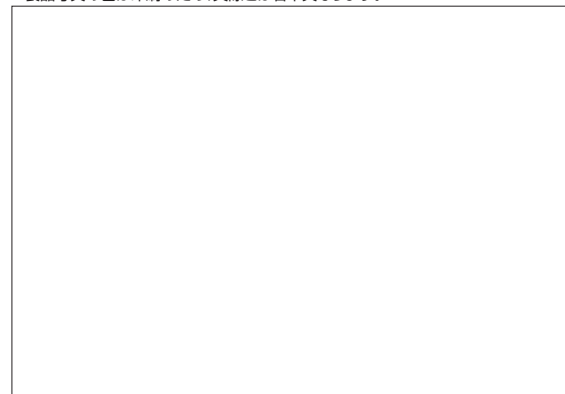
安衛法「有機則」に従って

屋内などの囲まれた中での接著作業は、労働安全衛生法「有機溶剤中毒予防規則」に従ってください。

株式会社クボタケミックス

本 社 ☎661-8567 尼崎市浜一丁目1番1号 ☎(06)6470-5970
東京本社 ☎104-8307 東京都中央区京橋二丁目1番3号 ☎(03)3245-3085
北海道支店 ☎060-0003 札幌市中央区北三条西三丁目1番54 ☎(011)214-6291
東北支店 ☎980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目6番1号 ☎(022)267-8955
中部支店 ☎450-0002 名古屋市中村区名駅三丁目22番8号
中四国支店 ☎732-0057 広島市東区二葉の里三丁目5番7号 ☎(082)207-0596
九州支店 ☎812-0011 福岡市博多区博多駅前三丁目2番8号 ☎(092)473-2453
北陸営業所 ☎920-0022 金沢市北安江一丁目11番7号 ☎(076)223-2520
四国営業所 ☎760-0050 高松市亀井町2番地1 ☎(087)836-3908
沖縄営業所 ☎900-0016 那覇市前島三丁目1番15号 ☎(098)860-7115

※当カタログに記載の内容は、製品改良のため予告なく変更することがあります。
また許容差のない数値は標準値とします。
※製品写真の色は印刷のため、実際とは若干異なります。



■詳しくは.....

ホームページ 製品情報/トピックス/電子カタログ閲覧/
資料ダウンロード/Q&A/広報誌「PAL」

<https://www.kubota-chemix.co.jp>



No. D 1 1 0 - 1 9 (06.10.10)
24.2.1.6.IN.BS